

七教第21-1567号

令和3年度令和3年2月13日福島県沖地震による向洋
中学校校舎等災害復旧工事

公開数量内訳書

<取扱上の注意事項>

- 1 本内訳書に記載されている数量は参考数量であり、本内訳書は工事請負契約書に記載される設計図書には含まれない。
- 2 公開数量は、設計変更や出来高計算等の対象数量となるものではない。
- 3 公開数量は、公共建築工事積算基準、公共建築数量積算基準及び公共建築設備数量積算基準の最新版に準拠している。
- 4 本内訳書に疑義があるときは、公開数量に関する質問書に入札参加予定者が自ら作成した内訳及びその根拠（部位別及び階別の集計表）を明示した数量見積書を添付して質問することができる。（細目は、工事担当に問い合わせのこと。）

七ヶ浜町

(数量公開用)

積算総括表

工事名	令和3年2月13日福島県沖地震による向洋中学校校舎等災害復旧工事		
工事費	金 円(消費税を含む)		
工事日数			
項目	名称	金額 (円)	摘要
A	直接工事費		
B	共通仮設費		
C	純工事費		
D	現場管理費		
E	工事原価		
F	一般管理費等		
G	同上(契約保証費)		
H	工事価格合計		
	改め		
	消費税等相当額		
	総 合 計		

共 通 費

主たる工事の種別	工事種目	直接工事費(A)	共通仮設費(B)			純工事費(C)	
			共通仮設費率	補正率	共通仮設費		
建築工事（改修）	一般工事						
	鉄骨工事						
	その他工事	家具・書架等 造園装 舗 取壊し その他					
	共通仮設費(積上分)						
	現場管理費(積上分)						
	小計						
	発生材処分費						
	合計						
	工事種目			現場管理費(D)			工事原価(E)
				現場管理費率	補正率	現場管理費	
	一般工事						
	鉄骨工事						
	その他工事	家具・書架等 造園装 舗 取壊し その他					
	共通仮設費(積上分)						
	現場管理費(積上分)						
	小計						
	発生材処分費						
	合計						
				一般管理費等(F)			
				一般管理費等率	補正率	一般管理費	
			契約保証費(G)				
			工事価格(H)=(E)+(F)+(G) (税抜き)				
				改め			
			消費税相当額				
			工事価格(税込み)				
			(税込み)				

工事番号 <u>七教第21-1567号</u> 工事名称 <u>令和3年2月13日福島県沖地震による向洋中学校校舎等災害復旧工事</u> 発注者 <u>七ヶ浜町</u>	
工 期 _____ 監督員事務所の有無 _____ 無し _____ 前払金支出割合による一般管理費の補正 _____ 前払い金支出割合 _____ 契約保証費の有無 _____ 有り _____ 消費税 率 _____ 10.0% _____	

[南校舎棟 外壁改修]

七ヶ浜町

名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
				(円)	(円)	
A 指定仮設工事						
仮囲い (ガードフェンス)	H=1.8m 柱脚固定具共 運搬費共 存置期間:150日	57.0	m			
仮門 (キャスターゲート)	W3.0m×H1.8m(片開き) 運搬費共 存置期間:150日	1.0	か所			
仮設鉄板敷	厚22 運搬費共 存置期間:150日	108.0	m ²			
交通誘導員	経費共		人			
室内環境測定費		11.0	か所			
(小計)						

[南校舎棟 外壁改修]

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
				(円)	(円)	
B 建築工事費						
1 直接仮設						
墨出し (外壁改修)		19.9	m			
養生 (外壁改修)		658.0	m			
整理清掃後片付け (外壁改修)		658.0	m			
枠組本足場 (手すり先行方式)	建枠:600×1700 12m未満 存置期間:90日	1,132.0	m			
安全手すり (手すり先行方式)	枠組本足場用 存置期間:90日	280.0	m			
外部仕上足場(改修)	階高4.0m以下 脚立足場 一般	6.2	m			
災害防止 (ネット状養生シート張り)	防災I類 存置期間:90日	1,132.0	m			
災害防止 (小幅ネット張り)	防災ポリエステル(層間塞ぎ) 存置期間:90日	81.0	m			
仮設材運搬 (枠組本足場)	手すり先行方式 建枠幅600	1,132.0	m			
仮設材運搬 (安全手すり)	枠組本足場用 (手すり先行方式)	280.0	m			
仮設材運搬 (外部仕上足場)	脚立足場 平家建	6.2	m			
仮設材運搬 (シート・ネット類)		1,132.0	m			
仮設材運搬 (小幅ネット)		81.0	m			
(小計)						

[南校舎棟 外壁改修]

名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
				(円)	(円)	
2 外壁改修						
(撤去)						
軒天仕上材撤去	集積共 けい酸カルシウム板厚5	5.8	m			
軒天仕上材撤去	集積共 岩綿吸音板厚12	0.4	m			
軒天仕上材撤去	集積共 天井廻縁(塩ビ)	0.6	m			
幅木仕上材撤去	集積共 モルタル塗り	0.8	m			
梁天端仕上材撤去	集積共 モルタル塗り	0.9	m			
カッター入れ	E/L外面 厚20~30mm	13.0	m			
EXP.J.カバー撤去 (パラペット-パラペット)	集積共 W=460	12.3	m			
EXP.J.カバー撤去 (パラペット-壁)	集積共 W=250	12.4	m			
EXP.J.カバー撤去 (天井-天井)	集積共 W=150	6.4	m			
EXP.J.カバー撤去 (天井コーナー)	集積共 W=83+50	0.3	m			
EXP.J.カバー撤去 (壁-壁)	集積共 W=150	5.0	m			
EXP.J.カバー撤去 (壁コーナー)	集積共 W=83+50	33.8	m			
シーリング撤去	集積共 EXP.J.カバー取合	12.4	m			
シーリング撤去	集積共 建具廻り	142.0	m			
建具まぐさ躯体撤去	集積共 W40×厚25 カッター入共	40.3	m			
建具まぐさ躯体撤去	集積共 W50×厚25 カッター入共	15.2	m			
建具まぐさ躯体撤去	集積共 W60×厚25 カッター入共	6.7	m			
建具まぐさ躯体撤去	集積共 W70×厚25 カッター入共	9.1	m			
建具まぐさ躯体撤去	集積共 W80×厚25 カッター入共	2.5	m			
建具まぐさ躯体撤去	集積共 W90×厚25 カッター入共	0.4	m			
建具抱き躯体撤去	集積共 W30×厚25 カッター入共	1.2	m			
建具抱き躯体撤去	集積共 W40×厚25 カッター入共	13.5	m			
建具抱き躯体撤去	集積共 W50×厚25 カッター入共	10.1	m			
建具抱き躯体撤去	集積共 W60×厚25 カッター入共	10.5	m			
建具抱き躯体撤去	集積共 W70×厚25 カッター入共	10.8	m			
建具抱き躯体撤去	集積共 W80×厚25 カッター入共	4.4	m			
建具抱き躯体撤去	集積共 W90×厚25 カッター入共	1.9	m			
建具抱き躯体撤去	集積共 W100×厚25 カッター入共	2.8	m			
建具抱き躯体撤去	集積共 W110×厚25 カッター入共	1.4	m			
建具抱き躯体撤去	集積共 W170×厚25 カッター入共	0.2	m			
建具水切下躯体撤去	集積共 H40×厚25 カッター入共	0.2	m			

[南校舎棟 外壁改修]

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
				(円)	(円)	
(改修)						
ひび割れ部補修	エポキシ樹脂注入	250.0	m			
ひび割れ部補修	Uカットシール材充填工法 可とう性エポキシ樹脂	2.6	m			
コンクリート平板部 ひび割れ部補修	ゴムアスファルト系シール	4.7	m			
浮き・欠損部補修	エポキシ樹脂モルタル充填 浮き・破損部撤去含む	3.9	m ²			
欠損部部補修 (W410×H850)	厚20(0.3485m ² /か所) 無収縮モルタル注入(型枠 鉄筋錆止及びプライマー塗布 脆弱部はつり除去、ケレン共	1.0	か所			
立上り損傷部補修 (W100×L165+245)	厚20 無収縮モルタル注入(型枠 鉄筋錆止及びプライマー塗布 脆弱部はつり除去、ケレン共	1.0	か所			
幅木 モルタル塗り	金ごて 厚25 モルタル仕上 下地調整共	0.8	m ²			
梁天端 モルタル塗り	金ごて 厚30 モルタル仕上 下地調整共	0.9	m ²			
壁 下地清掃	水洗い・清掃	64.7	m ²			
壁 複層仕上塗材E	ゆず肌状 ローラー塗	64.7	m ²			
壁 複層仕上塗材E	ゆず肌状 ローラー塗 下地調整塗材(C-1)共	12.1	m ²			
軒天 けい酸カルシウム板張り	厚5 目透し	5.8	m ²			
天井 岩綿吸音板張り	(DR)厚12 フラット(外部用) 不燃	0.4	m ²			
天井廻縁	塩ビ製(曲線)	0.6	m			
EXP.J.カバー (パラペット-パラペット)	アルミ製 クリアランス50mm W=460(1時間耐火)	12.3	m			
同上用小口フタ (パラペット-パラペット用)		2.0	か所			
EXP.J.カバー (パラペット-壁)	アルミ製 クリアランス50mm W=250(1時間耐火)	12.4	m			
同上用小口フタ (パラペット-壁用)		2.0	か所			
EXP.J.カバー (天井-天井)	アルミ製 クリアランス50mm W=150(1時間耐火)	6.4	m			
EXP.J.カバー (天井コーナー)	アルミ製 クリアランス50mm W=83+50(1時間耐火)	0.3	m			
EXP.J.カバー (壁-壁)	アルミ製 クリアランス50mm W=150(1時間耐火)	5.0	m			
EXP.J.カバー (壁コーナー)	アルミ製 クリアランス50mm W=83+50(1時間耐火)	33.8	m			
EXP.J.カバー取合シーリング	変成シリコン系(MS-2) 25×15	12.4	m			
建具廻りシーリング	変成シリコン系(MS-2) 15×15	142.0	m			
建具まぐさ部補修 (W40×厚25)	エポキシ樹脂モルタル充填 プライマー塗布、波型ラス網	40.3	m			
建具まぐさ部補修 (W50×厚25)	エポキシ樹脂モルタル充填 プライマー塗布、波型ラス網	15.2	m			
建具まぐさ部補修 (W60×厚25)	エポキシ樹脂モルタル充填 プライマー塗布、波型ラス網	6.7	m			
建具まぐさ部補修 (W70×厚25)	エポキシ樹脂モルタル充填 プライマー塗布、波型ラス網	9.1	m			
建具まぐさ部補修 (W80×厚25)	エポキシ樹脂モルタル充填 プライマー塗布、波型ラス網	2.5	m			
建具まぐさ部補修 (W90×厚25)	エポキシ樹脂モルタル充填 プライマー塗布、波型ラス網	0.4	m			

[南校舎棟 外壁改修]

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
				(円)	(円)	
建具抱き部補修 (W30×厚25)	エポキシ樹脂モルタル充填 プライマー塗布	1.2	m			
建具抱き部補修 (W40×厚25)	エポキシ樹脂モルタル充填 プライマー塗布	13.5	m			
建具抱き部補修 (W50×厚25)	エポキシ樹脂モルタル充填 プライマー塗布	10.1	m			
建具抱き部補修 (W60×厚25)	エポキシ樹脂モルタル充填 プライマー塗布	10.5	m			
建具抱き部補修 (W70×厚25)	エポキシ樹脂モルタル充填 プライマー塗布	10.8	m			
建具抱き部補修 (W80×厚25)	エポキシ樹脂モルタル充填 プライマー塗布	4.4	m			
建具抱き部補修 (W90×厚25)	エポキシ樹脂モルタル充填 プライマー塗布	1.9	m			
建具抱き部補修 (W100×厚25)	エポキシ樹脂モルタル充填 プライマー塗布	2.8	m			
建具抱き部補修 (W110×厚25)	エポキシ樹脂モルタル充填 プライマー塗布	1.4	m			
建具抱き部補修 (W170×厚25)	エポキシ樹脂モルタル充填 プライマー塗布	0.2	m			
建具水切下部補修 (H40×厚25)	エポキシ樹脂モルタル充填 プライマー塗布	0.2	m			
建具水切下部補修 (H50×厚25)	エポキシ樹脂モルタル充填 プライマー塗布	2.8	m			
建具水切下部補修 (H60×厚25)	エポキシ樹脂モルタル充填 プライマー塗布	1.8	m			
建具水切下部補修 (H70×厚25)	エポキシ樹脂モルタル充填 プライマー塗布	1.1	m			
建具水切下部補修 (H80×厚25)	エポキシ樹脂モルタル充填 プライマー塗布	1.6	m			
SUSアンカーピン	(建具まぐさ改修用) 3φ×L30	402.0	本			
コンクリートカラー平板 取外し・再取付	300×300×厚60 据付モルタル共	0.9	m			
コンクリート平板階段ブロック 取外し・再取付	L1200×D300×H150 据付モルタル共	81.0	か所			
(小計)						
(計)						

[南校舎棟 【1-1】保健室]

七ヶ浜町

明 細 書

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
				(円)	(円)	
D 機械設備工事費	[1-1]保健室					
1 空調設備工事						
空調室外機 AC-D (取外し・再取付)	床置き、防振無 冷：2.5KW 暖：2.8KW	1.0	台			
空調室内機 AC-D (取外し・再取付)	壁掛け 冷：2.5KW 暖：2.8KW	1.0	台			
空調室外機 AC-S (取外し・再取付)	床置き、防振無 冷：2.2KW 暖：2.5KW	1.0	台			
空調室内機 AC-S (取外し・再取付)	壁掛け 冷：2.2KW 暖：2.5KW	1.0	台			
断熱材被覆銅管	液管 6.4mm	14.0	m			
断熱材被覆銅管	ガス管 9.5mm	14.0	m			
ドレホース (取外し・再取付)		14.0	m			
スリムダクト (取外し・再取付)	SD90	8.0	m			
ポンプダウン・機器調整		2.0	台			
(小計)						
2 撤去工事						
<配管類 撤去>						
冷媒用銅管 撤去	6.4mm	14.0	m			
冷媒用銅管 撤去	9.5mm	14.0	m			
(小計)						
(合計)						

[南校舎棟 【1-2】職員室]

七ヶ浜町

明 細 書

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
				(円)	(円)	
2 内装改修						
(撤去)						
壁仕上材撤去	集積共 GB-R厚12.5(LGS面)	0.3	m			
天井仕上材撤去	集積共 岩綿吸音板厚12(下張共)	0.4	m			
天井仕上材撤去	集積共 天井廻縁(塩ビ)	0.8	m			
(小計)						
(改修)						
ひび割れ部補修	エポキシ樹脂注入	16.7	m			
浮き・欠損部補修	エポキシ樹脂モルタル充填 浮き・欠損部撤去含む	0.1	m			
壁 せっこうボード張り	(GB-R)厚12.5 不燃 継目処理(LGS面)	0.3	m			
天井 岩綿吸音板張り	(DR)厚12 フラット(内部用) 不燃 下張:GB-NC厚9.5共	0.4	m			
天井廻縁	塩ビ製	0.8	m			
取外し再取付	行事用黒板 W4500×H1200	1.0	か所			
取外し再取付	掲示板 W1090×H 910	1.0	か所			
(小計)						
(計)						

明 細 書

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
				(円)	(円)	
D 機械設備工事費	[1-2]職員室					
1 空調設備工事						
空調室外機 1-15 (取外し・再取付)	床置き、防振無 冷：10.0KW 暖：11.2KW	1.0	台			
空調室外機 1-16 (取外し・再取付)	床置き、防振無 冷：10.0KW 暖：11.2KW	1.0	台			
FF暖房機給排気トップ (取外し・再取付)	保護カバー 200φ	1.0	個			
断熱材被覆銅管	液管 9.5mm	7.0	m			
断熱材被覆銅管	ガス管 15.9mm	7.0	m			
排水・硬化ホリ塩化ビニル管 (VP) (取外し・再取付)	20A 屋内一般	7.0	m			
スリムダクト (取外し・再取付)	SD100	5.0	m			
配管接続費	冷媒管9.5*15.9	2.0	ヶ所			
配管接続費	ドレン管 VP20	2.0	ヶ所			
ポンプダウン・機器調整		2.0	台			
(小計)						
2 撤去工事						
<配管類 撤去>						
冷媒用銅管 撤去	9.5mm	7.0	m			
冷媒用銅管 撤去	15.9mm	7.0	m			
(小計)						
(合計)						

[南校舎棟 【1-3】校長室]

七ヶ浜町

明 細 書

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
				(円)	(円)	
D 機械設備工事費	【1-3】校長室					
1 空調設備工事						
空調室外機 1-14 (取外し・再取付)	床置き、防振無 冷：5.6KW 暖：6.3KW	1.0	台			
断熱材被覆銅管	液管 6.4mm	4.0	m			
断熱材被覆銅管	ガス管 12.7mm	4.0	m			
排水・硬化ポリ塩化ビニル管 (VP) (取外し・再取付)	20A 屋内一般	4.0	m			
スリムダクト (取外し・再取付)	SD100	3.0	m			
配管接続費	冷媒管6.4*12.7	2.0	ヶ所			
配管接続費	ドレン管 VP20	2.0	ヶ所			
ポンプダウン・機器調整		1.0	台			
(小計)						
2 撤去工事						
<配管類 撤去>						
冷媒用銅管 撤去	6.4mm	4.0	m			
冷媒用銅管 撤去	12.7mm	4.0	m			
(小計)						
(合計)						

[南校舎棟 【1-4】会議室]

七ヶ浜町

[南校舎棟【1-5】被服室]

七ヶ浜町

明 細 書

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
				(円)	(円)	
D 機械設備工事費	[1-5]被服室					
1 空調設備工事						
空調室外機 1-12 (取外し・再取付)	床置き、防振無 冷：7.1KW 暖：8.0KW	1.0	台			
空調室外機 1-13 (取外し・再取付)	床置き、防振無 冷：7.1KW 暖：8.0KW	1.0	台			
断熱材被覆銅管	液管 9.5mm	7.0	m			
断熱材被覆銅管	ガス管 15.9mm	7.0	m			
排水・硬化ポリ塩化ビニル管 (VP) (取外し・再取付)	20A 屋内一般	7.0	m			
スリムダクト (取外し・再取付)	SD100	5.0	m			
配管接続費	冷媒管9.5*15.9	2.0	ヶ所			
配管接続費	ドレン管 VP20	2.0	ヶ所			
ポンプダウン・機器調整		2.0	台			
(小計)						
2 撤去工事						
<配管類 撤去>						
冷媒用銅管 撤去	9.5mm	7.0	m			
冷媒用銅管 撤去	15.9mm	7.0	m			
(小計)						
(合計)						

[南校舎棟 【1-6】調理室]

七ヶ浜町

明 細 書

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
				(円)	(円)	
D 機械設備工事費	【1-6】調理室					
1 空調設備工事						
空調室外機 1-10 (取外し・再取付)	床置き、防振無 冷：7.1KW 暖：8.0KW	1.0	台			
空調室外機 1-11 (取外し・再取付)	床置き、防振無 冷：7.1KW 暖：8.0KW	1.0	台			
断熱材被覆銅管	液管 9.5mm	7.0	m			
断熱材被覆銅管	ガス管 15.9mm	7.0	m			
排水・硬化ポリ塩化ビニル管 (VP) (取外し・再取付)	20A 屋内一般	7.0	m			
スリムダクト (取外し・再取付)	SD100	5.0	m			
配管接続費	冷媒管9.5*15.9	2.0	ヶ所			
配管接続費	ドレン管 VP20	2.0	ヶ所			
ポンプダウン・機器調整		2.0	台			
(小計)						
2 撤去工事						
<配管類 撤去>						
冷媒用銅管 撤去	9.5mm	7.0	m			
冷媒用銅管 撤去	15.9mm	7.0	m			
(小計)						
(合計)						

[南校舎棟 【1-7】技術室]

七ヶ浜町

明 細 書

名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
				(円)	(円)	
2 内装改修						
(撤去)						
天井仕上材撤去	集積共 化粧せつこうボード厚9	3.9	m			
天井仕上材撤去	集積共 天井廻縁(塩ビ)	4.7	m			
(小計)						
(改修)						
ひび割れ部補修	エポキシ樹脂注入	7.9	m			
下り壁 有孔合板傾き起こし復旧	厚6(GW厚50共)	5.8	m			
天井 化粧せつこうボード張り	(GB-D)厚9 準不燃 突付け トラバッチ	3.9	m			
化粧せつこうボード 取外し再取付		15.5	m			
天井廻縁	塩ビ製	4.7	m			
天井隙間シーリング	変成シリコン系(MS-2) 20×10	39.3	m			
(小計)						
(計)						

明 細 書

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
				(円)	(円)	
D 機械設備工事費	[1-7]技術室					
1 空調設備工事						
空調室外機 1-8 (取外し・再取付)	床置き、防振無 冷：10.0KW 暖：11.2KW	1.0	台			
空調室内機 1-8 (取外し・再取付)	天吊 冷：10.0KW 暖：11.2KW	1.0	台			
空調室外機 1-9 (取外し・再取付)	床置き、防振無 冷：10.0KW 暖：11.2KW	1.0	台			
空調室内機 1-9 (取外し・再取付)	天吊 冷：10.0KW 暖：11.2KW	1.0	台			
輻射暖房機 OH-1	7E-ス (取外し・再取付)	3.0	台			
断熱材被覆銅管	液管 9.5mm	12.0	m			
断熱材被覆銅管	ガス管 15.9mm	12.0	m			
排水・硬化ホリ塩化ビニル管 (VP) (取外し・再取付)	20A 屋内一般	12.0	m			
スリムダクト (取外し・再取付)	SD100	6.0	m			
ポンプダウン・機器調整		2.0	台			
(小計)						
2 撤去工事						
<配管類 撤去>						
冷媒用銅管 撤去	9.5mm	12.0	m			
冷媒用銅管 撤去	15.9mm	12.0	m			
(小計)						
(合計)						

[南校舎棟 【1-8】技術準備室]

七ヶ浜町

明 細 書

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
				(円)	(円)	
2 内装改修						
(撤去)						
幅木仕上材撤去	集積共 木製幅木	0.5	m			
壁仕上材撤去	集積共 GB-R厚12.5(GL工法)	0.3	m ²			
壁仕上材撤去	集積共 GB-R厚12.5(LGS面)	1.1	m ²			
天井仕上材撤去	集積共 化粧せつこうボード厚9	4.0	m ²			
天井仕上材撤去	集積共 天井廻縁(塩ビ)	7.2	m			
(小計)						
(改修)						
木製幅木	米松 H=75	0.5	m			
壁 せつこうボード張り	(GB-R)厚12.5 不燃 継目処理 RC直張り	0.3	m ²			
壁 せつこうボード張り	(GB-R)厚12.5 不燃 継目処理(LGS面)	1.1	m ²			
天井 化粧せつこうボード張り	(GB-D)厚9 準不燃 突付けトランチ	4.0	m ²			
天井廻縁	塩ビ製	7.2	m			
化粧せつこうボード 取外し再取付		0.3	m ²			
(小計)						
(計)						

[南校舎棟 【1-9】被服準備室]

七ヶ浜町

明 細 書

名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
				(円)	(円)	
2 内装改修						
(撤去)						
幅木仕上材撤去	集積共 木製幅木	0.5	m			
壁仕上材撤去	集積共 GB-R厚12.5(LGS面)	1.1	m ²			
天井仕上材撤去	集積共 化粧せっこうボード厚9	0.7	m ²			
天井仕上材撤去	集積共 天井廻縁(塩ビ)	1.9	m			
(小計)						
(改修)						
ひび割れ部補修	エポキシ樹脂注入	0.5	m			
木製幅木	米松 H=75	0.5	m			
壁 せっこうボード張り	(GB-R)厚12.5 不燃 継目処理(LGS面)	1.1	m ²			
天井 化粧せっこうボード張り	(GB-D)厚9 準不燃 突付け トリバーチ	0.7	m ²			
天井廻縁	塩ビ製	1.9	m			
(小計)						
(計)						

[南校舎棟 【1-10】1階男子トイレ]

七ヶ浜町

[南校舎棟 【1-11】1階女子トイレ]

七ヶ浜町

[南校舎棟 【1-12】掃除用具入れ]

七ヶ浜町

[南校舎棟 【1-13】教材室]

七ヶ浜町

[南校舎棟 【1-14】相談室]

七ヶ浜町

[南校舎棟 【1-15】職員用女子トイレ]

七ヶ浜町

[南校舎棟 【1-16】職員用男子トイレ]

七ヶ浜町

[南校舎棟 【1-17】女子更衣室]

七ヶ浜町

[南校舎棟 【1-18】男子更衣室]

七ヶ浜町

[南校舎棟 【1-19】印刷室]

七ヶ浜町

[南校舎棟 【1-20】湯沸室]

七ヶ浜町

[南校舎棟 【1-21】職員玄関]

七ヶ浜町

[南校舎棟 【1-22】昇降口・ホール]

七ヶ浜町

明 細 書

名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
				(円)	(円)	
3 内装改修						
(撤去)						
天井仕上材撤去	集積共 岩綿吸音板厚12(下張共)	0.5	m			
天井仕上材撤去	集積共 天井廻縁(塩ビ)	0.8	m			
下り天井仕上材撤去	集積共 岩綿吸音板厚12(下張共)	0.1	m			
下り天井仕上材撤去	集積共 下り天井見切縁(塩ビ)	0.6	m			
見上げ 御影石撤去	集積共 W1150×L 330	1.0	か所			
EXP.J.カバー撤去 (壁-壁)	集積共 W=150	5.2	m			
EXP.J.カバー撤去 (天井-天井)	集積共 W=150	8.2	m			
EXP.J.カバー撤去 (天井コーナー)	集積共 W=83+50	0.7	m			
(小計)						
(改修)						
ひび割れ部補修	エポキシ樹脂注入	42.0	m			
浮き・欠損部補修	エポキシ樹脂モルタル充填 浮き・欠損部撤去含む	0.1	m			
天井 岩綿吸音板張り	(DR)厚12 フラット(内部用) 不燃 下張:GB-NC厚9.5共	0.5	m			
下り天井 岩綿吸音板張り	(DR)厚12 フラット(内部用) 不燃 下張:GB-NC厚9.5共	0.1	m			
天井廻縁	塩ビ製	0.8	m			
下り天井見切縁	塩ビ製	0.6	m			
見上げ 御影石張り	W1150×L 330	1.0	か所			
EXP.J.カバー (壁-壁)	アルミ製 クリアランス50mm W=150(1時間耐火)	5.2	m			
EXP.J.カバー (天井-天井)	アルミ製 クリアランス50mm W=150(1時間耐火)	8.2	m			
EXP.J.カバー (天井コーナー)	アルミ製 クリアランス50mm W=83+50(1時間耐火)	0.7	m			
御影石ズレ改修	W1250×H100 剥離面下地調整共	1.0	か所			
側面 御影石取外し再取付	W 50×H2200	2.0	か所			
取外し再取付	掲示板 W3400×H 900	1.0	か所			
取外し再取付	掲示板 W1700×H 900	1.0	か所			
取外し再取付	下足入 W4390×D330×H1500	2.0	か所			
(小計)						
(計)						

[南校舎棟 【1-23】1階廊下]

[南校舎棟 【1-24】階段室]

七ヶ浜町

[南校舎棟 【1-25】プロパン庫]

七ヶ浜町

[南校舎棟 【2-1】美術準備室]

七ヶ浜町

明 細 書

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
				(円)	(円)	
2 内装改修						
(撤去)						
天井仕上材撤去	集積共 化粧せつこうボード厚9	1.1	m			
天井仕上材撤去	集積共 天井廻縁(塩ビ)	4.4	m			
(小計)						
(改修)						
ひび割れ部補修	エポキシ樹脂注入	25.1	m			
浮き・欠損部補修	エポキシ樹脂モルタル充填 浮き・欠損部撤去含む	0.2	m			
壁欠損部補修	W200×H800×厚120 無収縮モルタル注入(型枠 鉄筋錆止及びプライマー塗布 脆弱部はつり除去、ケレン共	1.0	か所			
天井 化粧せつこうボード張り	(GB-D)厚9 準不燃 突付け トラバーチ	1.1	m			
天井廻縁	塩ビ製	4.4	m			
取外し再取付	木製棚 W1200×D700×H2700	1.0	か所			
(小計)						
(計)						

[南校舎棟 【2-2】美術室]

七ヶ浜町

明 細 書

名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
				(円)	(円)	
2 内装改修						
(撤去)						
壁下地撤去	集積共 軽鉄下地	16.7	m			
壁仕上材撤去	集積共 GB-R厚12.5(GL工法)	0.1	m			
壁仕上材撤去	集積共 GB-R厚12.5(LGS面)	16.8	m			
天井仕上材撤去	集積共 化粧せつこうボード厚9	2.2	m			
天井仕上材撤去	集積共 天井廻縁(塩ビ)	10.2	m			
(小計)						
(改修)						
ひび割れ部補修	エポキシ樹脂注入	25.5	m			
浮き・欠損部補修	エポキシ樹脂モルタル充填 浮き・欠損部撤去含む	0.1	m			
木製幅木	米松 H=75	5.3	m			
軽量鉄骨壁下地	65形 @300 下地張りなし	16.7	m			
壁 せつこうボード張り	(GB-R)厚12.5 不燃 継目処理 RC直張り	0.1	m			
壁 せつこうボード張り	(GB-R)厚12.5 不燃 継目処理(LGS面)	16.8	m			
天井 化粧せつこうボード張り	(GB-D)厚9 準不燃 突付け トラバーチ	2.2	m			
天井廻縁	塩ビ製	10.2	m			
化粧せつこうボード 取外し再取付		5.5	m			
取外し再取付	半曲面黒板 W3600×H1200	1.0	か所			
(小計)						
(計)						

明 細 書

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
				(円)	(円)	
D 機械設備工事費	[2-2]美術室					
1 空調設備工事						
空調室外機 2-9 (取外し・再取付)	床置き、防振無 冷：7.1KW 暖：8.0KW	1.0	台			
空調室内機 2-9 (取外し・再取付)	天吊 冷：7.1KW 暖：8.0KW	1.0	台			
空調室外機 2-10 (取外し・再取付)	床置き、防振無、転倒防止ワイヤ共 冷：7.1KW 暖：8.0KW	1.0	台			
空調室内機 2-10 (取外し・再取付)	天吊 冷：7.1KW 暖：8.0KW	1.0	台			
断熱材被覆銅管	液管 9.5mm	14.0	m			
断熱材被覆銅管	ガス管 15.9mm	14.0	m			
排水・硬化ホリ塩化ビニル管 (VP) (取外し・再取付)	20A 屋内一般	14.0	m			
スリムダクト (取外し・再取付)	SD100	14.0	m			
ポンプダウン・機器調整		2.0	台			
(小計)						
2 撤去工事						
<配管類 撤去>						
冷媒用銅管 撤去	9.5mm	14.0	m			
冷媒用銅管 撤去	15.9mm	14.0	m			
(小計)						
(合計)						

[南校舎棟 【2-5】スタジオ]

七ヶ浜町

[南校舎棟 【2-6】図書室]

七ヶ浜町

明 細 書

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
				(円)	(円)	
3 内装改修						
(撤去)						
壁仕上材撤去	集積共 GB-R厚12.5(GL工法)	2.2	m			
下り壁仕上材撤去	集積共 GB-R厚12.5(LGS面)	0.1	m			
下り壁仕上材撤去	集積共 下り壁見切縁(塩ビ)	0.5	m			
天井仕上材撤去	集積共 化粧せっこうボード厚9	8.0	m			
天井仕上材撤去	集積共 天井廻縁(塩ビ)	14.1	m			
(小計)						
(改修)						
ひび割れ部補修	エポキシ樹脂注入	13.7	m			
天井 軽量鉄骨天井下地	19形 @225 下地張りなし ふところ1.5m以上2.5m未	8.0	m			
壁 せっこうボード張り	(GB-R)厚12.5 不燃 継目処理 RC直張り	2.2	m			
下り壁 せっこうボード張り	(GB-R)厚12.5 不燃 継目処理 (LGS面)	0.1	m			
天井 化粧せっこうボード張り	(GB-D)厚9 準不燃 突付け トラバ-チ	8.0	m			
天井廻縁	塩ビ製	14.1	m			
下り壁見切縁	塩ビ製	0.5	m			
天井隙間シーリング	変成シリコン系(MS-2) 20×10	13.9	m			
(小計)						
(計)						

[南校舎棟 【2-7】理科室Ⅱ]

七ヶ浜町

明 細 書

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
				(円)	(円)	
D 機械設備工事費	[2-7]理科室Ⅱ					
1 空調設備工事						
空調室外機 2-7 (取外し・再取付)	床置き、防振無 冷：5.6KW 暖：6.3KW	1.0	台			
空調室外機 2-8 (取外し・再取付)	床置き、防振無 冷：5.6KW 暖：6.3KW	1.0	台			
断熱材被覆銅管	液管 6.4mm	7.0	m			
断熱材被覆銅管	ガス管 12.7mm	7.0	m			
排水・硬化ポリ塩化ビニル管 (VP) (取外し・再取付)	20A 屋内一般	7.0	m			
スリムダクト (取外し・再取付)	SD100	5.0	m			
配管接続費	冷媒管6.4*12.7	2.0	ヶ所			
配管接続費	ドレン管 VP20	2.0	ヶ所			
ポンプダウン・機器調整		2.0	台			
(小計)						
2 換気設備工事						
制気口 VS (取外し・再取付)	650*300	2.0	台			
(小計)						
3 撤去工事						
<配管類 撤去>						
冷媒用銅管 撤去	6.4mm	7.0	m			
冷媒用銅管 撤去	12.7mm	7.0	m			
(小計)						
(合計)						

[南校舎棟 【2-8】理科準備室]

七ヶ浜町

明 細 書

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
				(円)	(円)	
2 内装改修						
(撤去)						
天井下地撤去	集積共 軽鉄下地	30.4	m			
天井仕上材撤去	集積共 化粧せつこうボード厚9	30.4	m			
天井仕上材撤去	集積共 天井廻縁(塩ビ)	24.1	m			
(小計)						
(改修)						
ひび割れ部補修	エポキシ樹脂注入	11.0	m			
浮き・欠損部補修	エポキシ樹脂モルタル充填 浮き・欠損部撤去含む	0.1	m			
軽量鉄骨天井下地	19形 @225 下地張りなし ふところ1.5m以上2.5m未	30.4	m			
天井 化粧せつこうボード張り	(GB-D)厚9 準不燃 突付けトパ―チ	30.4	m			
天井廻縁	塩ビ製	24.1	m			
既存インサート引抜き試験	荷重:400N	3.0	か所			
(小計)						
(計)						

明 細 書

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
				(円)	(円)	
D 機械設備工事費	[2-8]理科準備室					
1 換気設備工事						
換気扇 (取外し・再取付)	天井埋込型	1.0	台			
(小計)						
2 排水設備工事						
通気管 支持材 (新設)	VP 65A 屋内一般	1.0	式			
通気管 支持材 (新設)	VP 100A 屋内一般	1.0	式			
ハントキャップ (貫通部補修)	100φ	1.0	個			
(小計)						
3 撤去工事						
<配管類 撤去>						
通気管 支持材 (撤去)	VP 65A 屋内一般	1.0	式			
通気管 支持材 (撤去)	VP 100A 屋内一般	1.0	式			
(小計)						
(合計)						

[南校舎棟 【2-9】暗室]

七ヶ浜町

[南校舎棟 【2-10】理科室 I]

七ヶ浜町

明 細 書

名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
				(円)	(円)	
2	建具改修					
	(撤去)					
	ガラス撤去	集積共	1.1	m		
	(小計)					
	(改修)					
	型板ガラス	厚4 特寸2.18㎡以下 かすケット、清掃共	1.1	m		
	(小計)					
	(計)					

明 細 書

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
				(円)	(円)	
3 内装改修						
(撤去)						
壁仕上材撤去	集積共 GB-R厚12.5(GL工法)	0.3	m			
天井仕上材撤去	集積共 化粧せっこうボード厚9	8.7	m			
天井仕上材撤去	集積共 天井廻縁(塩ビ)	7.3	m			
(小計)						
(改修)						
ひび割れ部補修	エポキシ樹脂注入	25.6	m			
浮き・欠損部補修	エポキシ樹脂モルタル充填 浮き・欠損部撤去含む	0.1	m			
壁 せっこうボード張り	(GB-R)厚12.5 不燃 継目処理 RC直張り	0.3	m			
天井 化粧せっこうボード張り	(GB-D)厚9 準不燃 突付け トラバーチ	8.7	m			
天井廻縁	塩ビ製	7.3	m			
化粧せっこうボード 取外し再取付		0.9	m			
取外し再取付	上下式黒板 W3600×H1800	1.0	か所			
取外し再取付	掲示板 W2580×H 900	1.0	か所			
取外し再取付	掲示板 W1500×H1200	1.0	か所			
(小計)						
(計)						

明 細 書

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
				(円)	(円)	
D 機械設備工事費	[2-10]理科室 I					
1 空調設備工事						
空調室外機 2-5 (取外し・再取付)	床置き、防振無 冷：7.1KW 暖：8.0KW	1.0	台			
空調室外機 2-6 (取外し・再取付)	床置き、防振無 冷：7.1KW 暖：8.0KW	1.0	台			
断熱材被覆銅管	液管 9.5mm	7.0	m			
断熱材被覆銅管	ガス管 15.9mm	7.0	m			
排水・硬化ポリ塩化ビニル管 (VP) (取外し・再取付)	20A 屋内一般	7.0	m			
スリムダクト (取外し・再取付)	SD100	5.0	m			
配管接続費	冷媒管9.5*15.9	2.0	ヶ所			
配管接続費	ドレン管 VP20	2.0	ヶ所			
ポンプダウン・機器調整		2.0	台			
(小計)						
2 換気設備工事						
制気口 VS (取外し・再取付)	650*300	2.0	台			
(小計)						
3 撤去工事						
<配管類 撤去>						
冷媒用銅管 撤去	9.5mm	7.0	m			
冷媒用銅管 撤去	15.9mm	7.0	m			
(小計)						
(合計)						

[南校舎棟 【2-11】南2階倉庫]

七ヶ浜町

[南校舎棟 【2-15】北2階倉庫]

七ヶ浜町

明 細 書

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
				(円)	(円)	
2 内装改修						
(撤去)						
天井下地撤去	集積共 軽鉄下地	10.0	m			
天井仕上材撤去	集積共 化粧せっこうボード厚9	10.0	m			
天井仕上材撤去	集積共 天井廻縁(塩ビ)	9.0	m			
EXP.J.カバー撤去 (床コーナー)	集積共 W=102+40	8.5	m			
EXP.J.カバー撤去 (壁コーナー)	集積共 W=83+50	5.4	m			
EXP.J.カバー撤去 (天井-天井)	集積共 W=150	8.5	m			
(小計)						
(改修)						
ひび割れ部補修	エポキシ樹脂注入	28.1	m			
天井 軽量鉄骨天井下地	19形 @225 下地張りなし ふところ1.5m未満	10.0	m			
天井 化粧せっこうボード張り	(GB-D)厚9 準不燃 突付けトランプ	10.0	m			
天井廻縁	塩ビ製	9.0	m			
EXP.J.カバー (床コーナー)	アルミ製 クリアランス50mm W=102+40(1時間耐火)	8.5	m			
EXP.J.カバー (壁コーナー)	アルミ製 クリアランス50mm W=83+50(1時間耐火)	5.4	m			
EXP.J.カバー (天井-天井)	アルミ製 クリアランス50mm W=150(1時間耐火)	8.5	m			
(小計)						
(計)						

[南校舎棟 【2-16】多目的室]

七ヶ浜町

明 細 書

名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
				(円)	(円)	
2 内装改修						
(撤去)						
壁仕上材撤去	集積共 GB-R厚12.5(GL工法)	0.6	m			
壁仕上材撤去	集積共 GB-R厚12.5(LGS面)	1.1	m			
天井仕上材撤去	集積共 岩綿吸音板厚12	0.8	m			
天井仕上材撤去	集積共 天井廻縁(塩ビ)	10.0	m			
(小計)						
(改修)						
ひび割れ部補修	エポキシ樹脂注入	6.8	m			
壁 せつこうボード張り	(GB-R)厚12.5 不燃 継目処理 RC直張り	0.6	m			
壁 せつこうボード張り	(GB-R)厚12.5 不燃 継目処理(LGS面)	1.1	m			
天井 岩綿吸音板張り	(DR)厚12 フラット(内部用) 不燃	1.0	m			
天井 岩綿吸音板張り補修	タッカー増し締め	1.3	m			
天井廻縁	塩ビ製	10.0	m			
(小計)						
(計)						

[南校舎棟 【2-20】2階廊下 (1)]

明 細 書

名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
				(円)	(円)	
2 内装改修						
(撤去)						
壁仕上材撤去	集積共 GB-R厚12.5(GL工法)	0.4	m			
天井仕上材撤去	集積共 化粧せつこうボード厚9	0.5	m			
天井仕上材撤去	集積共 天井廻縁(塩ビ)	1.8	m			
(小計)						
(改修)						
ひび割れ部補修	エポキシ樹脂注入	14.3	m			
浮き・欠損部補修	エポキシ樹脂モルタル充填 浮き・欠損部撤去含む	0.3	m			
壁 せつこうボード張り	(GB-R)厚12.5 不燃 継目処理(LGS面)	0.4	m			
天井 化粧せつこうボード張り	(GB-D)厚9 準不燃 突付け トラバッチ	0.5	m			
天井廻縁	塩ビ製	1.8	m			
木製幅木 取外し再取付	H=75	0.3	m			
(小計)						
(計)						

[南校舎棟 【2-21】2階廊下 (2)]

明 細 書

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
				(円)	(円)	
2 内装改修						
(撤去)						
壁仕上材撤去	集積共 GB-R厚12.5(GL工法)	1.5	m			
天井仕上材撤去	集積共 岩綿吸音板厚12	2.0	m			
天井仕上材撤去	集積共 化粧せっこうボード厚9	2.2	m			
天井仕上材撤去	集積共 天井廻縁(塩ビ)	12.0	m			
下り天井仕上材撤去	集積共 化粧せっこうボード厚9	0.2	m			
下り天井仕上材撤去	集積共 下り天井見切縁(塩ビ)	0.6	m			
天井仕上材撤去	集積共 天井点検口	1.0	か所			
EXP.J.カバー撤去 (床-床)	集積共 W=188	2.7	m			
EXP.J.カバー撤去 (壁-壁)	集積共 W=150	2.8	m			
EXP.J.カバー撤去 (壁コーナー)	集積共 W=83+50	2.8	m			
EXP.J.カバー撤去 (天井-天井)	集積共 W=150	2.7	m			
(小計)						
(改修)						
ひび割れ部補修	エポキシ樹脂注入	20.3	m			
浮き・欠損部補修	エポキシ樹脂モルタル充填 浮き・欠損部撤去含む	0.1	m			
壁 せっこうボード張り	(GB-R)厚12.5 不燃 継目処理 RC直張り	1.5	m			
天井 岩綿吸音板張り	(DR)厚12 フラット(内部用) 不燃	2.0	m			
天井 化粧せっこうボード張り	(GB-D)厚9 準不燃 突付け トラバ-チ	2.2	m			
下り天井 化粧せっこうボード張り	(GB-D)厚9 準不燃 突付け トラバ-チ	0.2	m			
天井廻縁	塩ビ製	12.0	m			
下り天井見切縁	塩ビ製	0.6	m			
天井点検口	450角 アルミ製 一般タイプ 内外枠共額縁	1.0	か所			
EXP.J.カバー (床-床)	アルミ製 クリアランス50mm W=188(1時間耐火)	2.7	m			
EXP.J.カバー (壁-壁)	アルミ製 クリアランス50mm W=150(1時間耐火)	2.8	m			
EXP.J.カバー (壁コーナー)	アルミ製 クリアランス50mm W=83+50(1時間耐火)	2.8	m			
EXP.J.カバー (天井-天井)	アルミ製 クリアランス50mm W=150(1時間耐火)	2.7	m			
(小計)						
(計)						

[北校舎棟 外壁改修]

七ヶ浜町

明 細 書

名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
				(円)	(円)	
2 外壁改修						
(撤去)						
笠木モルタル撤去	集積共 カッター入れ共	19.7	m			
(小計)						
(改修)						
欠損部補修	エポキシ樹脂モルタル充填 W150×H130×厚50	1.0	か所			
壁 複層仕上塗材E	ゆず肌状 ローラー塗 下地調整塗材(C-1)共	0.1	m			
笠木モルタル塗り	W120×厚50	19.7	m			
SUSアンカーピン	(笠木モルタル止め用) 3φ×L30	211.0	本			
(小計)						
(計)						

[北校舎棟 【2-18】視聴覚準備室]

明 細 書

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
				(円)	(円)	
3 内装改修						
(撤去)						
床仕上材撤去	集積共 ビニル床シート	0.6	m			
床仕上材撤去	集積共 珪外塗	0.6	m			
幅木仕上材撤去	集積共 木製幅木	5.6	m			
梁型仕上材撤去	集積共 合板厚6(GW厚50共)	0.1	m			
嵩上げコンクリート撤去	集積共 厚120	0.5	m			
カッター入れ	珪外面 厚20~30mm	3.8	m			
カッター入れ	コンクリート面 厚20~30mm	3.4	m			
EXP.J.カバー撤去 (壁コーナー)	集積共 W=83+50	3.5	m			
EXP.J.カバー撤去 (天井-天井)	集積共 W=150	5.7	m			
(小計)						
(改修)						
床 ビニル床シート張り	厚2.0 無地 一般床 熱溶接工法	0.6	m			
床 モルタル塗り	厚40 ビニル床シート下地	0.6	m			
無筋コンクリート(材工共)	(嵩上げ部)厚120 FC=21N/mm ² スランプ 15cm	0.5	m			
木製幅木	米松 H=75	5.6	m			
梁型 合板張り	厚5.5(ラワン・2類)	0.1	m			
梁型 グラスウール敷込み	厚50(24kg/m ³)	0.1	m			
EXP.J.カバー (壁コーナー)	アルミ製 クリアランス50mm W=83+50(1時間耐火)	3.5	m			
EXP.J.カバー (天井-天井)	アルミ製 クリアランス50mm W=150(1時間耐火)	5.7	m			
取外し再取付	カーテンボックス W190×H150×L2180	1.0	か所			
(小計)						
(計)						

[北校舎棟 【2-19】視聴覚室]

七ヶ浜町

[北校舎棟 2階廊下]

七ヶ浜町

令和3年2月13日福島県沖地震による 向洋中学校校舎等災害復旧工事

図面リスト

意匠図			意匠図			電気設備図			機械設備図		
図面番号	図面名称	縮尺	図面番号	図面名称	縮尺	図面番号	図面名称	縮尺	図面番号	図面名称	縮尺
A-00	表紙・図面リスト	—	A-36	教材室・相談室復旧図【1-13.1-14】	1:50	E-01	電気設備改修工事特記仕様書	—	M-01	機械設備工事 改修工事特記仕様書	—
A-01	改修工事特記仕様書(1)	—	A-37	職員用女子・男子トイレ復旧図【1-15.1-16】	1:50	E-02	電気設備 1階改修図	1:100	M-02	機械設備工事 南校舎棟 1階平面図	1:200
A-02	改修工事特記仕様書(2)	—	A-38	女子更衣室・男子更衣室復旧図【1-17.1-18】	1:50	E-03	電気設備 2階改修図	1:100	M-03	機械設備工事 南校舎棟 2階平面図	1:200
A-03	改修工事特記仕様書(3)	—	A-39	印刷室・湯沸室復旧図【1-19.1-20】	1:50				M-04	機械設備工事 参考図	1:10,50,100
A-04	改修工事特記仕様書(4)	—	A-40	職員玄関復旧図【1-21】	1:50						
A-05	案内・配置図	1:500	A-41	昇降口・ホール復旧図(1)【1-22】	1:50						
A-06	外部・内部仕上表(1)	—	A-42	昇降口・ホール復旧図(2)【1-22】	1:50						
A-07	内部仕上表(2)	—	A-43	1階廊下復旧図(1)【1-23】	1:30,50,100						
A-08	内部仕上表(3)	—	A-44	1階廊下復旧図(2)【1-23】	1:50						
A-09	1階平面図	1:200	A-45	ブロンズ庫復旧図【1-25】	1:50						
A-10	2階平面図	1:200	A-46	美術教室準備室復旧図【2-1】	1:30,50						
A-11	全体立面図	1:200	A-47	美術教室復旧図(1)【2-2】	1:50						
A-12	北面外壁調査図(1)	1:50	A-48	美術教室復旧図(2)【2-2】	1:50						
A-13	北面外壁調査図(2)	1:50	A-49	スタジオ復旧図【2-5】	1:50,100,200						
A-14	東面外壁調査図(1)	1:50	A-50	図書室復旧図(1)【2-6】	1:50						
A-15	東面外壁調査図(2)	1:50	A-51	図書室復旧図(2)【2-6】	1:50,100						
A-16	南面外壁調査図(1)	1:30	A-52	理科室Ⅱ復旧図【2-7】	1:50						
A-17	南面外壁調査図(2)	1:50	A-53	理科教室準備室・暗室【2-8.2-9】	1:50						
A-18	南面外壁調査図(3)	1:50	A-54	理科室Ⅰ・南2階倉庫復旧図(1)【2-10.2-11】	1:50						
A-19	西面外壁調査図(1)	1:50	A-55	理科室Ⅰ・南2階倉庫復旧図(2)【2-10.2-11】	1:50,100,200						
A-20	西面外壁調査図(2)	1:50	A-56	北2階倉庫復旧図【2-15】	1:50						
A-21	北校舎バルコニー調査図(1)	1:20,50	A-57	多目的教室復旧図(1)【2-16】	1:50						
A-22	北校舎バルコニー調査図(2)	1:50	A-58	多目的教室復旧図(2)【2-16】	1:50						
A-23	昇降口前・アプローチ階段復旧図	1:20,50	A-59	視聴覚教室・視聴覚教室準備室復旧図【2-18.2-19】	1:50						
A-24	階段室復旧図(1)【1-24】	1:50	A-60	2階廊下復旧図(1)【2-20】	1:50,100						
A-25	階段室復旧図(2)【1-24】	1:50	A-61	2階廊下復旧図(2)【2-21】	1:50,100						
A-26	保健室復旧図【1-1】	1:100,50,30	A-62	2階廊下復旧図(3)【2-20.2-21】	1:50						
A-27	職員室復旧図【1-2】	1:30	A-63	雑詳細図	1:5,10						
A-28	校長室復旧図【1-3】	1:50	A-64	EXP.J詳細図(1)	1:3,5,100						
A-29	会議室復旧図【1-4】	1:50	A-65	EXP.J詳細図(2)	1:50,500						
A-30	被服教室復旧図【1-5】	1:50	A-66	仮設計図(1)	1:300						
A-31	調理教室復旧図【1-6】	1:50	A-67	仮設計図(2)	1:200						
A-32	技術教室復旧図(1)【1-7】	1:50	A-68								
A-33	技術教室復旧図(2)【1-7】	1:50	A-69								
A-34	技術教室準備室・被服教室準備室復旧図【1-8.1-9】	1:50	A-70								
A-35	1階男子・女子トイレ【1-10.1-11】	1:50	A-71								

宮城県土木部宮城課 令和3年4月版 建築改修工事特記仕様書

設計審査	宮城課長	課長補佐(総括)	班長	班員
令和 年 月				

特記仕様書

I 工事概要

1 工事番号・名称 令和3年2月13日福島県沖地震による向洋中学校校舎等災害復旧工事

2 工事場所 宮城県宮城郡七ヶ浜町遠山一丁目9-18

3 用途地域等 都市計画区域(内・外)用途地域(第二種中高層住居専用地域)防火地域等(防火・準防火)指定なし(2.2条)その他の地域・地区()

4 主要用途 中学校

5 敷地面積 37,639.13705 m²

6 工事の概要 復旧工事

A. 南校舎棟内部

1) 壁: ｸﾞﾗｯｸ・破損部復旧

2) 床・天井: 破損部復旧

3) 建具: 破損部復旧

4) EXP. ｼﾊﾞｰ交換

B. 南校舎棟外部

1) 外壁: ｸﾞﾗｯｸ・破損部補修

2) EXP. ｼﾊﾞｰ交換

C. 北校舎棟外部・内部

1) 南面ﾊﾞﾙｺｰ笠木ﾓﾙﾄﾞ復旧

2) 2階視聴覚室・準備室・廊下: ｸﾞﾗｯｸ・破損部補修、EXP. ｼﾊﾞｰ交換

※建築復旧工事に伴う電気設備、機械設備工事一式

7 別途工事

8 その他

9 特記仕様書の範囲

特記仕様書は、本特記仕様書のほか以下の○印のもので構成する。

・ 構造特記仕様書 ・ 外構工事特記仕様書 ・ 植栽工事特記仕様書

・ 解体工事特記仕様書 ・ 電気設備工事特記仕様書 ・ 機械設備工事特記仕様書

II 建築工事仕様

1. 共通仕様

図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「公共建築改修工事標準仕様書(平成31年版)」(以下、「改修標準仕様書」という。)による。ただし、「改修標準仕様書」に記載されていない事項は、「公共建築工事標準仕様書(平成31年版)」(以下「標準仕様書」という。)及び「建築物解体工事共通仕様書(平成31年版)」(以下「解体共通仕様書」という。)による。

なお、施工条件明示書は特記仕様書に含める。

2. 特記仕様

1) 項目は、番号に○印のついたものを適用する。

2) 特記事項は、○印のついたものを適用する。○印のつかない場合は※印のついたものを適用する。○印と※印のついた場合は、共に適用する。

3) 特記事項に記載の <、() 及び [] 内の表示番号は、それぞれ「改修標準仕様書」、「標準仕様書」及び「解体共通仕様書」の当該項目、当該図又は当該表を示す。

章	項目	特記事項
一般事項	① 一般事項	○ 工事施工中に予期せぬ事態や疑義が生じた場合には、監督職員に報告の上、指示に従うこと。 ○ 請負業者は、監督職員と随時打合せを行い、工程の確認・調整及び工事の円滑な進捗をはかること。 ○ 施工体系図を現場に掲示すること。 ○ 工事着手前及び完成時に、以下に示す調査範囲の近隣家屋等の内外の状況(地盤、擁壁、内外壁、床、建具等)を調査・記録し、報告書を監督職員に提出すること。 調査範囲 ※ 図示
	② 適用基準等	○ 建設工事執行規則(昭和39年3月宮城県規則第9号) ○ 宮城県建設工事元請・下請関係適正化要綱(平成31年4月1日施行) ○ 建築工事標準詳細図(国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 平成28年版) ○ 宮城県建築工事写真撮影要領(平成12年版)及び工事写真撮影ガイドブック
	③ 概成工期	工事工期より 日前 <1.1.2>
	④ 工事実績情報(GORINS)の登録	※ 適用する(請負精算額が500万円以上の場合) <1.1.4> 受注時、変更時及び工事完成時にあらかじめ監督職員の確認を受け、契約締結後及び工事完成後の10日以内に登録手続きを行い、工事カルテの受領書を、監督職員に提出すること。 ・ 適用しない
	⑤ 発生材の処理等	発生材の処理 <1.3.12> ・ 引渡しを要するもの() ・ 特別管理産業廃棄物() ・ 受入れ施設名・所在地(km) ・ 現場において再利用を図るもの() ・ 再生資源化を図るもの()

種類	受入施設名	所在地(Km)	備考
・ コンクリート塊	宮城りんかいアスコ	多賀城市栄(3.0)	
・ アスファルト	宮城りんかいアスコ	多賀城市栄(3.0)	
○ 建設発生木材	丹勝りやびん	黒川郡大郷町鶴崎字佳吉(19.0)	
○ コンクリートから成る建設資材	宮城りんかいアスコ	多賀城市栄(3.0)	

・その他の廃棄物(安定型)

種類	受入施設名	所在地(Km)	備考
モルタルくず	安部工業	黒川郡大和町松坂平(25.8)	
○ ガラスくず	東洋環境開発	仙台市青葉区小田原(16.5)	
○ 混合廃棄物	矢本カンセンター	東松島市大塩字天神堂(28.0)	

① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩

・その他の廃棄物(管理型)

種類	受入施設名	所在地(Km)	備考

上記の処理、処分は設計積算上の条件明示であり、処理施設を指定するものではない。なお、上記によらない場合は、監督職員と協議すること。また、処理、処分に先立ち処分場等の受入の可否を確認すること

PCB(ポリ塩化ビフェニール)含有機器 ・ 有(数量は図示) [5.4.1]
・ 無

PCB含有シーリング材 ・ 有(施工範囲は図示) [5.4.1]
・ 無

PCBを含有する機器等については、飛散、流失等がないように適切な容器に納め、適切な場所に保管し、工事完了後、監督職員に引き渡す。

アスベストの処理

吹き付けアスベスト除去工事 ・ 有(図示) ・ 無
受け入れ施設名・所在地(km)

アスベスト含有保温材除去工事 ・ 有(図示) ・ 無
受け入れ施設名・所在地(km)

アスベスト成形板除去工事 ・ 有(図示) ・ 無
受け入れ施設名・所在地(km)

ヒ素又はカドミウム含有石膏ボードの処理

ヒ素又はカドミウムボード ・ 有(図示) ・ 無
次に該当する場合は、指定する場所に処分すること。
<対象となる石膏ボード>
小名浜吉野石膏(株) いわき工場 昭和48年10月～平成9年4月の間に製造されたもの
日東石膏ボード(株) 八戸工場 平成4年10月～平成9年4月の間に製造されたもの

指定する処分場
【名称: 所在地(km)】

・ 適用する ※ 適用しない <1.3.3>

<1.3.10>

工事中に事故が発生した場合は、直ちに監督職員に通報するとともに、別に指示する「事故報告書」を指示する期日までに監督職員に提出する。

<1.4.2>

材料の品質等

※ 本工事に使用する材料は、設計図書に定める品質及び性能を有するものとし、その材料にJIS又はJASのマークの表示のある場合を除いて監督職員の承諾を受ける。
特定のものが特記された場合は、設計図書に規定するもの又は、これらと同等のものとする。ただし、同等のものとする場合は、監督職員の承諾を受ける。

<1.4.1>

環境への配慮

※ 本工事に使用する材料の選定及び施工に当たっては、「県有施設のシックハウスマニュアル」に留意し、揮発性有機化合物の放散による健康への影響に配慮する。

※ ホルムアルデヒド仕様

使用する材料のホルムアルデヒド仕様は以下のとおりとする。
ホルムアルデヒド放散量 規制対象外の場合
該当する建築材料

1) JIS及びJASのF☆☆☆☆品
2) 建築基準法施行令第20条の7第4項による国土交通大臣認定品
3) 次の表示のあるJAS適合品

a. 非ホルムアルデヒド系接着剤使用
b. 接着剤等不使用
c. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散させない材料使用
d. ホルムアルデヒドを放散させない塗料等使用
e. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散させない塗料使用

⑨ 室内の空気中の化学物質濃度の測定

※ ホルムアルデヒド及び揮発性有機化合物の測定 <1.6.9> (1.5.9)

試料採取及び測定は、厚生労働省の「室内空気中化学物質の採取方法及び測定方法」の新築住宅の例に準拠するほか、拡散方式ではサンブラー製造所の定める仕様により行う。

測定対象物質

※ ｶﾙｼﾞﾝ ﾎﾞﾙﾄﾞ (濃度指針値 100 µg/m³ ・ 0.08ppm)
※ ﾏﾞﾙﾝ (濃度指針値 220 µg/m³ ・ 0.05ppm)
※ ﾓﾙﾌﾝ (濃度指針値 260 µg/m³ ・ 0.07ppm)
※ ﾍﾞﾝゼﾝ (濃度指針値 3,800 µg/m³ ・ 0.88ppm)
※ ﾆｯﾄﾞ (濃度指針値 200 µg/m³ ・ 0.05ppm)

測定する室等: (1階:保健室、職員室、校長室、会議室、被服室、調理室、技術室 計7室
2階:美術室、理科室Ⅰ・Ⅱ、視聴覚室 計4室 合計11室)

採取方法: 吸引方式又は拡散方式とし、拡散方式では8時間採取する。

測定結果等報告書の提出

次の事項を記載した報告書を2部提出する。

・ 測定結果
・ 試料採取時の状況(気温・湿度(室外・室内)、天候、風の状況、日射進入状況、測定年月日・時間、窓の開閉状況、機械換気量、工事完成時から測定日までの日数)
・ 試料採取方法、測定方法、使用した測定機器

測定対象物質が指針値を超える濃度で検出された場合は、引渡は受けない。

・ 総揮発性有機化合物の測定

測定方法、測定物質及び測定法等については、この仕様書の末尾に定める総揮発性有機化合物測定仕様書による。

※ 室内VOC濃度の測定結果に関する書面の当該施設への提示については、施設管理者に依頼する。

「改修標準仕様書」及び「標準仕様書」に記載されていない特別な材料の工法は、当該製品の指定工法とする。

11 建築基準法による風圧力等の指定

適用工事	建築基準法の指定
・ 合成高分子系ルーフィングシート	風速(V0) ※30
・ アルミニウム笠木	金属板屋根
・ 折板屋根葺	ガラスブロック
・ 重量シャッター	軽量シャッター
・ オーバーヘッドドア	

※ 図示 ・ 現状平均地盤高

12 設計G.L

13 施工調査

調査項目	調査範囲	調査方法	成果品
被災調査	外壁、他外部全般	目視、打診	
被災調査	内壁、他内部全般	目視、打診	
被災調査	EXP. J	目視、打診	

・ 既存部分の破壊を行った場合の補修方法は、図示による。 <1.5.3>

<1.6.2>

14 技能士

・ 下表で技能士を適用することとした職種に、1級又は単一級技能士を配置する。
※ 下表で技能士を適用することとした職種に、1級、2級又は単一級技能士を配置する。
・ 下表で技能士を適用しないとした職種でも、技能士の配置に努めること。

工事種目	技能検定職種(技能検定作業)
以下の該当工事	・ 該当する作業がある以下の職種(作業)の全て
仮設工事	○とび(とび作業)
防水改修工事	・ 防水施工(・ アスファルト防水工事作業 ・ ウレタンゴム系塗膜防水工事作業 ・ アクリルゴム系塗膜防水工事作業 ・ 合成ゴム系シート防水工事作業 ・ 塩化ビニル系シート防水工事作業 ・ セメント系防水工事作業 ・ シーリング防水工事作業 ・ 改質アスファルトシート防水工事作業 ・ FRP防水工事作業)
外壁改修工事	○左官(左官作業) ・ タイル張り(タイル張り作業) ○樹脂接着剤注入施工(樹脂接着剤注入工事作業) ○塗装(建築塗装作業)
建具改修工事	・ サッシ施工(ビル用サッシ施工作業) ・ ガラス施工(ガラス工事作業) ・ 自動ドア施工(自動ドア施工作業)
内装改修工事	○内装仕上施工(・ プラスチック系床仕上工事作業 ・ カーベット系床仕上作業 ・ 木質系床仕上工事作業 ○ボード仕上工事作業 ○鋼製下地工事作業)
塗装改修工事	○塗装(建築塗装作業) ・ 建築大工(大工工事作業)
耐震改修工事	・ 鉄筋施工(鉄筋組立作業) ・ 型枠施工(型枠工事作業) ・ とび(とび作業) ・ コンクリート圧送施工(コンクリート圧送工事作業)
コンクリートブロック・ALCパネル・骨出成形セメント板工事	・ ブロック建築(コンクリートブロック工事作業) ・ ALCパネル施工(ALCパネル工事作業)
石工事	・ 石材施工(石張り作業)
排水工事	・ 配管(建築配管作業)
舗装工事	・ 路面標示施工(・ 溶融ベントノドマーカ工事作業 ・ 加熱ベントノドマーカ作業)
植栽工事	・ 造園(造園工事作業)
屋根及びとい工事	・ 建築板金(内外装板金作業) ・ かわらぶき(かわらぶき作業)

15 完成図等

宮城課工事完成引渡要領(令和3年4月1日宮城県土木部宮城課・設備課)により作成する。

※ 白焼A4版折製本(黒表紙金文字入) 1部
※ 白焼縮小(A3版)2つ折製本 1部
※ 完成図面 JMW形式又はDX形式のCADデータ及びPDFデータ CD2枚

16 完成写真

※ 作成する宮城県建築工事写真撮影要領により、完成届に添付する完成写真とは別に次のものを原簿(ネガ又は電子媒体)とともに監督職員に提出する。なお、原簿を電子媒体とする場合は、CD等で提出すること。

分類	サイズ	撮影箇所数	部数	提出様式
※カラー・白黒	※L・2L・六切り	※宮城県写真撮影要領の完成写真程度	※1部	※工用アルバムA4版ポケット式程度 ・ フリーアルバム(台紙寸法323×270程度)

・ 作成しない

17 設備工事との取合い

施工範囲 各工事の区分表による。
施工図 設備機器の位置、取り合い等が検討できる施工図を提出して監督職員に提出する。

18 火災保険等

工事目的物及び工事材料等について、次により保険に付す。
保険の種類 ※ 火災保険 ※ 建設工事保険
保険期間 ※ 工事着手から工事目的物引き渡しまで

2 ① 仮囲い

※ 設ける ・ 設けない
仮囲いの位置及び延長は図示による。
・ シートゲート(H=) × 箇所

2 ② 交通誘導員

○ 配置する(15日 × 2人 = 30人日) ※ 配置しない

3 ③ 揚重機械器具

・ トラッククレーン(t吊り) × 日
・ (t吊り) × 日

④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

4 工事表示板

5 足場等

※ 設置する(設置枚数 1枚) ・ 設置しない
宮城課工事における工事及びコスト表示要領(平成14年2月6日宮城県土木部宮城課・設備室制定)による。

外部足場 ○設置する (設置範囲 ・ 工事に必要な範囲 <2.2.1>)
○ 図示) <表2.2.1>

防護シート ・ 設置しない
○設置する (設置範囲 ・ 工事に必要な範囲)

内部足場 ・ 設置しない
○設置する (・ ※ 脚立、足場板等)
・ 設置しない

・ 材料、撤去材等の運搬方法
種別(・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種 ・ E種)
C種: 利用可能なエレベーター ()
D種: 利用可能な階段 (階段室【1-24】)

足場を設ける場合は、「手すり先行工法等に関するガイドライン(厚生労働省平成21年4月策定)」によるものとし、設置については「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」及び「働きやすい安心感のある足場に関する基準」によること。

家具の移動 ○ 行う(図示) ・ 行わない <2.3.1>
既存ブラインド・カーテン等の養生及び保管
○ 行う ・ 行わない

養生の方法
保管場所

・ 設ける(図示) ・ A種 ・ B種 ※ C種 <2.3.2><表2.3.1>

8 監督職員事務所

※ 設けない(請負者事務所に打合せ会議室を確保する) <2.4.1>
・ 設ける(規模 m²程度 請負者事務所と同様 ・ 可 ・ 否)

9 工事用水

10 工事用電力

11 工事用通路

12 その他の仮設

3 1. アスファルト防水

改修工法の種別	改修工法の種類	施工箇所
新規防水層の種類		
・ E-1		屋内(便所・浴室)

アスファルトの種類 JIS K2207のJIS表示認証製品 ※3種 <3.2.2>

脱気装置 ・ 設ける ・ 設けない <3.3.3>
種類 ・ 平面部脱気型 ・ 立ち上がり部脱気型
施工業者 防水層製品の製造所又はその指定業者とする。

2. 伸縮調整目地

※ 成型伸縮目地(天端 EPTゴム、サイド プチルゴム製) <3.3.2><3.3.5>

3. 改質アスファルトシート防水

改修工法の種別	改修工法の種類	施工箇所	仕上塗料
新規防水層の種類			※ カラー
・ AS-T			・ シルバー
・ AS-J			
・ AS-I			

脱気装置 ・ 設ける ・ 設けない <3.4.3>
種類 ・ 平面部脱気型 ・ 立ち上がり部脱気型
施工業者 防水層製品の製造所又はその指定業者とする。

4. 合成高分子ルーフィングシート防水

改修工法の種別	改修工法の種類	施工箇所	仕上塗料
新規防水層の種類			※ カラー
・ S-F			・ シルバー
・ S-M			
・ S-I			

脱気装置 ・ 設ける ・ 設けない <3.5.3>
種類 ・ 平面部脱気型 ・ 立ち上がり部脱気型
施工業者 防水層製品の製造所又はその指定業者とする。

5. 塗膜防水

改修工法の種別	改修工法の種類	施工箇所	仕上塗料
新規防水層の種類			※ カラー
・ X-1			・ シルバー
・ X-2			
・ Y-2			

脱気装置 ・ 設ける ・ 設けない <3.6.3>
種類 ・ 平面部脱気型 ・ 立ち上がり部脱気型
施工業者 防水層製品の製造所又はその指定業者とする。

6. シーリング材料の種別及び施工箇所

※ 被着体に応じたものとし、<表3.7.1>を標準とする。
・ <表3.7.1>によらない箇所及びシーリング材料
<表3.7.1>によらない箇所

材	種	防	露
・ 配管用鋼管(SGP)		※ <表3.8.3~4>により行う	
・ 硬質塩化ビニル管(VP)			

特記無き限り既存のとい受け金物を使用する。
鋼管製といの防露巻き
※ <表3.8.4>による。

7. シーリング改修工法

改修工法の種別	改修工法の種類	施工箇所
・ シーリング充てん工法		
○ シーリング再充てん工法	AW廻り、GB目地	
・ 拡幅シーリング充てん工法		
・ ブリッジ工法()		

8. と い

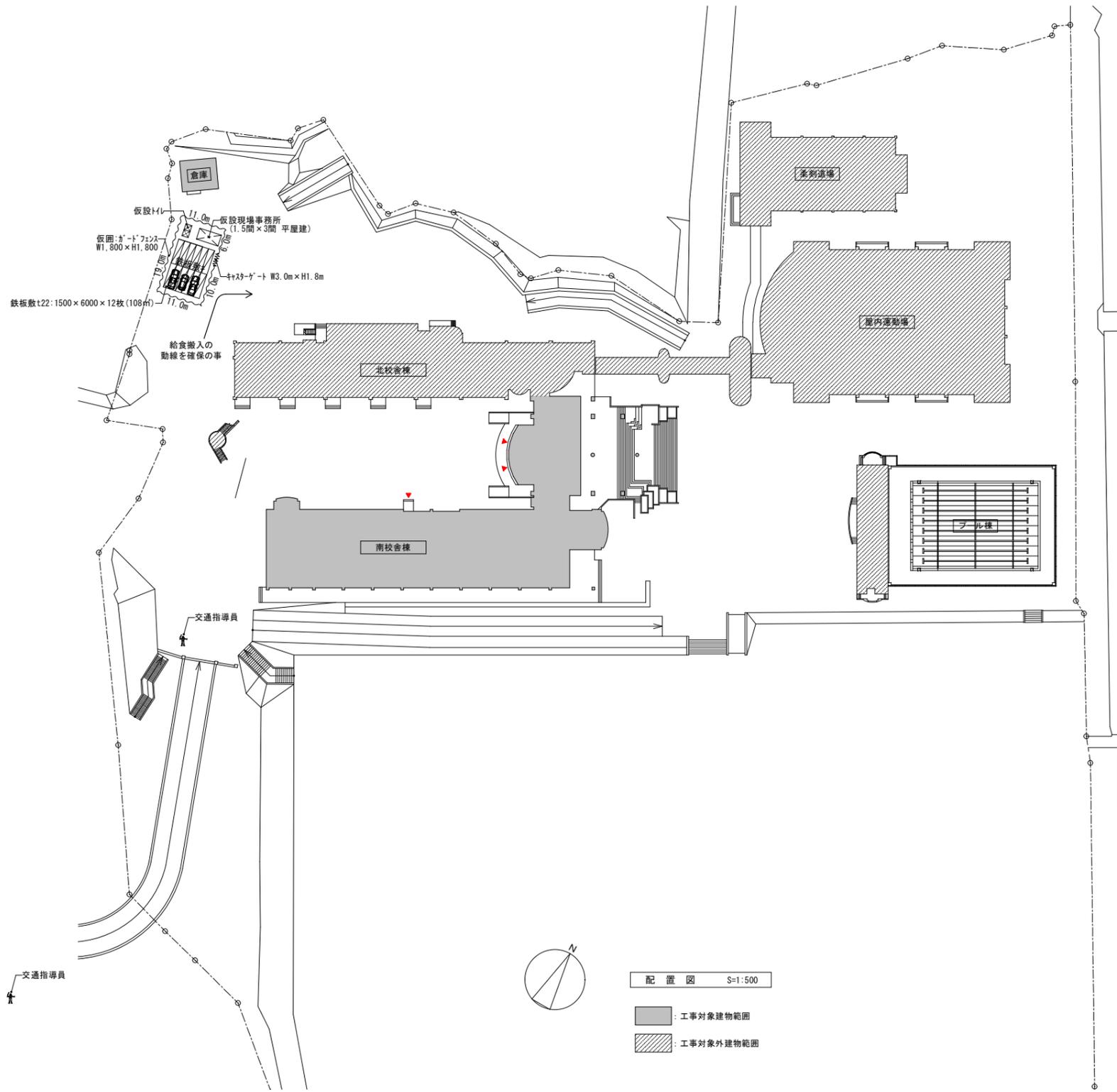
材	種	防	露
・ 配管用鋼管(SGP)		※ <表3.8.3~4>により行う	
・ 硬質塩化ビニル管(VP)			

特記無き限り既存のとい受け金物を使用する。
鋼管製といの防露巻き
※ <表3.8.4>による。

3	9. ルーフドレン	※水はけよく、床面より下げ、周囲の隙間にモルタルを充填する <3.8.3>	4	③. 浮き部改修	・モルタル塗り仕上げ <4.4.4><4.4.8~15>	4	6. 外壁用塗膜防水材塗り <4.1.5><4.2.2><4.8.2><表4.2.6>	5	6. 鋼製軽量建具 <5.5.2~4><表5.5.1>
	10. アルミニウム製笠木	部材の種類 <3.9.2><表3.9.1> ・ 押出 250形 ・ 押出 300形 ・ 押出 350形 ・ 板材折曲げ形(・オープン形式 ・ シール形式) 付属部品の材料、角各部並びに突当り部等の役物は、笠木本体製作所の仕様による。 表面処理 <3.9.2><表5.2.2> ※ BB-1種 ・ BB-2種		④. 外壁改修工事	・ アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 <4.4.4><4.4.8~15> ・ アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法 ・ アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法 ・ 注入口付アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 ・ 注入口付アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法 ・ 注入口付アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法 ・ 充てん工法 ・ モルタル塗替え工法		5. 外壁改修工事 <4.6.3> ・ 塗膜の劣化部の除去工法 ・ サンダー工法 ・ 高圧水洗工法 ・ 塗膜はく離工法 ・ 水洗い工法		7. ステンレス製建具 <5.6.2> 簡易気密型ドアセット ※ 使用する(適用箇所は図示による) 気密性 ※ A-3 水密性 ※ W-1 使用しない 外部に面する建具の耐風圧性 ※ S-4 ・ S-5 表面処理 ※ HL 鋼板の曲げ加工 ※ 普通曲げ ・ かど出し曲げ
4	①. ひび割れ部改修	①. コンクリート打放し仕上げ <4.2.2><4.3.4~6>	4	④. 外壁改修工事	・ タイル張り仕上げ <4.5.4><4.5.7~15>	5	①. 一般事項 <5.1.3>	10. 自動ドア開閉装置 <5.7.2><表5.7.1>	
		※ シール工法 ※ 樹脂注入工法 ※ リカットシール材充てん工法							①. 一般事項 <5.1.3> 改修工法 ・ かぶせ工法 ・ 撤去工法 新規建具周囲の補修方法及び範囲は図示による。 見本の作成等 製作 ※ 行わない 仮組 ※ 行わない 防犯建物部品 ※ 使用しない 外部に面する建具 <5.2.2><5.2.4><表5.2.1> 種別 耐風圧性 気密性 水密性 枠の見込み寸法(mm) ・ A種 S-4 A-3 W-4 70 ・ B種 S-5 ・ C種 S-6 A-4 W-5 ※100 ※ 適用箇所は図示による 表面処理 外部に面する建具 ※ BB-1種 ・ BB-2種 内部建具 ※ BC-1種 ・ BC-2種 BB-2種, BC-2種の場合 防音ドア, 防音サッシ 断熱ドア, 断熱サッシ 耐震ドア, 耐震サッシ 使用方法による区分 防虫網(線径0.25mm 網目16-18メッシュ) 防鳥網 ※ステンレス(SUS304) 線径1.5mm ピッチ15mm
4	②. 欠損部改修	・ モルタル塗り仕上げ <4.2.2><4.4.5~7>	4	④. 外壁改修工事	・ タイル張り仕上げ <4.5.4><4.5.7~15>	5	2. アルミニウム製建具 <5.2.2><5.2.4><表5.2.1>	11. 重量シャッター <5.10.2><表5.10.1>	
		※ シール工法 ※ 樹脂注入工法 ※ リカットシール材充てん工法							②. アルミニウム製建具 <5.2.2><5.2.4><表5.2.1> 種別 耐風圧性 気密性 水密性 枠の見込み寸法(mm) ・ A種 S-4 A-3 W-4 70 ・ B種 S-5 ・ C種 S-6 A-4 W-5 ※100 ※ 適用箇所は図示による 表面処理 外部に面する建具 ※ BB-1種 ・ BB-2種 内部建具 ※ BC-1種 ・ BC-2種 BB-2種, BC-2種の場合 防音ドア, 防音サッシ 断熱ドア, 断熱サッシ 耐震ドア, 耐震サッシ 使用方法による区分 防虫網(線径0.25mm 網目16-18メッシュ) 防鳥網 ※ステンレス(SUS304) 線径1.5mm ピッチ15mm
4	②. 欠損部改修	・ タイル張り仕上げ <4.2.2><4.5.5~8><4.5.16>	4	④. 外壁改修工事	・ タイル張り仕上げ <4.5.4><4.5.7~15>	5	3. 網戸 <5.2.3>	12. 軽量シャッター <5.11.2~4><表5.11.1>	
		※ シール工法 ※ 樹脂注入工法 ※ リカットシール材充てん工法							③. 網戸 <5.2.3> 使用方法による区分 ※ 外面納まりの可動式 ・ 内部納まりの開き式
4	②. 欠損部改修	・ タイル張り仕上げ <4.2.2><4.5.5~8><4.5.16>	4	④. 外壁改修工事	・ タイル張り仕上げ <4.5.4><4.5.7~15>	5	4. 樹脂製建具 <5.3.2><表5.3.1>	13. オーバーヘッドドア <5.12.2~3>	
		※ シール工法 ※ 樹脂注入工法 ※ リカットシール材充てん工法							④. 樹脂製建具 <5.3.2><表5.3.1> 外部に面する建具性能等級等 種別 耐風圧性 気密性 水密性 枠の見込み寸法(mm) ・ A種 S-4 ・ B種 S-5 ・ C種 S-6 A-4 W-4 W-5 ※建具表による ※ 適用箇所は図示による 防音ドア, 防音サッシ 断熱ドア, 断熱サッシ 表面色 ・ 標準色(白) ・ 特注色(・黒 ・ ブラウン ・ シルバー) 簡易気密型ドアセット <5.4.2><5.4.4><表5.4.1><表5.4.2> ※ 使用する(適用範囲は図示による) 気密性 ※ A-3 水密性 ※ W-1 使用しない 外部に面する建具の耐風圧性 ※ S-4 ・ S-5 建具寸法が<5.4.4(1)>を超える又は図示された建具に使用する鋼板の厚さ 区分 使用箇所 厚さ(mm) 窓 枠類 枠, 方立, 無目 <表5.4.2>に同じ 出入口 枠類 一般部分 2.3 戸 中骨 2.3 上記以外 <表5.4.2>に同じ 標準型鋼製建具 ※ 使用する ・ 使用しない <5.4.6>
4	②. 欠損部改修	・ タイル張り仕上げ <4.2.2><4.5.5~8><4.5.16>	4	④. 外壁改修工事	・ タイル張り仕上げ <4.5.4><4.5.7~15>	5	5. 鋼製建具 <5.4.2><表5.4.1><表5.4.2>	14. ガラス <5.13.2><5.13.3>	
		※ シール工法 ※ 樹脂注入工法 ※ リカットシール材充てん工法							⑤. 鋼製建具 <5.4.2><表5.4.1><表5.4.2> 簡易気密型ドアセット ※ 使用する(適用範囲は図示による) 気密性 ※ A-3 水密性 ※ W-1 使用しない 外部に面する建具の耐風圧性 ※ S-4 ・ S-5 建具寸法が<5.4.4(1)>を超える又は図示された建具に使用する鋼板の厚さ 区分 使用箇所 厚さ(mm) 窓 枠類 枠, 方立, 無目 <表5.4.2>に同じ 出入口 枠類 一般部分 2.3 戸 中骨 2.3 上記以外 <表5.4.2>に同じ 標準型鋼製建具 ※ 使用する ・ 使用しない <5.4.6>
4	②. 欠損部改修	・ タイル張り仕上げ <4.2.2><4.5.5~8><4.5.16>	4	④. 外壁改修工事	・ タイル張り仕上げ <4.5.4><4.5.7~15>	5	5. 鋼製建具 <5.4.2><表5.4.1><表5.4.2>	14. ガラス <5.13.2><5.13.3>	
		※ シール工法 ※ 樹脂注入工法 ※ リカットシール材充てん工法							⑤. 鋼製建具 <5.4.2><表5.4.1><表5.4.2> 簡易気密型ドアセット ※ 使用する(適用範囲は図示による) 気密性 ※ A-3 水密性 ※ W-1 使用しない 外部に面する建具の耐風圧性 ※ S-4 ・ S-5 建具寸法が<5.4.4(1)>を超える又は図示された建具に使用する鋼板の厚さ 区分 使用箇所 厚さ(mm) 窓 枠類 枠, 方立, 無目 <表5.4.2>に同じ 出入口 枠類 一般部分 2.3 戸 中骨 2.3 上記以外 <表5.4.2>に同じ 標準型鋼製建具 ※ 使用する ・ 使用しない <5.4.6>

<p>5 建具改修工事</p> <p>15. ガラスブロック(中空)</p>	<p>強化ガラスの特性 Ⅰ類 ・ Ⅲ類 熱線吸収ガラス 性能 ・ 1種 ・ 2種 色調 ・ ブルー ・ グレー ・ ブロンズ</p> <p>複層ガラス 断熱性 ・ T1 ・ T2 ・ T3 ・ T4 ・ T5</p> <p>日射取得性、日射遮蔽性 ・ G ・ S 封止の加速耐久性による区分 ※ Ⅲ類</p> <p>熱線反射ガラス 日射遮へい性 ・ 1種 ・ 2種 ・ 3種 耐久性 ・ A類 ・ B類 色調 ・ ブルー ・ グレー ・ ブロンズ 反射皮膜 ・ シルバー 映像調整 ・ 内側 ・ 外側 ・ 行わない</p> <p>ガラスの留め材 ※ シーリング ・ ガスケット(可動アルミ製建具及び樹脂製建具に限る) 防火戸のガラスの留め材は建築基準法の認定を受けたシーリング材とする。 ガラスの溝の大きさ ・ 図示 ・ 建具の製造所の仕様による 複層ガラスの保証期間は引き渡し日から10年間とし、メーカー保証書を提出する。</p> <table border="1"> <tr> <th>表面形状 (JIS A5212)</th> <th>モジュール呼び寸法による区分(長さ×高さ)</th> <th>厚さによる区分</th> </tr> <tr> <td>正方形</td> <td>125×125 ・ 160×160</td> <td>80</td> </tr> <tr> <td></td> <td>200×200 ・ 320×320</td> <td>95</td> </tr> <tr> <td>長方形</td> <td>250×125 ・ 320×160</td> <td>125</td> </tr> </table> <table border="1"> <tr> <th>品質等</th> <th>ガラスの種類</th> <th>柄</th> <th>目地色</th> <th>金属枠</th> <th>耐火性能</th> </tr> <tr> <td></td> <td>一般ガラス</td> <td>無</td> <td>白</td> <td>アルミニウム製</td> <td>規定しない</td> </tr> <tr> <td></td> <td>乳白ガラス</td> <td>有</td> <td>グレー</td> <td>(表面処理)</td> <td>(有 分間)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>カラーガラス</td> <td></td> <td></td> <td>ステンレス製</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>熱線反射ガラス</td> <td></td> <td></td> <td>(表面仕上)</td> <td></td> </tr> </table>	表面形状 (JIS A5212)	モジュール呼び寸法による区分(長さ×高さ)	厚さによる区分	正方形	125×125 ・ 160×160	80		200×200 ・ 320×320	95	長方形	250×125 ・ 320×160	125	品質等	ガラスの種類	柄	目地色	金属枠	耐火性能		一般ガラス	無	白	アルミニウム製	規定しない		乳白ガラス	有	グレー	(表面処理)	(有 分間)		カラーガラス			ステンレス製			熱線反射ガラス			(表面仕上)		<p>⑥ ⑩. 軽量鉄骨壁下地材 ⑪. 体育館の鋼製床下地 ⑫. ビニル床シート張り ⑬. ビニル床タイル張り ⑭. ビニル床タイル・ビニル床シートの特長機能 ⑮. 視覚障害者用床タイル ⑯. ビニル幅木 ⑰. カーベット敷き</p> <p>スタッド、ランナーなどの種類は<表6.7.1>による。 <6.7.3><表6.7.1> ※ JIS A 6519のJIS表示認証製品</p> <p>JIS A5705のJIS表示認証製品 <6.8.2><6.8.3> 種類 記号 色柄 厚さ(mm) 特殊機能 工法 ※ 発泡層のないもの ※ F S ※無地 ※ 2.0 ・帯電防止 ※熱溶接 ・発泡層のあるもの ・ H S ・マーブル ・ 2.5 ・耐動荷重 ・ 突付け ・ K S</p> <p>目地処理する場合の工法 ・ 熱溶接工法</p> <p>JIS A5705のJIS表示認証製品 <6.8.2> 種類 記号 寸法 厚さ(mm) 特殊機能 ※ コンポジション ※ K T ※ 300×300 ※ 2.0 ・帯電防止 ビニル床タイル ・ ・ ・ ・ ・耐動荷重 ・ ホモジニアス ・ F T ・ 300×300 ・ 2.0 ・帯電防止 ビニル床タイル ・ ・ ・ 450×450 ・ ・耐動荷重</p> <p>目地処理する場合の工法 ・ 熱溶接工法</p> <p>帯電防止 <6.8.2> ・ 帯電防止性能評価 (JIS A 1455) 1.2~3.1程度 又は耐電圧 (JIS L 1023)3kV以下 ・ 帯電防止性能評価 (JIS A 1455) 3.2~5.1程度 又は漏えい抵抗値 (JIS A 1454) 1×10¹⁰オーム未満 ・ 帯電防止性能評価 (JIS A 1455) 5.2以上 又は漏えい抵抗値 (JIS A 1454) 1×10⁷オーム未満</p> <p>耐動荷重 JIS A 1454によるへこみ試験、残留へこみ試験、滑り試験、層間剥離強度試験(発泡層のあるビニルシートのみ)およびキャスター性試験等の試験後異常がないこと。</p> <table border="1"> <tr> <th>材</th> <th>質</th> <th>寸法(mm)</th> </tr> <tr> <td>塩化ビニル系</td> <td>セツ質アクリル系</td> <td>300×300</td> </tr> </table> <p>材種 ※ 軟質 ・ 硬質 ・ 溶接 <6.8.2> 高さ(mm) ・ 60 ※ 75 ・ 100 厚さ(mm) ・ 1.5 ※ 2.0</p> <p>・ タフテッドカーベット <6.9.2~3><表6.9.2> 施工箇所 パイル形状 パイル長さ(mm) 工法 品質 帯電性 ※全面接着工法 ・ <6.9.2(2)>による ・ グリッパ工法</p> <p>・ タイルカーベット <6.9.2~3><表6.9.1> 施工箇所 種類 パイル形状 寸法 総厚さ 帯電性 ※第1種 ※ループパイル ※500×500 ・ 6.5 製造所の仕様による ・ 第2種 ・ カットパイル ・</p> <p>材料の種類 <6.10.2> ・ 厚膜型塗床材 ・ 弾性ウレタン樹脂系塗床材 ・ エポキシ樹脂系塗床材 ・ 薄膜型塗床材(エポキシ樹脂系塗床材)</p> <p>仕上の種類 <6.10.3> ・ 平滑仕上げ ・ 防滑仕上げ ・ 単層フローリング <6.11.2~6><表6.11.1~6> 種類 樹種 厚さ(mm) 工法 塗装 ・ フローリング ※なら ※15幅 75 ・ 釘止め工法 ※ウレタン樹脂 ボード1等 ・ ・ ・ 長さ400以上 ・ 接着工法 ・ ワニス塗り ・ オイルステンの塗りの上 ・ フローリング ※なら ※15(303×303) ・ 接着工法 ・ ワックス ブロック1等 ・ ・ ・ ・ 生地のまま ワックス ・ 既塗装品</p> <p>・ 複合フローリング 種類 樹種 種別 防湿処理 工法 塗装 ・ 複合 ※なら ・ A種 ・ 行う ・ 釘止め工法 ※ウレタン樹脂 フローリング ・ さくら ・ B種 ※行わ ・ 接着工法 ・ ワニス塗り ・ ひのき ※C種 ・ ない ・ ・ ・ オイルステンの塗りの上 ・ 大型積層 ・ なら ・ 行う ・ 特殊張り ・ 生地のまま フローリング ・ さくら ・ 行わ ・ ない (体育館床) ・ 既塗装品</p> <p>⑱. 畳敷き 畳の種類 ・ A種 ・ B種 <6.12.2><表6.12.1> ※ C種 ・ D種</p> <p>⑳. 石こうボード ⑳. 石こうボード張り 種類又は記号 種別など 厚さ(mm) 規格番号 けい酸カルシウム板(繊維強化セメント板) 0.8FK又は1.0FK 壁 ・ 8(不燃) JIS A 5430 ・ 10(不燃) (タイプ2) ・ 12(不燃) 天井 ○ 6(不燃) ○ 12(不燃) ガラスウール(吸音材料) GW-B ガラスクロス(JIS A 3414 EP18程度) 額縁張り品 25(不燃) JIS A 6301 (32K) ロックウール化粧吸音板(吸音材料) DR ※内部用 普通 ※ 9(不燃) JIS A 6301 ○ 軒天用 ○ 12(不燃) 立体模様 ・ 12(不燃) ・ 15(不燃) ・ 19(不燃)</p>	材	質	寸法(mm)	塩化ビニル系	セツ質アクリル系	300×300	<p>⑦ ①. 防火材料 <7.1.3> ※ 屋内の壁及び天井の仕上げは、建築基準法に基づく基材同等の認定表示のあるものとする。 ・ 次の箇所を除き防火材料とする。()</p> <p>②. 錆止め塗料塗り <7.3.2~3><表7.2.2~3><表7.3.1~4> 下地 種別 下地調整 塗装種別 塗料種別 鉄鋼面 新規 ※RA種・RB種・RC種 ※A種(見え掛かり) ※A種 ※B種(見え隠れ) ※B種 塗替え ・ RA種 ※RB種・RC種 ・ A種 ・ B種 ※C種 <9箇の場合> 垂れめつき 新規 RA種・RB種・RC種 ※A種・B種・C種 ※A種・B種 鋼面 新規 ※RA種・RB種・RC種 ・ A種 ・ B種 ※C種 塗替え ・ RA種 ※RB種・RC種 ・ A種 ・ B種 ※C種 <9箇の場合></p> <p>③. 合成樹脂調整ペイント塗り(SOP) <7.2.2~4><7.4.2~5><表7.2.1~3><表7.4.1~3> 下地 種別 下地調整 塗装種別 塗料種別 木部 新規 ※RA種・RB種・RC種 ※A種(外部) ※1種 ※B種(内部) ・ C種 ・ 2種 塗替え ・ RA種 ※RB種・RC種 ・ A種 ・ B種 ・ C種 鉄鋼面 新規 ※RA種・RB種・RC種 ・ A種 ※B種 ・ C種 ※1種 塗替え ・ RA種 ※RB種・RC種 ・ A種 ※B種 ・ C種 ・ 2種</p> <p>垂れめつき 建具塗替 ※RA種・RB種・RC種 ※A種 ・ B種 ・ C種 ※1種 鋼面 新規 ※RA種・RB種・RC種 ・ A種 ※B種 ・ C種 ・ 2種 塗替え ・ RA種 ※RB種・RC種 ・ A種 ※B種 ・ C種</p> <p>④. つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り(E P-G) <7.2.5~7><7.10.2><表7.2.4~7><表7.10.1> 下地 種別 下地調整 塗装種別 塗料種別 コンクリート 新規 ※RA種・RB種・RC種 ※A種 ・ B種 ・ C種 ※1種 面 塗替え ・ RA種 ※RB種・RC種 ・ A種 ※B種 ・ C種 ALCパネル 面 押出成形セメント板面 新規 ・ RA種 ※RB種・RC種 ※A種 ・ B種 ・ C種 ※1種 モルタル面 塗替え ・ RA種 ※RB種・RC種 ・ A種 ※B種 ・ C種 石膏ボード 新規 ※RA種・RB種・RC種 ※A種 ・ B種 ・ C種 ※1種 その他の 塗替え ※RA種(経目処理工法) ・ A種 ※B種 ・ C種 ボード等の面 ※RB種(その他) ・ RC種</p>	<p>8-1-2 耐震改修工事(コンクリート工事)</p> <p>1. 設計基準強度 <8.1.3> 設計基準強度 適用箇所 ※ 2.1</p> <p>2. レディーミクストコンクリート <8.1.3><表8.1.1></p> <p>3. 打直し仕上げの種別 <8.1.4><表8.1.4> 種別 適用箇所 ・ A種 ・ B種 ・ C種</p> <p>4. セメントの種類 <8.2.5> セメントの種類 適用範囲 ※普通ポルトランドセメント、高炉セメントA種 建物躯体(下記以外) ・ シリカセメントA種又はフライアッシュセメントA種 ・ 高炉セメントB種 基礎、地中梁 ・ フライアッシュセメントB種 基礎、地中梁</p> <p>5. 骨材 <8.2.5> 使用骨材のアルカリシリカ反応による区分 ※ A ・ B</p> <p>6. 混和材料 <8.2.5> 混和剤 ※ AE剤、AE減水剤I種又は高性能AE減水剤</p> <p>7. 軽量コンクリート <8.9.1><表8.9.1> 種別 適用箇所 気乾単位容積質量(t/m3)</p> <p>8. 無筋コンクリート <8.11.1> 適用箇所</p> <p>9. グラウト材 <8.2.12> 無収縮グラウト材は、製造所で調査された材料を使用する。 圧縮強度(N/mm²) : 30以上 コンステンシーJ14: ロート値(秒) 6~10 乾燥収縮(×10⁻⁴): 0</p> <p>10. 柱底等の均しモルタル <8.2.12> 無収縮モルタル材 ・ 使用する ・ 使用しない</p> <p>11. 型枠 <8.2.7> せき板の種類 ※ 12mm合板 ・ せき板の塗料 ※ 無 ・ 有</p> <p>12. コンクリートの打込み工法 <8.21.8><8.23.5> ※ 流込み工法 ・ 圧入工法</p> <p>13. 既存部分の撤去 <8.21.2> 既存仕上げの撤去範囲 ※ 図示 ・ 既存躯体の撤去範囲 ※ 図示 ・</p> <p>8-1-3 (あ)耐震改修工事(鉄骨工事)</p> <p>1. あと施工アンカー <8.2.4> ※ 接着系アンカー [引張耐力 (KN)、せん断耐力 (KN)] アンカーの種類 ※カプセル型回転・打撃式 ・ 接着剤 ※有機系 ・ 無機系 ・ 金属系アンカー [引張耐力 (KN)、せん断耐力 (KN)] 打込み方式 ※本体打込み式改良型</p> <p>2. あと施工アンカーの試験 <8.2.4> 性能確認試験 ※ 行わない ・ 行う 施工確認試験 ※ 行う ・ 行わない</p> <p>3. 埋込配管等の調査 <8.12.4> 範囲 ※穿孔箇所すべて ・ 図示</p> <p>8-1-4 耐震改修工事(鉄骨工事)</p> <p>1. 鉄骨製作工場 <8.1.5> ※ 指定性能評価機関の性能評価を受けて、国土交通大臣の認定を受けた下記のグレード以上の工場 ・ S ・ H ・ M ・ R ・ J ・ 本物件と同等規模構造の施工実績を有している工場で、監督職員の承諾する工場</p> <p>2. 鋼材の種類 <8.2.8><表8.2.7> 材 質 規格 ・ SS400 ・ SSS400 ・ STK400 ・ STKR400 JIS表示認証製品 ・ SN400B,C ・ SN490B,C ・ SM400 ・ SM490</p> <p>3. 高力ボルト <8.2.9> ボルト種別 セットの種類 ※トルシア形高力ボルト ※建築基準法に基づき認定を受けたもの ・ JIS形高力ボルト ※2種(F10T) ・ 溶融亜鉛メッキ高力ボルト ※1種(F81相当)</p> <p>4. 溶接部の試験 <8.15.12> ※超音波探傷試験</p> <p>5. 錆び止め塗装 <8.17.4> <7.3.2~3>による。</p> <p>6. 耐火被覆 <8.18.2~8> 種類 材料・工法 性能(耐火時間) 適用箇所(部位・部分)</p> <p>・ 耐火材吹き付け ・ 乾式吹付けロックウール ・ 半乾式吹付けロックウール ・ 湿式ロックウール ・ 繊維混入けい酸カルシウム板</p> <p>・ 耐火板張り ・ 高断熱ロックウール</p> <p>・ 耐火材巻付け ・ ラス張り ・ モルタル塗り ・ 耐火塗料</p>
表面形状 (JIS A5212)	モジュール呼び寸法による区分(長さ×高さ)	厚さによる区分																																																		
正方形	125×125 ・ 160×160	80																																																		
	200×200 ・ 320×320	95																																																		
長方形	250×125 ・ 320×160	125																																																		
品質等	ガラスの種類	柄	目地色	金属枠	耐火性能																																															
	一般ガラス	無	白	アルミニウム製	規定しない																																															
	乳白ガラス	有	グレー	(表面処理)	(有 分間)																																															
	カラーガラス			ステンレス製																																																
	熱線反射ガラス			(表面仕上)																																																
材	質	寸法(mm)																																																		
塩化ビニル系	セツ質アクリル系	300×300																																																		
<p>⑥ ①. 改修範囲 <6.1.3> 既存壁の撤去に伴う当該壁の取合う天井、壁、床の改修範囲 ※ 壁厚程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う。 ○ 図示の範囲 天井内の既存壁の撤去に伴う当該壁の取合う天井の改修範囲 ※ 壁面より面側600mm程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う。 ○ 図示の範囲 既存天井の撤去に伴う取合部の壁面の改修 ※ 既存のまま ・ 図示の範囲</p> <p>2. 既存床の撤去・下地補修 <6.2.2(1)> 合成樹脂塗床の除去方法 ・ 目荒工法 ・ 機械的除去工法</p> <p>③. 改修後の床の清掃範囲 <6.2.2(3)> ○ 当該室全体 ・ 図示の範囲</p> <p>4. 既存壁の撤去・下地補修 <6.3.2(1)> 間仕切壁撤去に伴う他の構造体の補修方法 ※ <4.4.9>による ()</p> <p>5. 木材 <6.5.1(3)> 表面仕上げの程度 表面仕上げの種別 適用箇所 機械加工 ・ A種 ・ B種 ・ C種 手加工 ・ H-A種 ・ H-B種 ・ H-C種</p> <p>含水率 下地材 ※ A種 ・ B種 <6.5.2(1)><表6.5.3> 造作材 ※ A種 ・ B種</p> <p>造作材の材面の品質 ※ A種 ・ B種 <6.5.2(2)><表6.5.4></p> <p>6. 集材材 <6.5.2> 造作用集材材は<6.5.2(3)>による 見付け材面 JASによる集材材 その他 等級 ※ 1等 ・ 2等 ※ JAS集材材1等同等 単材の樹種 単材の厚さ(mm) 10~15 10~15</p> <p>7. 床張り用合板 <12.2.1> 下地用合板 ※ JASの構造用合板 特種 2等以上 C-D以上</p> <p>8. 防蟻・防蟻・防虫処理 <6.5.5> 薬剤の加圧注入による防蟻・防蟻処理 適用部材 () 保存処理性能区分 ・ K2 ・ K3 ・ K4 薬剤の加圧注入処理を行ったのち、現場における加工、切断、孔あけ等を行った箇所は、現場にて薬剤の塗布等による防蟻・防蟻処理を行う。 防虫処理 ラワン材 保存処理性能区分 ※ K1</p> <p>⑨. 軽量鉄骨天井下地材 <6.6.2><表6.6.1> 野縁などの種類 屋内 ※ 19型 ・ 25型(室名:) 屋外 ・ 19型 ※ 25型</p> <p>⑩. インサート <6.6.4(1)> ○ 既存インサートを使用する ・ あと施工アンカーを設ける あと施工アンカーの確認試験 <6.6.4(1)> ・ 行う ※ 行わない 耐震性を考慮した補強 <6.6.4(10)> ※ 行わない ・ 行う(補強方法と補強箇所は図示による) 耐風圧性を考慮した補強(ピロティ、屋外軒天井等) <6.6.4(11)> ※ 行わない ・ 行う(補強方法と補強箇所は図示による)</p>	<p>⑦ ①. 防火材料 <7.1.3> ※ 屋内の壁及び天井の仕上げは、建築基準法に基づく基材同等の認定表示のあるものとする。 ・ 次の箇所を除き防火材料とする。()</p> <p>②. 錆止め塗料塗り <7.3.2~3><表7.2.2~3><表7.3.1~4> 下地 種別 下地調整 塗装種別 塗料種別 鉄鋼面 新規 ※RA種・RB種・RC種 ※A種(見え掛かり) ※A種 ※B種(見え隠れ) ※B種 塗替え ・ RA種 ※RB種・RC種 ・ A種 ・ B種 ※C種 <9箇の場合> 垂れめつき 新規 RA種・RB種・RC種 ※A種・B種・C種 ※A種・B種 鋼面 新規 ※RA種・RB種・RC種 ・ A種 ・ B種 ※C種 塗替え ・ RA種 ※RB種・RC種 ・ A種 ・ B種 ※C種 <9箇の場合></p> <p>③. 合成樹脂調整ペイント塗り(SOP) <7.2.2~4><7.4.2~5><表7.2.1~3><表7.4.1~3> 下地 種別 下地調整 塗装種別 塗料種別 木部 新規 ※RA種・RB種・RC種 ※A種(外部) ※1種 ※B種(内部) ・ C種 ・ 2種 塗替え ・ RA種 ※RB種・RC種 ・ A種 ・ B種 ・ C種 鉄鋼面 新規 ※RA種・RB種・RC種 ・ A種 ※B種 ・ C種 ※1種 塗替え ・ RA種 ※RB種・RC種 ・ A種 ※B種 ・ C種 ・ 2種</p> <p>垂れめつき 建具塗替 ※RA種・RB種・RC種 ※A種 ・ B種 ・ C種 ※1種 鋼面 新規 ※RA種・RB種・RC種 ・ A種 ※B種 ・ C種 ・ 2種 塗替え ・ RA種 ※RB種・RC種 ・ A種 ※B種 ・ C種</p> <p>④. つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り(E P-G) <7.2.5~7><7.10.2><表7.2.4~7><表7.10.1> 下地 種別 下地調整 塗装種別 塗料種別 コンクリート 新規 ※RA種・RB種・RC種 ※A種 ・ B種 ・ C種 ※1種 面 塗替え ・ RA種 ※RB種・RC種 ・ A種 ※B種 ・ C種 ALCパネル 面 押出成形セメント板面 新規 ・ RA種 ※RB種・RC種 ※A種 ・ B種 ・ C種 ※1種 モルタル面 塗替え ・ RA種 ※RB種・RC種 ・ A種 ※B種 ・ C種 石膏ボード 新規 ※RA種・RB種・RC種 ※A種 ・ B種 ・ C種 ※1種 その他の 塗替え ※RA種(経目処理工法) ・ A種 ※B種 ・ C種 ボード等の面 ※RB種(その他) ・ RC種</p>	<p>⑧ ①. 鉄筋の種類 <8.2.1><表8.2.1> 規格名称 種類の記号 径(mm) 鉄筋コンクリート用棒鋼 ※ SD295A ※ D16以下 ※ SD345 ※ D19以上</p> <p>②. 溶接金網 <8.2.2> ※ JIS G 3551のJIS表示認証製品 線径(mm) 6.0 × 網目(mm) 100 使用箇所 ()</p> <p>③. 鉄筋の継手 <8.3.4> 径 19mm 以上 ※ ガス圧接 ・ 重ね継手</p> <p>④. 柱の帯筋</p> <p>⑤. 圧接完了後の抜き試験 <8.3.8> 試験方法 ※ 超音波探傷試験 ・ 引張り試験</p>	<p>8-1-2 耐震改修工事(コンクリート工事)</p> <p>1. 設計基準強度 <8.1.3> 設計基準強度 適用箇所 ※ 2.1</p> <p>2. レディーミクストコンクリート <8.1.3><表8.1.1></p> <p>3. 打直し仕上げの種別 <8.1.4><表8.1.4> 種別 適用箇所 ・ A種 ・ B種 ・ C種</p> <p>4. セメントの種類 <8.2.5> セメントの種類 適用範囲 ※普通ポルトランドセメント、高炉セメントA種 建物躯体(下記以外) ・ シリカセメントA種又はフライアッシュセメントA種 ・ 高炉セメントB種 基礎、地中梁 ・ フライアッシュセメントB種 基礎、地中梁</p> <p>5. 骨材 <8.2.5> 使用骨材のアルカリシリカ反応による区分 ※ A ・ B</p> <p>6. 混和材料 <8.2.5> 混和剤 ※ AE剤、AE減水剤I種又は高性能AE減水剤</p> <p>7. 軽量コンクリート <8.9.1><表8.9.1> 種別 適用箇所 気乾単位容積質量(t/m3)</p> <p>8. 無筋コンクリート <8.11.1> 適用箇所</p> <p>9. グラウト材 <8.2.12> 無収縮グラウト材は、製造所で調査された材料を使用する。 圧縮強度(N/mm²) : 30以上 コンステンシーJ14: ロート値(秒) 6~10 乾燥収縮(×10⁻⁴): 0</p> <p>10. 柱底等の均しモルタル <8.2.12> 無収縮モルタル材 ・ 使用する ・ 使用しない</p> <p>11. 型枠 <8.2.7> せき板の種類 ※ 12mm合板 ・ せき板の塗料 ※ 無 ・ 有</p> <p>12. コンクリートの打込み工法 <8.21.8><8.23.5> ※ 流込み工法 ・ 圧入工法</p> <p>13. 既存部分の撤去 <8.21.2> 既存仕上げの撤去範囲 ※ 図示 ・ 既存躯体の撤去範囲 ※ 図示 ・</p> <p>8-1-3 (あ)耐震改修工事(鉄骨工事)</p> <p>1. あと施工アンカー <8.2.4> ※ 接着系アンカー [引張耐力 (KN)、せん断耐力 (KN)] アンカーの種類 ※カプセル型回転・打撃式 ・ 接着剤 ※有機系 ・ 無機系 ・ 金属系アンカー [引張耐力 (KN)、せん断耐力 (KN)] 打込み方式 ※本体打込み式改良型</p> <p>2. あと施工アンカーの試験 <8.2.4> 性能確認試験 ※ 行わない ・ 行う 施工確認試験 ※ 行う ・ 行わない</p> <p>3. 埋込配管等の調査 <8.12.4> 範囲 ※穿孔箇所すべて ・ 図示</p> <p>8-1-4 耐震改修工事(鉄骨工事)</p> <p>1. 鉄骨製作工場 <8.1.5> ※ 指定性能評価機関の性能評価を受けて、国土交通大臣の認定を受けた下記のグレード以上の工場 ・ S ・ H ・ M ・ R ・ J ・ 本物件と同等規模構造の施工実績を有している工場で、監督職員の承諾する工場</p> <p>2. 鋼材の種類 <8.2.8><表8.2.7> 材 質 規格 ・ SS400 ・ SSS400 ・ STK400 ・ STKR400 JIS表示認証製品 ・ SN400B,C ・ SN490B,C ・ SM400 ・ SM490</p> <p>3. 高力ボルト <8.2.9> ボルト種別 セットの種類 ※トルシア形高力ボルト ※建築基準法に基づき認定を受けたもの ・ JIS形高力ボルト ※2種(F10T) ・ 溶融亜鉛メッキ高力ボルト ※1種(F81相当)</p> <p>4. 溶接部の試験 <8.15.12> ※超音波探傷試験</p> <p>5. 錆び止め塗装 <8.17.4> <7.3.2~3>による。</p> <p>6. 耐火被覆 <8.18.2~8> 種類 材料・工法 性能(耐火時間) 適用箇所(部位・部分)</p> <p>・ 耐火材吹き付け ・ 乾式吹付けロックウール ・ 半乾式吹付けロックウール ・ 湿式ロックウール ・ 繊維混入けい酸カルシウム板</p> <p>・ 耐火板張り ・ 高断熱ロックウール</p> <p>・ 耐火材巻付け ・ ラス張り ・ モルタル塗り ・ 耐火塗料</p>																																																	
<p>令和3年2月13日 福島県沖地震による向洋中学校校舎等災害復旧工事 設計図</p>	<p>図面名 南校舎棟 改修工事特記仕様書(3)</p> <p>図面番号 図面番号</p> <p>縮尺 S=1:・・・(A3版 50%縮小)</p>	<p>図面種別 A</p> <p>図面番号 03</p>																																																		

<p>7. アンカーボルト</p> <p>8. 既存部分の撤去</p> <p>8.5 耐震改修工事(柱補強工事)</p> <p>8.6 耐震改修工事(スリット)</p> <p>8.7 耐震改修工事(連続繊維シート)</p> <p>8.8 土工事及び地業工事</p> <p>9.1 環境配慮改修工事(石綿含有建材の除去工事)</p>	<p>(7.2.4)</p> <p>種別 適用箇所</p> <p>・ A種</p> <p>※ B種</p> <p>・ C種</p>	<p>・ 溶接金網巻き工法及び溶接閉鎖フープ巻き工法</p> <p>溶接金網の継ぎ手 ※ 重ね継ぎ手</p> <p>コンクリート及び構造躯体用のモルタルの打設</p> <p>・ 圧入工法</p> <p>・ 流し込み工法</p> <p>・ 鋼板巻き工法</p> <p>・ 帯板巻き付け工法</p>	<p>・ 完全スリット</p> <p>・ 部分スリット</p>	<p>・ 耐火材の使用</p> <p>適用箇所 ※ 図示</p> <p>・ 使用する</p> <p>・ 使用しない</p> <p>・ 遮音材の使用</p> <p>適用箇所 ※ 図示</p> <p>・ 使用する</p> <p>・ 使用しない</p>	<p>・ 下地処理</p> <p>・ ひび割れ部改修範囲</p> <p>・ 図示による ()</p> <p>・ 種類</p> <p>・ 連続繊維補強材の強度試験</p> <p>・ 引張強度試験</p> <p>※ JIS A 1191 (コンクリート用連続繊維シートの引張試験方法)による</p> <p>・ 試験数量</p> <p>・ 図示による ()</p> <p>・ 付着強度試験</p> <p>※ JIS A 6909 (建築用仕上塗材)による</p> <p>・ 試験数量</p> <p>・ 図示による ()</p>	<p>1. 埋戻し及び盛土</p> <p>・ A種 適用場所 ()</p> <p>・ B種 適用場所 ()</p> <p>・ C種 適用場所 () 土質 ()</p> <p>・ 受渡場所 ()</p> <p>・ D種 適用場所 ()</p>	<p>2. 建設発生土の処理</p> <p>・ 構外に搬出し適切に処理する。</p> <p>・ 構外指示の場所に搬出する。</p> <p>・ 受入れ施設名・住所 (km)</p> <p>・ 構内指示の場所に敷きならす。</p> <p>・ 構内指示の場所にたい積する。</p>	<p>3. 山留めの撤去</p> <p>鋼矢板等の抜き後の処理</p> <p>※直ちに砂で充填する</p> <p>山留めの存置</p> <p>・ 行う (存置範囲 ※図示 ())</p>	<p>4. 砂利地業</p> <p>材料</p> <p>※再生クラッシュラン</p> <p>・ 切込み砂利又は切込み砕石</p> <p>厚さ及び適用範囲</p> <p>厚さ</p> <p>※60</p> <p>・ 基礎スラブ下</p> <p>・ 基礎梁下</p> <p>・ 土間コンクリート下</p> <p>・ 土に接するスラブ下</p>	<p>5. 捨コンクリート地業</p> <p>厚さ及び適用範囲</p> <p>厚さ</p> <p>※50</p> <p>・ 基礎スラブ下</p> <p>・ 基礎梁下</p> <p>・ 土間コンクリート下</p> <p>・ 土に接するスラブ下</p>	<p>6. 床下防湿層</p> <p>材料</p> <p>※ポリエチレンフィルム厚さ0.15mm以上</p> <p>施工範囲</p> <p>・ 図示 ()</p>	<p>1. 石綿含有建材の除去工事</p> <p>施工調査</p> <p>※石綿含有建材の事前調査</p> <p>工事着手に先立ち、目視及び貸与する設計図書等によって石綿を含有している吹き付け材、成形板、建築材料等の使用の有無について調査する。</p> <p>調査範囲 ()</p> <p>貸与資料 ()</p> <p>・ 図示 ()</p> <p>・ 分析による石綿含有建材の調査</p> <p>分析対象</p> <p>アクチノライト、アモサイト、アンソフィライト、クリソライト、クロンドライト、トレモライト</p> <p>分析方法</p> <table border="1"> <tr> <th>材料名</th> <th>定性分析方法</th> <th>定量分析方法</th> </tr> <tr> <td>・</td> <td>JIS A 1481-1または JIS A 1481-2</td> <td>JIS A 1481-3または JIS A 1481-4</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>箇所</td> <td>箇所</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>箇所</td> <td>箇所</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>箇所</td> <td>箇所</td> </tr> </table> <p>サンプル数 1箇所あたり3サンプル</p> <p>採取箇所</p> <p>・ 図示</p>	材料名	定性分析方法	定量分析方法	・	JIS A 1481-1または JIS A 1481-2	JIS A 1481-3または JIS A 1481-4	・	箇所	箇所	・	箇所	箇所	・	箇所	箇所	<p>・ 石綿粉じん濃度測定</p> <p>測定点 測定時期、場所及び</p> <table border="1"> <tr> <th>適用</th> <th>測定名称</th> <th>測定時期</th> <th>測定場所</th> <th>測定箇所数</th> </tr> <tr> <td>・</td> <td>測定1</td> <td>処理作業前</td> <td>処理作業室内</td> <td>・ 計 点</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>測定2</td> <td></td> <td>調査対象室外部の付近</td> <td>・ 計 点</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>測定3</td> <td></td> <td>処理作業室内</td> <td>・ 計 点</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>測定4</td> <td></td> <td>セキュリティゾーン入口</td> <td>・ 計 点</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>測定5</td> <td>処理作業中</td> <td>集じん・排気装置の排出口 (処理作業室外の場合)</td> <td>出口吹出し風速 1m/sec以下の位置</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>測定6</td> <td></td> <td>処理作業室外</td> <td>・ 計 (各施工箇所と) 点</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>測定7</td> <td>処理作業後 (シート養生中)</td> <td>処理作業室内</td> <td>・ 計 点</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>測定8</td> <td>処理作業後シート</td> <td>処理作業室内</td> <td>・ 計 点</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>測定9</td> <td>撤去後1週間以降</td> <td>調査対象室外部の付近</td> <td>・ 計 点</td> </tr> </table> <p>測定方法</p> <p>・ 自動測定器による測定</p> <table border="1"> <tr> <th>測定名称</th> <th>測定方法</th> </tr> <tr> <td>・ 測定4</td> <td>粉じん相対濃度計 (デジタル粉じん計)、パーティクルカウンター、繊維状粒子自動測定器 (リアルタイムファイバーモニター) 等の粉じんを迅速に測定できる機器を用いた測定</td> </tr> <tr> <td>・ 測定5</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 測定</td> <td></td> </tr> </table> <p>・ JIS K 3850-1に基づいた測定</p> <table border="1"> <tr> <th>測定名称</th> <th>メンブレンフィルタ直径 (mm)</th> <th>試料の吸引流量 (L/min)</th> <th>試料の吸引時間 (min)</th> </tr> <tr> <td>・ 測定4</td> <td>25</td> <td>5</td> <td>30</td> </tr> <tr> <td>・ 測定5</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 測定</td> <td>47</td> <td>10</td> <td>120</td> </tr> <tr> <td>・ 測定</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 測定</td> <td>47</td> <td>10</td> <td>240</td> </tr> <tr> <td>・ 測定</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>石綿含有建材の処理</p> <p>・ 石綿含有吹き付け材の除去</p> <p>除去対象範囲</p> <p>・ 図示</p> <p>除去工法</p> <p>・ ※9.1.3(2)(7)による</p> <p>除去した石綿含有吹き付け材等の飛散防止措置</p> <p>※湿潤化</p> <p>・ 固化</p> <p>除去した石綿含有吹き付け材等の処分</p> <p>・ 埋立処分 (管理型最終処分場)</p> <p>・ 中間処理 (溶融施設又は無害化処理施設)</p> <p>・ 石綿含有保温材等の除去</p> <p>除去対象範囲</p> <p>・ 図示</p> <p>除去工法</p> <p>・ 破砕して除去</p> <p>・ 手ばらし</p> <p>除去した石綿含有保温剤等の飛散防止</p> <p>※湿潤化</p> <p>・ 固化</p> <p>除去した石綿含有保温材等の処分</p> <p>・ 埋立処分 (管理型最終処分場)</p> <p>・ 中間処理 (溶融施設又は無害化処理施設)</p> <p>・ 石綿含有成形板の除去</p> <p>除去対象範囲</p> <p>・ 図示</p> <p>除去した石綿含有成形板の処分</p> <p>・ 石綿含有せつこうボード</p> <p>※埋立処分 (管理型最終処分場)</p> <p>・ 石綿含有せつこうボードを除く石綿含有成形板</p> <p>埋立処分 (安定型最終処分場)</p> <p>・ 中間処理 (溶融施設又は無害化処理施設)</p> <p>石綿含有建材除去後の仕上げ工事</p> <p>・ 図示</p>	適用	測定名称	測定時期	測定場所	測定箇所数	・	測定1	処理作業前	処理作業室内	・ 計 点	・	測定2		調査対象室外部の付近	・ 計 点	・	測定3		処理作業室内	・ 計 点	・	測定4		セキュリティゾーン入口	・ 計 点	・	測定5	処理作業中	集じん・排気装置の排出口 (処理作業室外の場合)	出口吹出し風速 1m/sec以下の位置	・	測定6		処理作業室外	・ 計 (各施工箇所と) 点	・	測定7	処理作業後 (シート養生中)	処理作業室内	・ 計 点	・	測定8	処理作業後シート	処理作業室内	・ 計 点	・	測定9	撤去後1週間以降	調査対象室外部の付近	・ 計 点	測定名称	測定方法	・ 測定4	粉じん相対濃度計 (デジタル粉じん計)、パーティクルカウンター、繊維状粒子自動測定器 (リアルタイムファイバーモニター) 等の粉じんを迅速に測定できる機器を用いた測定	・ 測定5		・ 測定		・ 測定		・ 測定		・ 測定		測定名称	メンブレンフィルタ直径 (mm)	試料の吸引流量 (L/min)	試料の吸引時間 (min)	・ 測定4	25	5	30	・ 測定5				・ 測定	47	10	120	・ 測定				・ 測定	47	10	240	・ 測定				<p>1. コンクリートブロック</p> <p>ブロックの種類</p> <p>※ 空洞ブロック C(16)</p>	<p>1. 再生材</p> <p>※ 使用する</p> <p>・ 使用しない</p> <p>(22.1.3)</p> <p>2. 盛土材料</p> <p>路床の盛土材料</p> <p>・ A種</p> <p>・ ※B種</p> <p>・ C種</p> <p>・ D種</p> <p>(22.2.3)</p> <p>3. フィルター層及び凍上抑制層</p> <p>フィルター層</p> <p>※ 砂</p> <p>凍上抑制層</p> <p>※ 再生クラッシュラン</p> <p>・ 切込砂利又は切込砕石</p> <p>(22.2.2) (22.2.3)</p> <p>4. 路床安定処理</p> <p>路床安定処理添加材料</p> <p>(22.2.2) (22.2.3) (表22.2.1)</p> <p>※ 普通ポルトランドセメント</p> <p>・ 高炉セメントB種</p> <p>・ フライアッシュセメントB種</p> <p>・ 生石灰 (・特号</p> <p>・ 1号)</p> <p>・ 消石灰 (・特号</p> <p>・ 1号)</p> <p>5. 砂の粒度試験</p> <p>※ 行わない</p> <p>・ 行う</p> <p>(22.2.3)</p> <p>6. 路床土の支持力比 (CBR)試験</p> <p>※ 行わない</p> <p>・ 行う (※ 乱した土</p> <p>・ 乱さない土)</p> <p>(22.2.5)</p> <p>7. 路床の締固め度の試験</p> <p>・ 行わない</p> <p>※ 行う (箇所:埋戻し及び盛土部)</p> <p>(22.2.5)</p> <p>8. 路盤材料</p> <p>※ 再生クラッシュラン RC-40</p> <p>(22.3.3) (表22.3.1)</p> <p>(透水性能舗装の場合を除く)</p> <p>・ クラッシュラン C-40</p> <p>・ クラッシュランスラグ CS-40</p> <p>9. 路盤の締固め度の試験</p> <p>※ 行う</p> <p>(22.3.5)</p> <p>10. アスファルト舗装</p> <p>加熱アスファルト混合物の種類</p> <p>(22.4.2) (22.4.4) (表22.4.4)</p> <table border="1"> <tr> <th>表層</th> <th>種類</th> <th>厚さ (mm)</th> </tr> <tr> <td>※ 再生密粒度アスファルト混合物 (13)</td> <td>・ 密粒度アスファルト混合物 (13)</td> <td>・ 細粒度アスファルト混合物 (13)</td> </tr> <tr> <td>・ 再生粗粒度アスファルト混合物 (20)</td> <td>・ 粗粒度アスファルト混合物 (20)</td> <td></td> </tr> </table> <p>舗装の厚さは図示による</p> <p>舗装の平坦性は、通行の支障となる水たまりを生じない程度とする</p> <p>アスファルト混合物等の抽出試験</p> <p>※行わない</p> <p>・ 行う</p> <p>(22.4.6)</p> <p>11. コンクリート舗装</p> <p>早強ポルトランドセメント</p> <p>・ 使用する</p> <p>※ 使用しない</p> <p>(22.5.3)</p> <p>溶接金網</p> <p>※ あり</p> <p>・ なし</p> <p>(22.6.2)</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>部位</th> <th>厚さ (mm)</th> </tr> <tr> <td>※ アスファルト混合物</td> <td>・ 車道部</td> <td>・ 歩道部</td> </tr> <tr> <td>・ 石油樹脂系混合物</td> <td>・ 車道部</td> <td>・ 歩道部</td> </tr> <tr> <td>・ ニート工法</td> <td>・ 車道部</td> <td>・ 歩道部</td> </tr> <tr> <td>・ 塗布工法</td> <td>・ 車道部</td> <td>・ 歩道部</td> </tr> </table> <p>1程度以下</p> <p>着色骨材・自然石 ()</p> <p>(22.6.3)</p> <p>構成</p> <p>・ 図示</p> <p>(22.7.2) (22.7.6)</p> <p>開成アスファルト混合物等の抽出試験</p> <p>※行わない</p> <p>・ 行う</p> <p>舗装の平坦性は著しい不陸がないものとする</p> <p>13. 透水性アスファルト舗装</p> <p>・ インターロッキングブロック舗装</p> <p>(22.8.2) (22.8.4) (表22.8.1)</p> <p>・ コンクリート平板舗装</p> <p>※ 砂目地</p> <p>・ モルタル目地</p> <p>・ 舗石舗装基層</p> <p>※ コンクリート版</p> <p>・ アスファルト混合物</p> <p>※ A種 (通路)</p> <p>※ B種 (建物周囲その他)</p> <p>(22.9.2)</p> <p>15. 砂利敷き</p> <p>※ JIS K 5665 3種1号</p> <p>16. 区画線</p>	表層	種類	厚さ (mm)	※ 再生密粒度アスファルト混合物 (13)	・ 密粒度アスファルト混合物 (13)	・ 細粒度アスファルト混合物 (13)	・ 再生粗粒度アスファルト混合物 (20)	・ 粗粒度アスファルト混合物 (20)		種類	部位	厚さ (mm)	※ アスファルト混合物	・ 車道部	・ 歩道部	・ 石油樹脂系混合物	・ 車道部	・ 歩道部	・ ニート工法	・ 車道部	・ 歩道部	・ 塗布工法	・ 車道部	・ 歩道部	<p>3. 移動間仕切 (スライディングドア)</p> <p>パネルの操作方法による種類</p> <p>パネル表面材の材質及び仕上げ</p> <p>規定しない</p> <p>製造所仕様の化粧鋼板 (標準色)</p> <p>t=0.5以上</p> <p>パネル圧接装置の操作方法</p> <p>ハンドル回転式又はプッシュ式</p> <p>遮音性</p> <p>36dB/500Hz以上</p> <p>防火性能</p> <p>不燃</p> <p>材質、寸法等は図示又は製造所の仕様による</p> <p>取り付け用あと施工アンカー</p>	<p>4. トイレブース</p> <p>表面材</p> <p>メラミン樹脂系化粧板 (標準色)</p> <p>(20.2.5)</p> <p>幅</p> <p>ステンレス製 H=60</p> <p>フレーム</p> <p>アルミ製</p> <p>厚40中心吊りアール形アルミ製エッジ、</p> <p>帽子掛け戸当たり付き</p> <p>5. 階段滑り止め (ノンスリップ)</p> <p>材種</p> <p>ステンレス (SUS304)</p> <p>(20.2.6)</p> <p>ビニールタイヤ入り (幅約35mm)</p> <p>※ 接着工法</p> <p>・ 埋込み工法</p> <p>6. 床目地棒</p> <p>ステンレスFB (SUS304) t5~6×H12</p> <p>(20.2.7)</p> <p>(床仕上げが異なる場合に設ける。但し、建具部は建具表による。)</p> <p>7. 鏡</p> <p>耐湿鏡 t=5</p> <p>ステンレスフレーム付き</p> <p>(20.2.9)</p> <p>8. 表示</p> <p>衝突防止表示</p> <p>H/L仕上げ</p> <p>Φ30程度</p> <p>市販品</p> <p>ステンレス製</p> <p>(20.2.10)</p> <p>誘導標識</p> <p>市販品</p> <p>室名札</p> <p>アクリル板</p> <p>⑨. 点検口</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>材種</th> <th>寸法</th> <th>形式</th> </tr> <tr> <td>天井</td> <td>※ アルミニウム製</td> <td>※ 450×450</td> <td>※ 目地タイプ</td> </tr> <tr> <td>床</td> <td>※ アルミニウム製</td> <td>・ 600×600</td> <td>・ 額縁タイプ</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・ 450×450</td> <td>※ 一般形貼物用</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>※ 600×600</td> <td>・ 一般形充填用</td> </tr> </table> <p>10. 視覚障害者用誘導ブロック</p> <p>屋外</p> <p>※ コンクリート製</p> <p>・ 磁器質タイル</p> <p>(※ 100角</p> <p>・ 150角)</p>	施工箇所	材種	寸法	形式	天井	※ アルミニウム製	※ 450×450	※ 目地タイプ	床	※ アルミニウム製	・ 600×600	・ 額縁タイプ			・ 450×450	※ 一般形貼物用			※ 600×600	・ 一般形充填用	<p>1. 一般事項</p> <p>試料採取および測定は、厚生労働省の「室内空気中化学物質の採取方法及び測定方法」(以下「厚生省の測定方法」という。)の新築住宅の例に準拠して行う。</p> <p>2. 測定対象化学物質</p> <p>測定対象化学物質は、下記4.1)、2)の区分に従い、表の①から⑭の14物質及びTVOC又は表の①から⑨の9物質及びTVOCとする。</p> <p>3. 測定方法</p> <p>1) クロマトグラム上で「n-ヘキサン」から「n-ヘキサデカン」までの部分に検出される物質のピーク値を「トルエン」に換算した値をTVOC濃度とする。</p> <p>2) トルエン換算で2.0μg/m3未満のピークは測定の対象としない。</p> <p>3) 上位10ピークについて物質を特定して濃度の測定を行う。</p> <table border="1"> <tr> <th colspan="3">表 測定対象化学物質及び室内濃度指針値</th> </tr> <tr> <th>化学物質名</th> <th colspan="2">室内濃度指針値</th> </tr> <tr> <td>①ホルムアルデヒド</td> <td>100 μg/m3</td> <td>0.08 ppm</td> </tr> <tr> <td>②トルエン</td> <td>260 μg/m3</td> <td>0.07 ppm</td> </tr> <tr> <td>③キシレン</td> <td>200 μg/m3</td> <td>0.05 ppm</td> </tr> <tr> <td>④エチルベンゼン</td> <td>3,800 μg/m3</td> <td>0.88 ppm</td> </tr> <tr> <td>⑤スチレン</td> <td>220 μg/m3</td> <td>0.05 ppm</td> </tr> <tr> <td>⑥パラジクロロベンゼン</td> <td>240 μg/m3</td> <td>0.04 ppm</td> </tr> <tr> <td>⑦テトラチカレン</td> <td>330 μg/m3</td> <td>0.04 ppm</td> </tr> <tr> <td>⑧アセトアルデヒド</td> <td>48 μg/m3</td> <td>0.03 ppm</td> </tr> <tr> <td>⑨ノナール</td> <td>(暫定)41 μg/m3</td> <td>0.007 ppm</td> </tr> <tr> <td>⑩フタル酸ジ-n-ブチル</td> <td>17 μg/m3</td> <td>0.015 ppm</td> </tr> <tr> <td>⑪フタル酸ジ-2-エチルヘキシル</td> <td>100 μg/m3</td> <td>0.0063 ppm</td> </tr> <tr> <td>⑫クロロピリロス</td> <td>1 μg/m3</td> <td>0.00007 ppm</td> </tr> <tr> <td>⑬ダイアジノン</td> <td>0.29 μg/m3</td> <td>0.00002 ppm</td> </tr> <tr> <td>⑭フェニルフルアルブ</td> <td>33 μg/m3</td> <td>0.0038 ppm</td> </tr> <tr> <td>⑮総揮発性有機化合物(TVOC)</td> <td>400 μg/m3</td> <td>(暫定目標値)</td> </tr> </table> <p>4. 測定する室</p> <p>1) 14物質及びTVOC濃度を測定する室等</p> <p>・ 室名;</p> <p>2) 9物質及びTVOC濃度を測定する室</p> <p>・ 室名;</p> <p>・ 屋外(周囲の建物から離れた場所1か所)</p> <p>5. 測定結果等報告書の提出</p> <p>次の事項を記載した報告書を2部提出する。</p> <p>1) 測定結果 (アセトアルデヒドについては、試料採取時の気温が20℃に満たない場合には、「厚生省の測定方法」に定める計算式で20℃、湿度50%に、ホルムアルデヒドについては25℃、湿度50%に補正した濃度を報告すること。)</p> <p>2) 試料採取時の状況 (気温・湿度(屋外、室内)、天候、風の状況、日射進入状況、採取年月日・時間、窓の開閉状況、機械換気量、工事完成から試料採取までの日数)</p> <p>3) 試料採取方法、測定方法、使用した測定機器</p> <p>4) TVOC濃度の算出に使用したクロマトグラムの写し</p> <p>6. その他</p> <p>表の化学物質①から⑮のうち、いずれかの物質の濃度が室内濃度指針値を超える場合は、工事目的物の引渡しを受けない。</p> <p>TVOCの測定の結果、暫定目標値を超える場合は、発生原因の究明及び汚染物質の発生を低減するための対策について、協議を行うこと。</p>	表 測定対象化学物質及び室内濃度指針値			化学物質名	室内濃度指針値		①ホルムアルデヒド	100 μg/m3	0.08 ppm	②トルエン	260 μg/m3	0.07 ppm	③キシレン	200 μg/m3	0.05 ppm	④エチルベンゼン	3,800 μg/m3	0.88 ppm	⑤スチレン	220 μg/m3	0.05 ppm	⑥パラジクロロベンゼン	240 μg/m3	0.04 ppm	⑦テトラチカレン	330 μg/m3	0.04 ppm	⑧アセトアルデヒド	48 μg/m3	0.03 ppm	⑨ノナール	(暫定)41 μg/m3	0.007 ppm	⑩フタル酸ジ-n-ブチル	17 μg/m3	0.015 ppm	⑪フタル酸ジ-2-エチルヘキシル	100 μg/m3	0.0063 ppm	⑫クロロピリロス	1 μg/m3	0.00007 ppm	⑬ダイアジノン	0.29 μg/m3	0.00002 ppm	⑭フェニルフルアルブ	33 μg/m3	0.0038 ppm	⑮総揮発性有機化合物(TVOC)	400 μg/m3	(暫定目標値)
	材料名	定性分析方法	定量分析方法																																																																																																																																																																																																																									
	・	JIS A 1481-1または JIS A 1481-2	JIS A 1481-3または JIS A 1481-4																																																																																																																																																																																																																									
	・	箇所	箇所																																																																																																																																																																																																																									
	・	箇所	箇所																																																																																																																																																																																																																									
	・	箇所	箇所																																																																																																																																																																																																																									
	適用	測定名称	測定時期	測定場所	測定箇所数																																																																																																																																																																																																																							
	・	測定1	処理作業前	処理作業室内	・ 計 点																																																																																																																																																																																																																							
	・	測定2		調査対象室外部の付近	・ 計 点																																																																																																																																																																																																																							
	・	測定3		処理作業室内	・ 計 点																																																																																																																																																																																																																							
・	測定4		セキュリティゾーン入口	・ 計 点																																																																																																																																																																																																																								
・	測定5	処理作業中	集じん・排気装置の排出口 (処理作業室外の場合)	出口吹出し風速 1m/sec以下の位置																																																																																																																																																																																																																								
・	測定6		処理作業室外	・ 計 (各施工箇所と) 点																																																																																																																																																																																																																								
・	測定7	処理作業後 (シート養生中)	処理作業室内	・ 計 点																																																																																																																																																																																																																								
・	測定8	処理作業後シート	処理作業室内	・ 計 点																																																																																																																																																																																																																								
・	測定9	撤去後1週間以降	調査対象室外部の付近	・ 計 点																																																																																																																																																																																																																								
測定名称	測定方法																																																																																																																																																																																																																											
・ 測定4	粉じん相対濃度計 (デジタル粉じん計)、パーティクルカウンター、繊維状粒子自動測定器 (リアルタイムファイバーモニター) 等の粉じんを迅速に測定できる機器を用いた測定																																																																																																																																																																																																																											
・ 測定5																																																																																																																																																																																																																												
・ 測定																																																																																																																																																																																																																												
・ 測定																																																																																																																																																																																																																												
・ 測定																																																																																																																																																																																																																												
・ 測定																																																																																																																																																																																																																												
測定名称	メンブレンフィルタ直径 (mm)	試料の吸引流量 (L/min)	試料の吸引時間 (min)																																																																																																																																																																																																																									
・ 測定4	25	5	30																																																																																																																																																																																																																									
・ 測定5																																																																																																																																																																																																																												
・ 測定	47	10	120																																																																																																																																																																																																																									
・ 測定																																																																																																																																																																																																																												
・ 測定	47	10	240																																																																																																																																																																																																																									
・ 測定																																																																																																																																																																																																																												
表層	種類	厚さ (mm)																																																																																																																																																																																																																										
※ 再生密粒度アスファルト混合物 (13)	・ 密粒度アスファルト混合物 (13)	・ 細粒度アスファルト混合物 (13)																																																																																																																																																																																																																										
・ 再生粗粒度アスファルト混合物 (20)	・ 粗粒度アスファルト混合物 (20)																																																																																																																																																																																																																											
種類	部位	厚さ (mm)																																																																																																																																																																																																																										
※ アスファルト混合物	・ 車道部	・ 歩道部																																																																																																																																																																																																																										
・ 石油樹脂系混合物	・ 車道部	・ 歩道部																																																																																																																																																																																																																										
・ ニート工法	・ 車道部	・ 歩道部																																																																																																																																																																																																																										
・ 塗布工法	・ 車道部	・ 歩道部																																																																																																																																																																																																																										
施工箇所	材種	寸法	形式																																																																																																																																																																																																																									
天井	※ アルミニウム製	※ 450×450	※ 目地タイプ																																																																																																																																																																																																																									
床	※ アルミニウム製	・ 600×600	・ 額縁タイプ																																																																																																																																																																																																																									
		・ 450×450	※ 一般形貼物用																																																																																																																																																																																																																									
		※ 600×600	・ 一般形充填用																																																																																																																																																																																																																									
表 測定対象化学物質及び室内濃度指針値																																																																																																																																																																																																																												
化学物質名	室内濃度指針値																																																																																																																																																																																																																											
①ホルムアルデヒド	100 μg/m3	0.08 ppm																																																																																																																																																																																																																										
②トルエン	260 μg/m3	0.07 ppm																																																																																																																																																																																																																										
③キシレン	200 μg/m3	0.05 ppm																																																																																																																																																																																																																										
④エチルベンゼン	3,800 μg/m3	0.88 ppm																																																																																																																																																																																																																										
⑤スチレン	220 μg/m3	0.05 ppm																																																																																																																																																																																																																										
⑥パラジクロロベンゼン	240 μg/m3	0.04 ppm																																																																																																																																																																																																																										
⑦テトラチカレン	330 μg/m3	0.04 ppm																																																																																																																																																																																																																										
⑧アセトアルデヒド	48 μg/m3	0.03 ppm																																																																																																																																																																																																																										
⑨ノナール	(暫定)41 μg/m3	0.007 ppm																																																																																																																																																																																																																										
⑩フタル酸ジ-n-ブチル	17 μg/m3	0.015 ppm																																																																																																																																																																																																																										
⑪フタル酸ジ-2-エチルヘキシル	100 μg/m3	0.0063 ppm																																																																																																																																																																																																																										
⑫クロロピリロス	1 μg/m3	0.00007 ppm																																																																																																																																																																																																																										
⑬ダイアジノン	0.29 μg/m3	0.00002 ppm																																																																																																																																																																																																																										
⑭フェニルフルアルブ	33 μg/m3	0.0038 ppm																																																																																																																																																																																																																										
⑮総揮発性有機化合物(TVOC)	400 μg/m3	(暫定目標値)																																																																																																																																																																																																																										
<p>9.1.2 環境配慮改修工事</p>	<p>1. 断熱材</p> <p>断熱材の打込み及び現場発泡工法</p> <p>(19.9.2) (19.9.3)</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>箇所</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・ ビーズ法ポリスチレンフォーム断熱材</td> <td>・ A種ビーズ法 ※A種押出法 2種 b</td> <td>・ 25</td> <td>JIS A 9521の JIS表示認証製品</td> </tr> <tr> <td>※ 押出法ポリスチレンフォーム断熱材 (A種)</td> <td>・ 2種 b</td> <td>※ 25</td> <td>下記以外</td> </tr> <tr> <td>・ 硬質ウレタンフォーム断熱材</td> <td>・ 3種 b</td> <td>※ 25</td> <td>接合部分及び屋根防水部分</td> </tr> <tr> <td>・ フェノールフォーム断熱材</td> <td>・ (スキニングあり)</td> <td></td> <td>ピット内部</td> </tr> <tr> <td>・ 吹付け硬質ウレタンフォーム断熱材</td> <td>※ A種1H</td> <td>※ 30</td> <td></td> </tr> </table> <p>※ 施工範囲は建築工事標準詳細図(図7-01-1)による。</p> <p>上記以外に用いる断熱材</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>箇所</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・ JIS A 発泡プラスチック保温材</td> <td>・ A種ビーズ法 ※A種押出法 下記以外 2種 b</td> <td>※ 25</td> <td>JIS表示認証製品</td> </tr> <tr> <td></td> <td>※ A種押出法 3種 b</td> <td></td> <td>接合部分及び屋根防水部分</td> </tr> <tr> <td></td> <td>(スキニングあり)</td> <td></td> <td>ピット内部</td> </tr> <tr> <td>・ グラスウール保温材</td> <td>※24K品</td> <td>※ 100</td> <td>JIS表示認証製品</td> </tr> </table> <p>※ グラスウール使用部分の室内側防湿シート</p> <p>※ 被覆品</p> <p>・ 防湿層ポリエチレンフィルム (t0.15) 張り (重ね100)</p>	種類	箇所	厚さ (mm)	備考	・ ビーズ法ポリスチレンフォーム断熱材	・ A種ビーズ法 ※A種押出法 2種 b	・ 25	JIS A 9521の JIS表示認証製品	※ 押出法ポリスチレンフォーム断熱材 (A種)	・ 2種 b	※ 25	下記以外	・ 硬質ウレタンフォーム断熱材	・ 3種 b	※ 25	接合部分及び屋根防水部分	・ フェノールフォーム断熱材	・ (スキニングあり)		ピット内部	・ 吹付け硬質ウレタンフォーム断熱材	※ A種1H	※ 30		種類	箇所	厚さ (mm)	備考	・ JIS A 発泡プラスチック保温材	・ A種ビーズ法 ※A種押出法 下記以外 2種 b	※ 25	JIS表示認証製品		※ A種押出法 3種 b		接合部分及び屋根防水部分		(スキニングあり)		ピット内部	・ グラスウール保温材	※24K品	※ 100	JIS表示認証製品	<p>1. フリーアクセスフロア</p> <p>(20.2.2)</p> <table border="1"> <tr> <th>施工場所</th> <th>工法</th> <th>仕上り高 (mm)</th> <th>適用地震時水平力 (Ks)</th> <th>耐荷重性能 (N)</th> <th>表面仕上げ</th> </tr> <tr> <td rowspan="2">・ 溝工法 (置敷工法)</td> <td rowspan="2">・ 溝工法 (置敷工法)</td> <td rowspan="2">・ 1.0G</td> <td rowspan="2">・ 1.0G</td> <td rowspan="2">・ 3,000</td> <td rowspan="2">・ 帯電防止床タイル</td> </tr> <tr> <td>・ 0.6G</td> <td>・ 5,000</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・ 支柱一体型パネル工法 (置敷工法)</td> <td rowspan="2">・ 支柱一体型パネル工法 (置敷工法)</td> <td rowspan="2">・ 1.0G</td> <td rowspan="2">・ 1.0G</td> <td rowspan="2">・ 3,000</td> <td rowspan="2">・ 帯電防止床タイル</td> </tr> <tr> <td>・ 0.6G</td> <td>・ 5,000</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・ 支柱分離型パネル工法 (支柱調整式工法)</td> <td rowspan="2">・ 支柱分離型パネル工法 (支柱調整式工法)</td> <td rowspan="2">・ 1.0G</td> <td rowspan="2">・ 1.0G</td> <td rowspan="2">・ 3,000</td> <td rowspan="2">・ 帯電防止床タイル</td> </tr> <tr> <td>・ 0.6G</td> <td>・ 5,000</td> </tr> </table> <p>ボーダー部</p> <p>※ 一般部分の仕様にする</p> <p>・ 図示による</p> <p>床表面仕上げ材の品質は標準仕様書19章による。</p> <p>配線取出し用切り欠きパネルは1枚/m以上とする。</p> <p>空調用吹き出し(吸い込み)パネル</p> <p>※ なし</p> <p>・ 有り (※固定式</p> <p>・ 可変式)</p> <p>施工箇所は図示</p> <p>2. 可動間仕切 (パーテーション)</p> <p>構造形式による種類</p> <p>スタッド式 (内蔵)</p> <p>・ アルミニウム合金系</p> <p>・ スチール系</p> <p>パネル表面材</p> <p>焼付塗装鋼板 (標準色) t=0.5以上</p> <p>遮音性</p> <p>36dB/500Hz以上</p> <p>防火性能</p> <p>不燃</p> <p>(20.2.3)</p>	施工場所	工法	仕上り高 (mm)	適用地震時水平力 (Ks)	耐荷重性能 (N)	表面仕上げ	・ 溝工法 (置敷工法)	・ 溝工法 (置敷工法)	・ 1.0G	・ 1.0G	・ 3,000	・ 帯電防止床タイル	・ 0.6G	・ 5,000	・ 支柱一体型パネル工法 (置敷工法)	・ 支柱一体型パネル工法 (置敷工法)	・ 1.0G	・ 1.0G	・ 3,000	・ 帯電防止床タイル	・ 0.6G	・ 5,000	・ 支柱分離型パネル工法 (支柱調整式工法)	・ 支柱分離型パネル工法 (支柱調整式工法)	・ 1.0G	・ 1.0G	・ 3,000	・ 帯電防止床タイル	・ 0.6G	・ 5,000	<p>⑭. ①. 施工数量</p> <p>②. 会計検査資料</p> <p>①施工数量の確認においては、室番号毎に施工写真100%撮影し、写真には図面に記載されている番号を記載し、施工場所の特定が出来る様に記載すること。及び、施工数量集計表も同時に作成し、添付すること。加えて、施工数量が設計数量以上であることを明示する資料を作成すること。</p> <p>②会計検査資料の作成について、工事完了引渡し時には会計検査に必要な書類を作成し提出すること。提出書類の詳細は工事契約締結後、監督員より明示する。</p>																																																																																																																																															
種類	箇所	厚さ (mm)	備考																																																																																																																																																																																																																									
・ ビーズ法ポリスチレンフォーム断熱材	・ A種ビーズ法 ※A種押出法 2種 b	・ 25	JIS A 9521の JIS表示認証製品																																																																																																																																																																																																																									
※ 押出法ポリスチレンフォーム断熱材 (A種)	・ 2種 b	※ 25	下記以外																																																																																																																																																																																																																									
・ 硬質ウレタンフォーム断熱材	・ 3種 b	※ 25	接合部分及び屋根防水部分																																																																																																																																																																																																																									
・ フェノールフォーム断熱材	・ (スキニングあり)		ピット内部																																																																																																																																																																																																																									
・ 吹付け硬質ウレタンフォーム断熱材	※ A種1H	※ 30																																																																																																																																																																																																																										
種類	箇所	厚さ (mm)	備考																																																																																																																																																																																																																									
・ JIS A 発泡プラスチック保温材	・ A種ビーズ法 ※A種押出法 下記以外 2種 b	※ 25	JIS表示認証製品																																																																																																																																																																																																																									
	※ A種押出法 3種 b		接合部分及び屋根防水部分																																																																																																																																																																																																																									
	(スキニングあり)		ピット内部																																																																																																																																																																																																																									
・ グラスウール保温材	※24K品	※ 100	JIS表示認証製品																																																																																																																																																																																																																									
施工場所	工法	仕上り高 (mm)	適用地震時水平力 (Ks)	耐荷重性能 (N)	表面仕上げ																																																																																																																																																																																																																							
・ 溝工法 (置敷工法)	・ 溝工法 (置敷工法)	・ 1.0G	・ 1.0G	・ 3,000	・ 帯電防止床タイル																																																																																																																																																																																																																							
						・ 0.6G	・ 5,000																																																																																																																																																																																																																					
・ 支柱一体型パネル工法 (置敷工法)	・ 支柱一体型パネル工法 (置敷工法)	・ 1.0G	・ 1.0G	・ 3,000	・ 帯電防止床タイル																																																																																																																																																																																																																							
						・ 0.6G	・ 5,000																																																																																																																																																																																																																					
・ 支柱分離型パネル工法 (支柱調整式工法)	・ 支柱分離型パネル工法 (支柱調整式工法)	・ 1.0G	・ 1.0G	・ 3,000	・ 帯電防止床タイル																																																																																																																																																																																																																							
						・ 0.6G	・ 5,000																																																																																																																																																																																																																					



- 工事概要**
- 令和3年2月13日 福島県沖地震による向洋中学校南校舎棟及び昇降口棟施設被災による復旧工事
1. 南校舎棟及び昇降口棟の外壁がけ(0.2mm以上)、欠損部及びEXP-J損壊及び軒天損壊の復旧工事。
 2. 昇降口棟7Fロ-階段踏面の脱落復旧工事。
 3. 南校舎棟及び昇降口棟の内壁がけ(0.2mm以上)、破損、天井破損、建具破損、EXP-J破損部の復旧工事。
 4. 北校舎棟バ-ム-手摺笠木破損部の復旧工事。
 5. 上記建築工事に伴う電気設備、機械設備の復旧工事。

- 特記事項**
1. 仮囲い、仮設ガードは工事進捗に伴い、監督員との協議の上、1回程度の盛り替えは見込むこと。
 2. 工所用仮設事務所及び工事関係者用駐車場を北側敷地の一部を借用する。工所用車両及び材料トラックを南校舎棟、西側敷地の一部を借用する。
防犯対策として、ガードフェンスを設置し安全管理に努めること。
また、車の出入があるため鉄板を敷きとし、工事完了後必要に応じて整地すること。
 3. 搬入経路内の樹木については、原則伐採は行わないこと。施工上支障のある樹木については、監督員と協議の上、必要に応じて枝落とし等を行うこと。

内部仕上表 ★印はアスベスト含有品を示す

棟	階	室名	床	巾木			壁	天井			廻り線	室名札	C B V B	備考	室名	
				仕上	H	塗装		仕上	下地	H						
南 校 舎 棟	1 階	1階女子トイレ 【1-11】	改修前	ビニ床シート張り t=2.0	ビニ巾木	100	-	コンクリート打放し 複層仕上塗材 E LGS下地 シーズン 石膏ボード t12.5 フルバグ 緑 t=6.0 複層仕上塗材 E	GB-D t9.5	LGS	2,500	塩ビ	○		1階女子トイレ 【1-11】	
			改修後	既存のまま	既存のまま	-	-	既存のまま ※復旧範囲等詳細は平詳・展開図参照	既存のまま	[既存]	2,500	[既存]	[既存]			
		掃除用具入れ 【1-12】	改修前	ビニ床シート張り t=2.0	木製巾木	75	-	コンクリート打放し 複層仕上塗材 E	フルバグ 緑 t=5.0貼 VP塗装	LGS	2,500	塩ビ			掃除用具入れ 【1-12】	
			改修後	既存のまま	既存のまま	-	-	既存のまま ※復旧範囲等詳細は平詳・展開図参照	既存のまま	[既存]	2,500	[既存]	[既存]			
		教材室 【1-13】	改修前	長尺塩ビ床シート2.0貼	堅木巾木	75	SOP塗	合板型枠コンクリート打放し AEP塗装(柱型共) N面:ジョイントGB-R t12.0(GL工法) AEP塗装	GB-D t9.0	LGS	2,500	塩ビ	○		教材室 【1-13】	
			改修後	既存のまま	既存のまま	-	-	既存のまま ※復旧範囲等詳細は平詳・展開図参照	既存のまま	[既存]	2,500	[既存]	[既存]			
		相談室 【1-14】	改修前	長尺塩ビ床シート2.0貼	ワト巾木	75	-	柱型:E面:合板型枠コンクリート打放し AEP塗装 N面:ジョイントGB-R t12.0(GL工法) AEP塗装 S面:N面:合板t6目透かし貼 SOP塗装	GB-D t9.0	LGS	2,500	塩ビ	○	○	相談室 【1-14】	
			改修後	既存のまま	既存のまま	-	-	既存のまま ※復旧範囲等詳細は平詳・展開図参照	既存のまま	[既存]	2,500	[既存]	[既存]	[既存]		
		職員用女子トイレ 【1-15】	改修前	ビニ床シート張り t2.0	ビニ巾木	100	-	コンクリート打放し 複層仕上塗材 E	GB-D t9.5	LGS	2,500	塩ビ	○		職員用女子トイレ 【1-15】	
			改修後	既存のまま	既存のまま	-	-	既存のまま	既存のまま	[既存]	2,500	[既存]	[既存]			
		職員用男子トイレ 【1-16】	改修前	ビニ床シート張り t2.0	ビニ巾木	100	-	コンクリート打放し 複層仕上塗材 E	GB-D t9.5	LGS	2,500	塩ビ	○		職員用男子トイレ 【1-16】	
			改修後	既存のまま	既存のまま	-	-	既存のまま	既存のまま	[既存]	2,500	[既存]	[既存]			
		更衣室 (男子・女子) 【1-17、1-18】	改修前	長尺塩ビ床シート2.0貼	ワト巾木	75	-	合板型枠コンクリート打放し AEP塗装	GB-D t9.0	LGS	2,500	塩ビ	○		更衣室 (男子・女子) 【1-17、1-18】	
			改修後	既存のまま	既存のまま	-	-	既存のまま ※復旧範囲等詳細は平詳・展開図参照	既存のまま	[既存]	2,500	[既存]	[既存]		※木製ロッカ(2箇所)(男子更衣室のみ)【一時取外し、再取付】	
		印刷室 【1-19】	改修前	長尺塩ビ床シート2.0貼	ワト巾木	75	-	合板型枠コンクリート打放し AEP塗装 柱型:合板型枠コンクリート打放し AEP塗装 外壁面:ジョイントGB-R t12.0(GL工法) AEP塗装	GB-D t9.0	LGS	2,500	塩ビ	○	○	印刷室 【1-19】	
			改修後	既存のまま	既存のまま	-	-	既存のまま ※復旧範囲等詳細は平詳・展開図参照	既存のまま	[既存]	2,500	[既存]	[既存]	[既存]		
		湯沸室 【1-20】	改修前	長尺塩ビ床シート2.0貼	ワト巾木	75	-	合板型枠コンクリート打放し AEP塗装	フルバグ 緑 t=5.0貼★ VP塗装	LGS	2,500	塩ビ	○		湯沸室 【1-20】	
			改修後	既存のまま	既存のまま	-	-	既存のまま ※復旧範囲等詳細は平詳・展開図参照	既存のまま	[既存]	2,500	[既存]	[既存]			
		職員玄関 【1-21】	改修前	磁器質100角タイル貼	アラバスター	120~150	-	コンクリート打放し AEP塗装	GB-R t9.0下地 岩綿吸音板t=12.0貼	LGS	2,800	塩ビ			EXP. J【撤去】	職員玄関 【1-21】
			改修後	既存のまま	既存のまま	-	-	既存のまま ※復旧範囲等詳細は平詳・展開図参照	既存のまま	[既存]	2,800	[既存]	[既存]		EXP. J【新設】	
		昇降口 【1-22】	改修前	磁器質100角タイル貼	アラバスター	120~150	-	コンクリート打放し AEP塗装	GB-R t9.0下地 岩綿吸音板t=12.0貼	LGS	2,500~ 2,900	塩ビ			下足入れ、掲示板【一時取外し】	昇降口 【1-22】
			改修後	既存のまま	既存のまま	-	-	既存のまま ※復旧範囲等詳細は平詳・展開図参照	既存のまま	[既存]	2,500~ 2,900	[既存]	[既存]		下足入れ、掲示板【再取付】	
		ホール 【1-22】	改修前	長尺塩ビ床シート2.0貼	堅木巾木	75	SOP塗	コンクリート打放し AEP塗装	GB-R t9.0下地 岩綿吸音板t=12.0貼	LGS	2,700	塩ビ			EXP. J【撤去】	ホール 【1-22】
			改修後	既存のまま	既存のまま	-	-	既存のまま ※復旧範囲等詳細は平詳・展開図参照	既存のまま	[既存]	2,700	[既存]	[既存]		EXP. J【新設】	
廊下 【1-23】	改修前	長尺塩ビ床シート2.0貼	堅木巾木	75	SOP塗	コンクリート打放し AEP塗装 北棟窓下:合板t6.0目透かし貼 SOP塗装	GB-D t9.0	LGS	2,700 2,500	塩ビ				廊下 【1-23】		
	改修後	既存のまま	既存のまま	-	-	既存のまま ※復旧範囲等詳細は平詳・展開図参照	既存のまま	[既存]	2,700 2,500	[既存]	[既存]					
階段室 【1-24】	改修前	長尺塩ビ床シート2.0貼	堅木巾木	75	SOP塗	合板型枠コンクリート打放し AEP塗装	GB-D t9.0	LGS	6,300	塩ビ				階段室 【1-24】		
	改修後	既存のまま	既存のまま	-	-	既存のまま ※復旧範囲等詳細は平詳・展開図参照	既存のまま	[既存]	6,300	[既存]	[既存]					
プロパン庫 【1-25】	改修前	コンクリート打放し	-	-	-	コンクリート打放し	コンクリート打放し							プロパン庫 【1-25】		
	改修後	既存のまま	-	-	-	既存のまま ※復旧範囲等詳細は平詳・展開図参照	既存のまま	[既存]								
2 階	美術準備室 【2-1】	改修前	長尺塩ビ床シート2.0貼	堅木巾木	75	SOP塗	合板型枠コンクリート打放し AEP塗装 E面:ジョイントGB-R t12.0(GL工法) AEP塗装	GB-D t9.0	[撤去]	LGS [撤去]	2,700	塩ビ [撤去]	○ ○	木製棚【取外し】	美術準備室 【2-1】	
		改修後	既存のまま	既存のまま	-	-	既存のまま ※復旧範囲等詳細は平詳・展開図参照	GB-D t9.5	[新設]	LGS [新設]	2,700	塩ビ [既存]	[既存] [既存]	木製棚【再取付】 木製建具(出入口側):点検調整		
	美術室 【2-2】	改修前	フローリングt15.0直貼(特殊貼) PU3	堅木巾木	75	SOP塗	W面・N面一部:合板型枠コンクリート打放し AEP塗装 S面・E面:ジョイントGB-R t12.0(GL工法) AEP塗装 N面一部:LGS下地 GB-R t12.0 AEP塗装	GB-D t9.0	LGS	3,050	塩ビ	○	○	半曲面黒板【取外し】	美術室 【2-2】	
		改修後	既存のまま	既存のまま	-	-	既存のまま ※復旧範囲等詳細は平詳・展開図参照	既存のまま	[既存]	3,050	[既存]	[既存]	[既存]	半曲面黒板【再取付】		
	前室 【2-3】	改修前	ニードルパンチt4.0貼 ラン付	堅木巾木	75	SOP塗	吸音(穴開)GB-R t12.0(ｸﾞﾗｽﾌﾞｰﾙt50充填)	GB-R t9.0下地 岩綿吸音板t12.0貼(ｸﾞﾗｽﾌﾞｰﾙt50充填)	LGS	2,500	塩ビ	○			前室 【2-3】	
改修後		既存のまま	既存のまま	-	-	既存のまま	既存のまま	[既存]	2,500	[既存]	[既存]					

内部仕上表 ★印はアスベスト含有品を示す

棟	階	室名	床	巾木			壁	天井			廻り線	室名札	C B V B	備考	室名	
				仕上	H	塗装		仕上	下地	H						
南校舎棟	2	放送室【2-4】	改修前	ニド・M17・F4.0貼 500×500付	堅木巾木	75	SOP塗	吸音(穴開)GB-R t12.0 柱型共(S鋼線 9'50×4t50充填)	GB-R t9.0下地 岩綿吸音板t12.0貼(9'50×4t50充填)	LGS	2,500	塩ビ	○		放送室【2-4】	
		改修後	既存のまま	既存のまま	既存のまま	-	-	既存のまま	既存のまま	[既存]	2,500	[既存]	[既存]			
		スタジオ【2-5】	改修前	ニド・M17・F4.0貼 500×500付	堅木巾木	75	SOP塗	吸音(穴開)GB-R t12.0 柱型共(S鋼線 9'50×4t50充填)	吸音(穴開)GB-R t9.0 GB-R t9.0(9'50×4t50充填) AEP 格子天井:スチールイ'φ27.2 @300(9'×30) AEP	LGS	3,050	塩ビ	○		スタジオ【2-5】	
		改修後	既存のまま	既存のまま	既存のまま	-	-	既存のまま	既存のまま ※復旧範囲等詳細は平詳・展開図参照	[既存]	3,050	[既存]	[既存]	木製建具・点検調整		
		図書室【2-6】	改修前	M17・F4.0貼 通路部分:長尺塩ビ床シート2.0貼	堅木巾木	75	SOP塗	合板型枠コンクリート打放し AEP塗装 S面:ジョイントGB-R t12.0(GL工法) AEP塗装	GB-D t9.0 [撤去]	LGS [撤去]	2,500~ 4,000	塩ビ [撤去]	○		図書室【2-6】	
		改修後	既存のまま	既存のまま	既存のまま	-	-	既存のまま ※復旧範囲等詳細は平詳・展開図参照	GB-D t9.5 [新設]	LGS [新設]	2,500~ 4,000	塩ビ [新設]	[既存]		建具・内部がラスロック【目地補修】	
		理科室Ⅱ【2-7】	改修前	長尺塩ビ床シート2.0貼	堅木巾木	75	SOP塗	合板型枠コンクリート打放し AEP塗装 S面・N面一部:ジョイントGB-R t12.0(GL工法) AEP塗装	GB-D t9.0	LGS	3,050	塩ビ	○	○	理科室Ⅱ【2-7】	
		改修後	既存のまま	既存のまま	既存のまま	-	-	既存のまま ※復旧範囲等詳細は平詳・展開図参照	既存のまま ※復旧範囲等詳細は平詳・展開図参照	[既存]	3,050	[既存]	[既存]	[既存]		
		理科準備室【2-8】	改修前	長尺塩ビ床シート2.0貼	堅木巾木	75	SOP塗	合板型枠コンクリート打放し AEP塗装 S面:ジョイントGB-R t12.0(GL工法) AEP塗装	GB-D t9.0 [撤去]	LGS [撤去]	2,700	塩ビ [撤去]	○	○	理科準備室【2-8】	
		改修後	既存のまま	既存のまま	既存のまま	-	-	既存のまま ※復旧範囲等詳細は平詳・展開図参照	GB-D t9.5 [新設]	LGS [新設]	2,700	塩ビ [新設]	[既存]	[既存]		
		暗室【2-9】	改修前	長尺塩ビ床シート2.0貼	ワト巾木	75	SOP塗	合板型枠コンクリート打放し AEP塗装	GB-D t9.0	LGS	2,700	塩ビ			暗室【2-9】	
		改修後	既存のまま	既存のまま	既存のまま	-	-	既存のまま ※復旧範囲等詳細は平詳・展開図参照	既存のまま ※復旧範囲等詳細は平詳・展開図参照	[既存]	2,700	[既存]				
		理科室Ⅰ【2-10】	改修前	長尺塩ビ床シート2.0貼	堅木巾木	75	SOP塗	合板型枠コンクリート打放し AEP塗装 W・S面・N面一部:ジョイントGB-R t12.0(GL工法) AEP塗装	GB-D t9.0	LGS	3,050	塩ビ	○	○	理科室Ⅰ【2-10】	
		改修後	既存のまま	既存のまま	既存のまま	-	-	既存のまま ※復旧範囲等詳細は平詳・展開図参照	既存のまま ※復旧範囲等詳細は平詳・展開図参照	[既存]	3,050	[既存]	[既存]	[既存]	木製建具・ガラス復旧	
		南2階倉庫【2-11】	改修前	長尺塩ビ床シート2.0貼	堅木巾木	75	SOP塗	合板型枠コンクリート打放し AEP塗装 N・W面:ジョイントGB-R t12.0(GL工法) AEP塗装	GB-D t9.0	LGS	2,500	塩ビ	○		南2階倉庫【2-11】	
		改修後	既存のまま	既存のまま	既存のまま	-	-	既存のまま ※復旧範囲等詳細は平詳・展開図参照	既存のまま	[既存]	2,500	[既存]	[既存]			
		2階男子トイレ【2-12】	改修前	ビニル床シート張り t2.0	ビニル巾木	100	-	コンクリート打放し 複層仕上塗材 E 柱型:合板型枠コンクリート打放し AEP塗装	GB-D t9.5	LGS	2,500	塩ビ	○		2階男子トイレ【2-12】	
		改修後	既存のまま	既存のまま	既存のまま	-	-	既存のまま	既存のまま	[既存]	2,500	[既存]	[既存]			
		2階女子トイレ【2-13】	改修前	ビニル床シート張り t2.0	ビニル巾木	100	-	コンクリート打放し 複層仕上塗材 E LGS下地 ケージング 石膏ボード t12.5 7040g 60'×16.0 複層仕上塗材 E	GB-D t9.5	LGS	2,500	塩ビ	○		2階女子トイレ【2-13】	
		改修後	既存のまま	既存のまま	既存のまま	-	-	既存のまま	既存のまま	[既存]	2,500	[既存]	[既存]			
多目的トイレ【2-14】	改修前	ビニル床シート張り t2.0	ビニル巾木	100	-	コンクリート打放し 複層仕上塗材 E LGS下地 ケージング 石膏ボード t12.5 7040g 60'×16.0 複層仕上塗材 E	GB-D t9.5	LGS	2,500	塩ビ	○		多目的トイレ【2-14】			
改修後	既存のまま	既存のまま	既存のまま	-	-	既存のまま	既存のまま	[既存]	2,500	[既存]	[既存]					
北2階倉庫【2-15】	改修前	長尺塩ビ床シート2.0貼	ワト巾木	75	SOP塗	合板型枠コンクリート打放し AEP塗装 E面:ジョイントGB-R t12.0(GL工法) AEP塗装	GB-D t9.0	LGS	2,500	塩ビ			EXP. J【撤去】	北2階倉庫【2-15】		
改修後	既存のまま	既存のまま	既存のまま	-	-	既存のまま ※復旧範囲等詳細は平詳・展開図参照	既存のまま ※復旧範囲等詳細は平詳・展開図参照	[既存]	2,500	[既存]			EXP. J【新設】			
多目的室【2-16】	改修前	長尺塩ビ床シート2.0貼	堅木巾木	75	SOP塗	柱型・N面S面一部:合板型枠コンクリート打放し AEP塗装 N面W面一部・E面:ジョイントGB-R t12.0(GL工法) AEP塗装	耐震軽量天井 一部GB-R t9.0下地 岩綿吸音板t12.0貼	LGS	2,800~ 4,500	塩ビ	○		多目的室【2-16】			
改修後	既存のまま	既存のまま	既存のまま	-	-	既存のまま ※復旧範囲等詳細は平詳・展開図参照	既存のまま ※復旧範囲等詳細は平詳・展開図参照	[既存]	2,800~ 4,500	[既存]	[既存]					
2階廊下【2-20.2-21】	改修前	長尺塩ビ床シート2.0貼	堅木巾木	75	SOP塗	ジョイントGB-R t12.0(GL工法) AEP塗装 コンクリート打放し AEP塗装	GB-D t9.0	LGS	2,500 2,700	塩ビ			EXP. J【撤去】	2階廊下【2-20.2-21】		
改修後	既存のまま	既存のまま	既存のまま	-	-	既存のまま ※復旧範囲等詳細は平詳・展開図参照	既存のまま ※復旧範囲等詳細は平詳・展開図参照	[既存]	2,500 2,700	[既存]			EXP. J【新設】			
北校舎棟	2	オイルタンク室【2-17】	改修前	防水タイルt30 金コテ仕上	防水タイル	200	-	コンクリート打放し	コンクリート打放し	コンクリート	直天	-		機械基礎【存置】	オイルタンク室【2-17】	
		改修後	既存のまま	既存のまま	既存のまま	-	-	既存のまま	既存のまま	[既存]	直天	-		機械基礎【既存】		
		視聴覚準備室【2-18】	改修前	長尺塩ビ床シート2.0貼 (鋼製床下地、一部木下地、一部タイル下地)	堅木巾木	75	SOP塗	合板t6.0 SOP塗装(9'50×4t50充填)	GB-R t9.0下地 岩綿吸音板t12.0貼	LGS	2,700	塩ビ	○	○	EXP. J【撤去】	視聴覚準備室【2-18】
		改修後	既存のまま	既存のまま	既存のまま	-	-	既存のまま ※復旧範囲等詳細は平詳・展開図参照	既存のまま ※復旧範囲等詳細は平詳・展開図参照	[既存]	2,700	[既存]	[既存]	[既存]	EXP. J【新設】	
		視聴覚室【2-19】	改修前	長尺塩ビ床シート2.0貼 (鋼製床下地、一部木下地、一部タイル下地)	堅木巾木	75	SOP塗	有孔合板t6.0 SOP塗装(9'50×4t50充填)	GB-R t9.0下地 岩綿吸音板t12.0貼	LGS	3,000	塩ビ	○	○		視聴覚室【2-19】
		改修後	既存のまま	既存のまま	既存のまま	-	-	既存のまま ※復旧範囲等詳細は平詳・展開図参照	既存のまま ※復旧範囲等詳細は平詳・展開図参照	[既存]	3,000	[既存]	[既存]	[既存]		
2階廊下	改修前	長尺塩ビ床シート2.0貼	堅木巾木	75	SOP塗	ジョイントGB-R t12.0(GL工法) AEP塗装 コンクリート打放し AEP塗装	GB-D t9.0	LGS	2,500 2,700	塩ビ			EXP. J【撤去】			
改修後	既存のまま	既存のまま	既存のまま	-	-	既存のまま	既存のまま	[既存]	2,500 2,700	[既存]			EXP. J【新設】			

室名	1階男子トイレ【1-10】
床	ビニル床シート2.0貼 【既存のまま】
巾木(腰)	ビニル巾木 H100 【既存のまま】
壁	コンクリート打放し 複層仕上塗材E 【クラック補修】 柱型:合板型枠コンクリート打放し AEP塗装 【既存のまま】
天井	LGS下地 【既存のまま】 GB-D t9.5 【既存のまま】
備考	

室名	1階女子トイレ【1-11】
床	ビニル床シート2.0貼 【既存のまま】
巾木(腰)	ビニル巾木 H100 【既存のまま】
壁	コンクリート打放し 複層仕上塗材E 【クラック補修】 LGS下地「ジョイント」石膏ボードt12.5 【既存のまま】 「ルキダ」t6.0 複層仕上塗材E 【既存のまま】
天井	LGS下地 【既存のまま】 GB-D t9.5 【既存のまま】
備考	

室名	階段室【1-24】
床	長尺塩ビ床シート2.0貼 【既存のまま】
巾木(腰)	堅木巾木 H75 SOP塗装 【破損部復旧】
壁	合板型枠コンクリート打放し AEP塗装 【クラック補修・破損部復旧】
天井	LGS下地 【既存のまま】 GB-D t9.0 【既存のまま】
備考	

室名	教室【1-13】
床	長尺塩ビ床シート2.0貼 【既存のまま】
巾木(腰)	堅木巾木 H75 SOP 【既存のまま】
壁	合板型枠コンクリート打放し AEP塗装(柱型共) 【クラック補修・破損部復旧】 N面:「ジョイント」GB-Rt12.0(GL工法) AEP塗装 【破損部復旧】
天井	LGS下地 【既存のまま】 GB-Dt9.0 【既存のまま】
備考	

室名	相談室【1-14】
床	長尺塩ビ床シート2.0貼 【既存のまま】
巾木(腰)	ワト巾木 H75 【既存のまま】
壁	柱型:E面:合板型枠コンクリート打放し AEP塗装 【クラック補修・破損部復旧】 N面:「ジョイント」GB-Rt12.0(GL工法) AEP塗装 【確認】 S面:W面:合板t6目透かし貼 SOP塗装 【確認】
天井	LGS下地 【既存のまま】 GB-Dt9.0 【既存のまま】
備考	

室名	職員用女子トイレ【1-15】
床	ビニル床シート2.0貼 【既存のまま】
巾木(腰)	ビニル巾木 H100 【既存のまま】
壁	コンクリート打放し 複層仕上塗材E 【クラック補修】
天井	LGS下地 【既存のまま】 GB-D t9.5 【既存のまま】
備考	

室名	職員用男子トイレ【1-16】
床	ビニル床シート2.0貼 【既存のまま】
巾木(腰)	ビニル巾木 H100 【既存のまま】
壁	コンクリート打放し 複層仕上塗材E 【クラック補修】
天井	LGS下地 【既存のまま】 GB-D t9.5 【既存のまま】
備考	

室名	被服準備室【1-9】
床	長尺塩ビ床シート2.0貼 【既存のまま】
巾木(腰)	堅木巾木 H75 SOP塗装 【既存のまま】
壁	柱・梁型:合板型枠コンクリート打放し AEP塗装 【クラック補修・破損部復旧】 N-W面:「ジョイント」GB-Rt12.0(GL工法) AEP塗装 【破損部復旧】 合板t6.0目透かし貼 SOP塗装 【既存のまま】
天井	LGS下地 【既存のまま】 GB-D t9.0 【破損部復旧】
備考	

室名	廊下【1-23】
床	長尺塩ビ床シート2.0貼 【既存のまま】
巾木(腰)	堅木巾木 H75 SOP塗装 【既存のまま】
壁	コンクリート打放し AEP塗装 【クラック補修・破損部復旧】
天井	LGS下地 【既存のまま】 GB-D t9.5 【既存のまま】
備考	

室名	掃除用具入れ【1-12】
床	ビニル床シート張り t2.0 【既存のまま】
巾木(腰)	木製巾木 H75 【既存のまま】
壁	コンクリート打放し 複層仕上塗材E 【破損部復旧】
天井	LGS下地 【既存のまま】 「ルキダ」t5.0貼 VP塗装 【既存のまま】
備考	

室名	技術準備室【1-8】
床	長尺塩ビ床シート2.0貼 【既存のまま】
巾木(腰)	堅木巾木 H75 SOP塗装 【既存のまま】
壁	N面:「ジョイント」GB-Rt12.0(GL工法) AEP塗装 【破損部復旧】 W面:柱型:合板型枠コンクリート打放し AEP塗装 【既存のまま】 合板t6.0目透かし貼 SOP塗装 【既存のまま】
天井	LGS下地 【既存のまま】 GB-D t9.0 【破損部復旧】
備考	

室名	プロパン庫(内部)【1-25】
床	コンクリート打放し 【既存のまま】
巾木(腰)	—
壁	コンクリート打放し 【クラック補修】
天井	コンクリート打放し 【既存のまま】
備考	

室名	技術室【1-7】
床	「フローリング」Pコートt15.0直貼(特殊貼)PU3 【既存のまま】
巾木(腰)	堅木巾木 H75 SOP塗装 【既存のまま】
壁	有孔合板t6.0 SOP塗装(「ルキダ」t50充填) 【破損部復旧】 柱・梁型:合板型枠コンクリート打放し AEP塗装 【クラック補修・破損部復旧】
天井	LGS下地 【撤去・新設】 GB-Rt9.0 【撤去・新設】
備考	

室名	調理室【1-6】
床	長尺塩ビ床シート2.0貼 【既存のまま】
巾木(腰)	堅木巾木 H75 SOP塗装 【既存のまま】
壁	柱・梁型:合板型枠コンクリート打放し AEP塗装 【クラック補修・破損部復旧】 合板t6.0目透かし貼 SOP塗装 【既存のまま】
天井	LGS下地 【既存のまま】 GB-Rt9.0 【既存のまま】
備考	

室名	被服室【1-5】
床	「フローリング」Pコートt15.0直貼(特殊貼)PU3 【既存のまま】
巾木(腰)	堅木巾木 H75 SOP塗装 【既存のまま】
壁	柱・梁型:N面:合板型枠コンクリート打放し AEP塗装 【クラック補修・破損部復旧】 合板t6.0目透かし貼 SOP塗装 【既存のまま】
天井	LGS下地 【既存のまま】 GB-Rt9.0 【既存のまま】
備考	

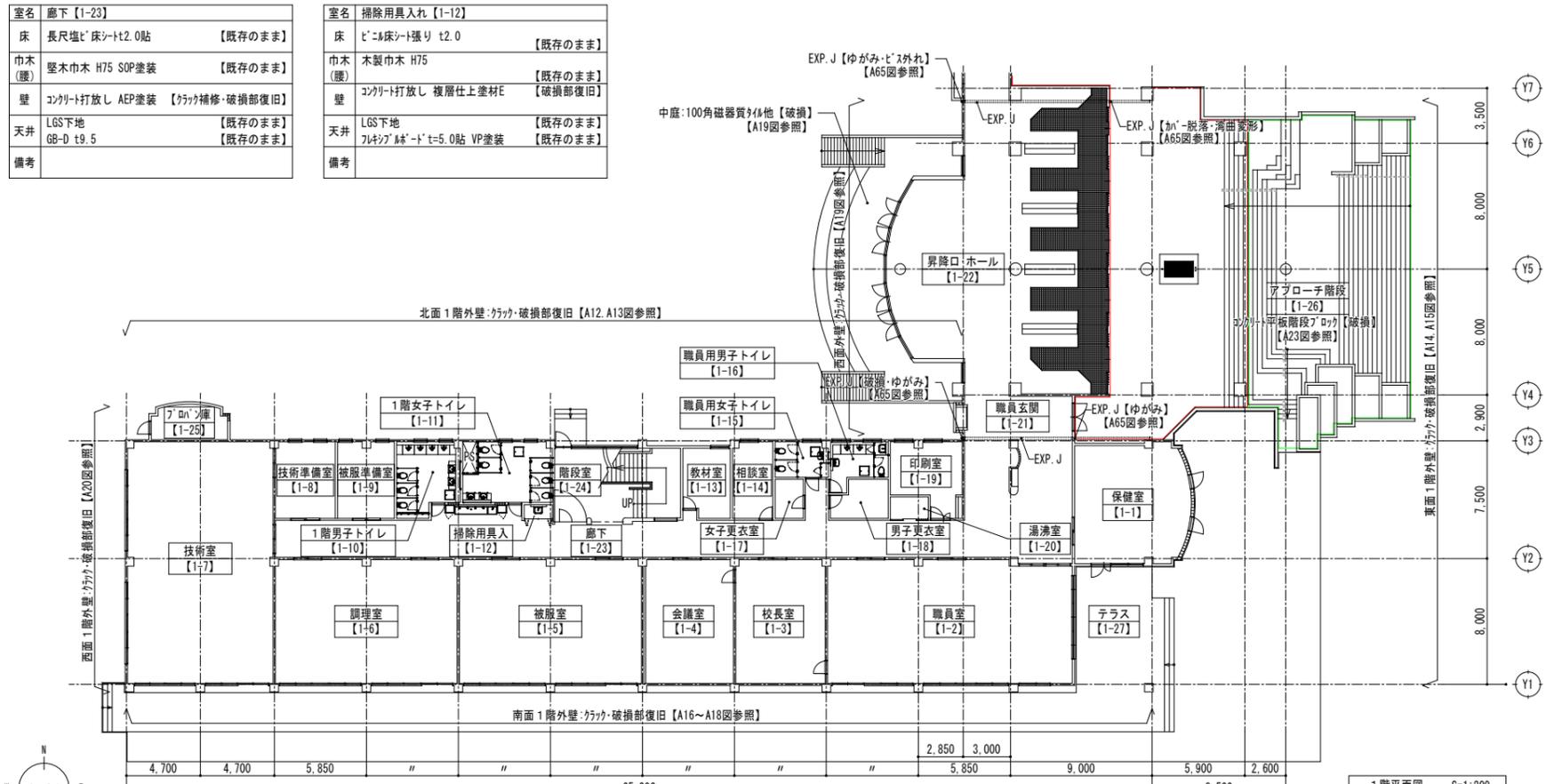
室名	会議室【1-4】
床	「シート」Pコートt4.0直貼(特殊貼)PU3 【既存のまま】
巾木(腰)	堅木巾木 H75 SOP塗装 【既存のまま】
壁	「ジョイント」GB-R t12.0(GL工法) ビニル床シート(柱型共) 【破損部復旧】
天井	GB-R t9.0下地 【既存のまま】 岩綿吸音板t=12.0貼 【破損部復旧】
備考	

室名	校長室【1-3】
床	「タイル」Pコートt8.0貼(特殊貼)PU3 【既存のまま】
巾木(腰)	堅木巾木 H75 SOP塗装 【既存のまま】
壁	「ジョイント」GB-R t12.0(GL工法) ビニル床シート(柱型共) 【破損部復旧】
天井	GB-R t9.0下地 【既存のまま】 岩綿吸音板t=12.0貼 【破損部復旧】
備考	

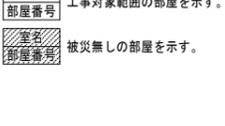
室名	職員室【1-2】
床	「フローリング」Pコートt15.0直貼(特殊貼)PU3 【既存のまま】
巾木(腰)	堅木巾木 H75 SOP塗装 【既存のまま】
壁	合板型枠コンクリート打放し AEP塗装 【クラック補修・破損部復旧】 E-S面:「ジョイント」GB-Rt12.0(GL工法) AEP塗装 【破損部復旧】
天井	LGS下地 【既存のまま】 GB-Dt9.0貼 【破損部復旧】
備考	行事用黒板 【取外し、再取付】

室名	保健室【1-1】
床	「フローリング」Pコートt15.0直貼(特殊貼)PU3 【既存のまま】
巾木(腰)	堅木巾木 H75 SOP塗装 【既存のまま】
壁	合板型枠コンクリート打放し AEP塗装 【クラック補修・破損部復旧】 E-S面:「ジョイント」GB-Rt12.0(GL工法) AEP塗装 【破損部復旧】
天井	LGS下地 【既存のまま】 GB-Dt9.0貼 【既存のまま】
備考	「タイル」Pコートt15.0直貼(特殊貼)PU3 【取外し、再取付】 木製建具・枠共【撤去・新設】、「タイル」Pコート目地補修

室名	昇降口・ホール【1-22】
床	磁器質100角磁器タイル貼 【既存のまま】 一部長尺塩ビ床シート2.0貼 【既存のまま】
巾木(腰)	昇降口:「フローリング」Pコート H120~150 【既存のまま】 他:堅木巾木 SOP H75 【既存のまま】
壁	コンクリート打放し VP塗装 【クラック補修・破損部復旧】 コンクリート打放し AEP塗装 【クラック補修・破損部復旧】
天井	LGS下地 【既存のまま】 GB-Rt9.0下地 岩綿吸音板t=12.0貼 【破損部復旧】 一部岩綿吸音板t=12.0貼 【既存のまま】
備考	下足入れ、掲示板 【取外し、再取付】 EXP. J 【撤去・新設】



1階平面図 S=1:200



室名	2階廊下(1)【2-20】
床	長尺塩ビ床シート2.0貼 【既存のまま】
巾木(腰)	堅木巾木 H75 SOP塗装 【一部取外し、再取付】
壁	ゾイントGB-R t12.0(GL工法) AEP塗装 【破損部復旧】 コンクリート打放し AEP塗装 【クラック補修・破損部復旧】
天井	LGS下地 【既存のまま】 GB-D t9.0 【破損部復旧】
備考	

室名	2階廊下(2)【2-21】
床	長尺塩ビ床シート2.0貼 【既存のまま】
巾木(腰)	堅木巾木 H75 SOP塗装 【一部取外し、再取付】
壁	ゾイントGB-R t12.0(GL工法) AEP塗装 【破損部復旧】 コンクリート打放し AEP塗装 【クラック補修・破損部復旧】
天井	LGS下地 【既存のまま】 GB-D t9.0 【破損部復旧】
備考	

室名	視聴覚室【2-19】
床	長尺塩ビ床シート2.0貼 【破損部復旧】 (鋼製床下地、一部塩ビ下地)
巾木(腰)	堅木巾木 SOP H75 【破損部復旧】
壁	有孔合板t6.0 SOP塗装(ガラスt50充填) 【破損部復旧】
天井	LGS下地 【既存のまま】 GB-Rt9.0下地 岩綿吸音板t=12.0貼 【既存のまま】
備考	

室名	南2階倉庫【2-11】
床	長尺塩ビ床シート2.0貼 【既存のまま】
巾木(腰)	堅木巾木 SOP H75 【既存のまま】
壁	合板型枠コンクリート打放し AEP塗装 【クラック補修・破損部復旧】 E-S面:ゾイントGB-Rt12.0(GL工法) AEP塗装 【既存のまま】
天井	LGS下地 【既存のまま】 GB-Dt9.0 【既存のまま】
備考	

室名	視聴覚準備室【2-18】
床	長尺塩ビ床シート2.0貼 【破損部復旧】 (鋼製床下地、一部塩ビ下地)
巾木(腰)	堅木巾木 SOP H75 【破損部復旧】
壁	合板t6.0 SOP塗装(ガラスt50充填) 【破損部復旧】
天井	LGS下地 【既存のまま】 GB-Rt9.0下地 岩綿吸音板t=12.0貼 【既存のまま】
備考	EXP.J 建具 【取外し、再取付】

室名	理科室I【2-10】
床	長尺塩ビ床シート2.0貼 【既存のまま】
巾木(腰)	堅木巾木 SOP H75 【既存のまま】
壁	合板型枠コンクリート打放し AEP塗装 【クラック補修・破損部復旧】 W-S-N面:ゾイントGB-Rt12.0(GL工法) AEP塗装 【破損部復旧】
天井	LGS下地 【既存のまま】 GB-Dt9.0 【破損部復旧】
備考	建具:ガラス復旧

室名	多目的室【2-16】
床	長尺塩ビ床シート2.0貼 【既存のまま】
巾木(腰)	堅木巾木 SOP H75 【既存のまま】
壁	柱型・N面S面一部:合板型枠コンクリート打放し AEP塗装 【クラック補修・破損部復旧】 N面一部・E面・W面一部:ゾイントGB-Rt12.0(GL工法) AEP塗装 【既存のまま】
天井	LGS下地 【既存のまま】 超軽量7&骨組ガラスt=12.0 【破損部復旧】
備考	EXP.J 建具 【撤去・新設】

室名	暗室【2-9】
床	長尺塩ビ床シート2.0貼 【既存のまま】
巾木(腰)	ソフト巾木 H75 【既存のまま】
壁	合板型枠コンクリート打放し AEP塗装 【破損部復旧】
天井	LGS下地 【既存のまま】 GB-Dt9.0 【既存のまま】
備考	

室名	北2階倉庫【2-15】
床	長尺塩ビ床シート2.0貼 【破損部復旧】
巾木(腰)	ソフト巾木 H75 【既存のまま】
壁	合板型枠コンクリート打放し AEP塗装 【クラック補修・破損部復旧】 E面:ゾイントGB-Rt12.0(GL工法) AEP塗装 【既存のまま】
天井	LGS下地 【破損部復旧】 GB-Dt9.0 【破損部復旧】
備考	EXP.J 建具 【撤去・新設】

室名	理科準備室【2-8】
床	長尺塩ビ床シート2.0貼 【既存のまま】
巾木(腰)	堅木巾木 SOP H75 【既存のまま】
壁	合板型枠コンクリート打放し AEP塗装 【クラック補修・破損部復旧】 S面:ゾイントGB-Rt12.0(GL工法) AEP塗装 【破損部復旧】
天井	LGS下地 【撤去・新設】 GB-Dt9.0 【撤去・新設】
備考	

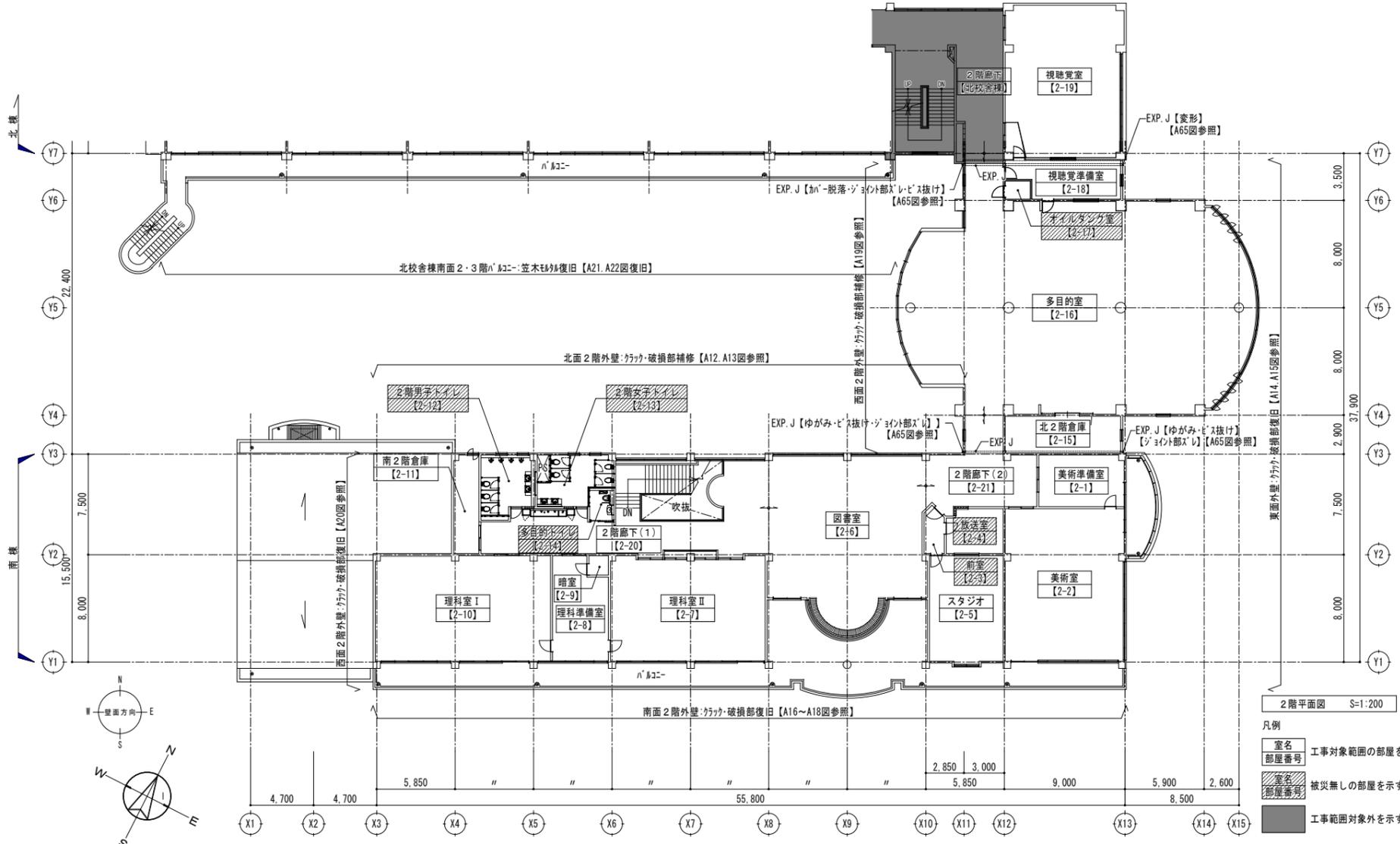
室名	理科室II【2-7】
床	長尺塩ビ床シート2.0貼 【既存のまま】
巾木(腰)	堅木巾木 SOP H75 【既存のまま】
壁	合板型枠コンクリート打放し AEP塗装 【クラック補修・破損部復旧】 W-S-N面:ゾイントGB-Rt12.0(GL工法) AEP塗装 【破損部復旧】
天井	LGS下地 【既存のまま】 GB-Dt9.0 【既存のまま】
備考	

室名	図書室【2-6】
床	クッションマット8.0貼 【既存のまま】 通路部分:長尺塩ビ床シート2.0貼 【既存のまま】
巾木(腰)	堅木巾木 SOP H75 【既存のまま】
壁	合板型枠コンクリート打放し AEP塗装 【クラック補修・破損部復旧】 S面:ゾイントGB-Rt12.0(GL工法) AEP塗装 【破損部交換】
天井	LGS下地 【撤去・新設】 GB-Dt9.0 【撤去・新設】
備考	ガラスロケ目地補修

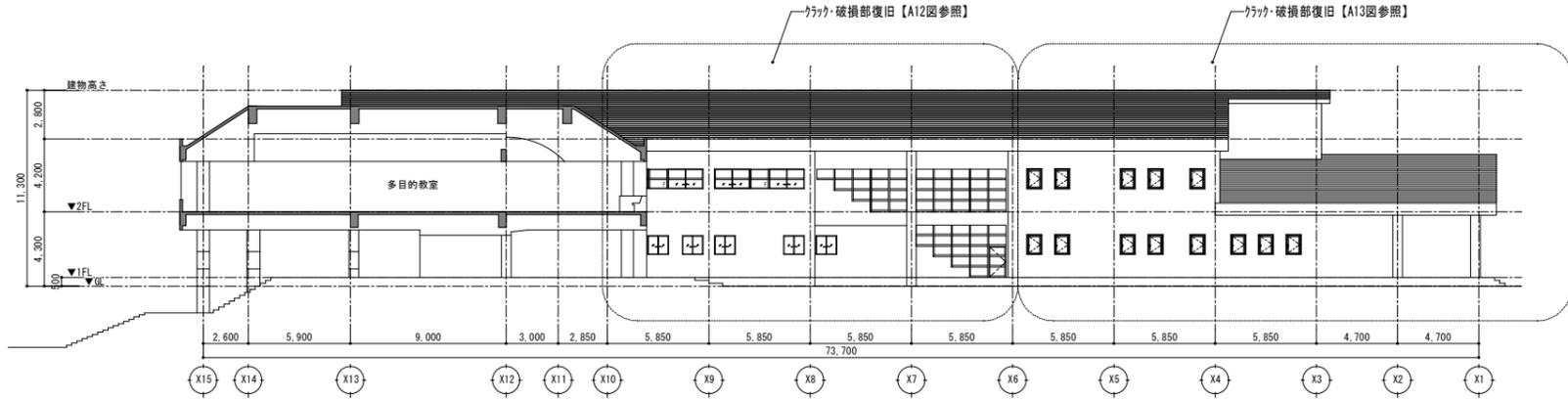
室名	スタジオ【2-5】
床	ニードルパンチカーペットt4.0貼 ラン付 【既存のまま】
巾木(腰)	堅木巾木 SOP H75 【既存のまま】
壁	吸音(穴開)GB-Rt12.0 柱型共 (S鋼線 ガラスt50充填) 【既存のまま】
天井	格子天井:チチチtφ27.2@300(9f-3φ) AEP 【取外し、再取付】
備考	

室名	美術室【2-2】
床	フローリングアフロット15.0直貼(特殊貼) PU3 【既存のまま】
巾木(腰)	堅木巾木 SOP H75 【既存のまま】
壁	W面・N面一部:合板型枠コンクリート打放し AEP塗装(柱型共) 【クラック補修・破損部復旧】 S-E面:ゾイントGB-Rt12.0(GL工法) AEP塗装 【破損部復旧】 N面一部:LGS下地 GB-Rt12.0 AEP塗装 【下地共撤去・新設】
天井	LGS下地 【既存のまま】 GB-Dt9.0 【破損部復旧】
備考	半曲面黒板(W3600×H1200) 【取外し、再取付】

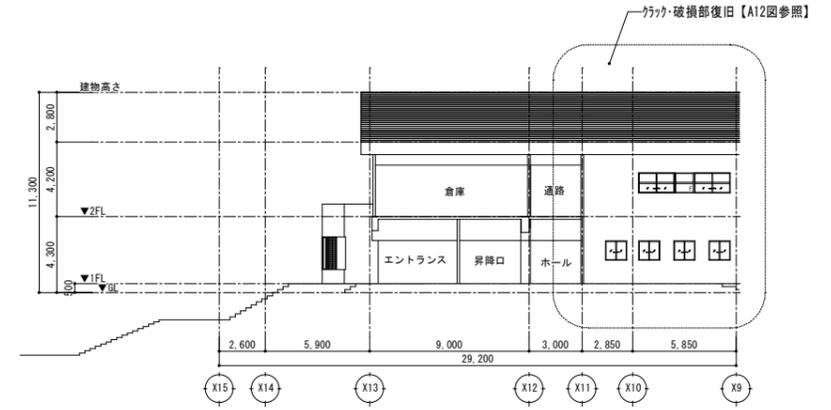
室名	美術準備室【2-1】
床	長尺塩ビ床シート2.0貼 【既存のまま】
巾木(腰)	堅木巾木 SOP H75 【既存のまま】
壁	合板型枠コンクリート打放し AEP塗装 【クラック補修・破損部復旧】 E面:ゾイントGB-Rt12.0(GL工法) AEP塗装 【破損部復旧】
天井	LGS下地 【撤去・新設】 GB-Dt9.0(新設はt9.5) 【撤去・新設】
備考	建具:扉、木製棚 【取外し、再取付】



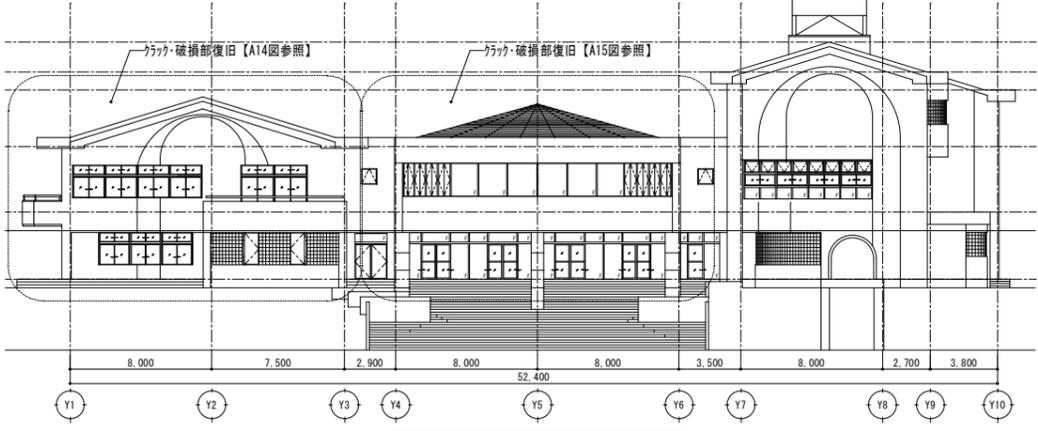
2階平面図 S=1:200
凡例
■ 室名 部屋番号 工事対象範囲の部屋を示す。
■ 室名 部屋番号 被災無しの部屋を示す。
■ 室名 部屋番号 工事範囲対象外を示す。



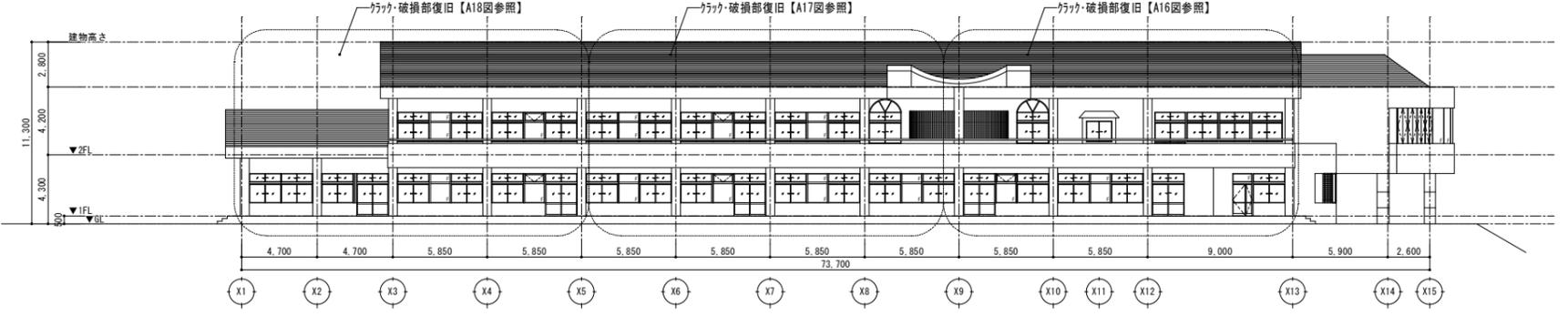
南側校舎棟立面図1 (N面) S=1:200



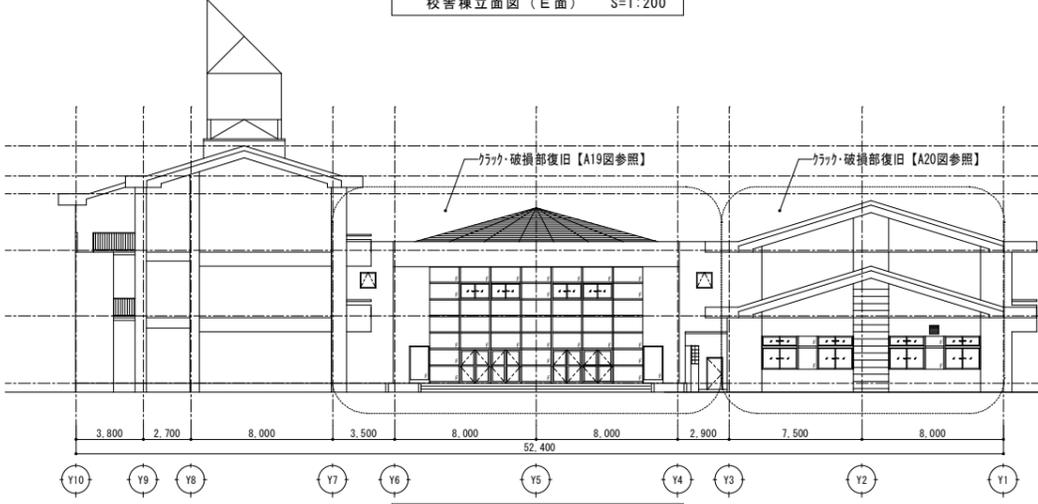
南側校舎棟立面図2 (N面) S=1:200



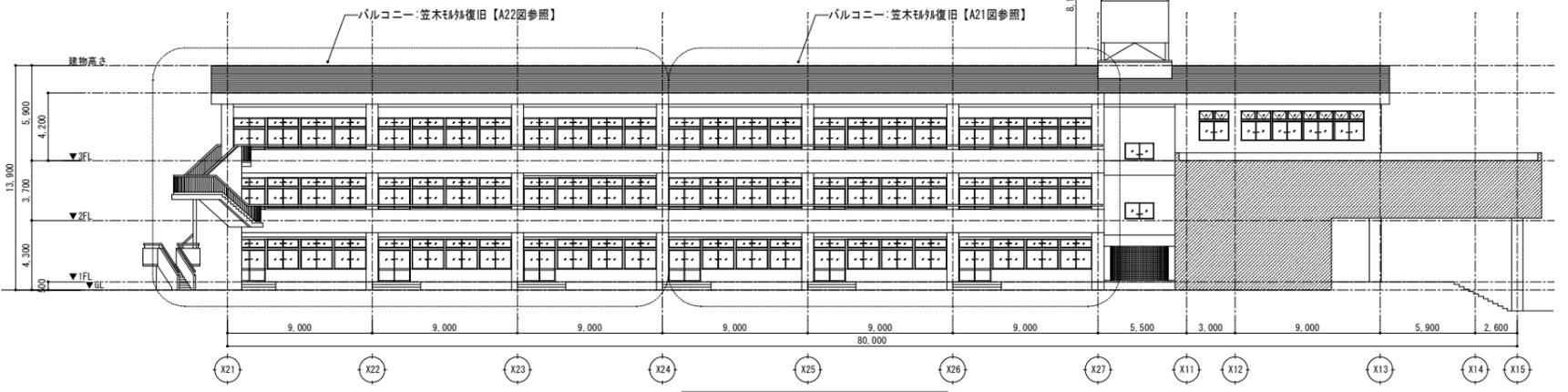
校舎棟立面図 (E面) S=1:200



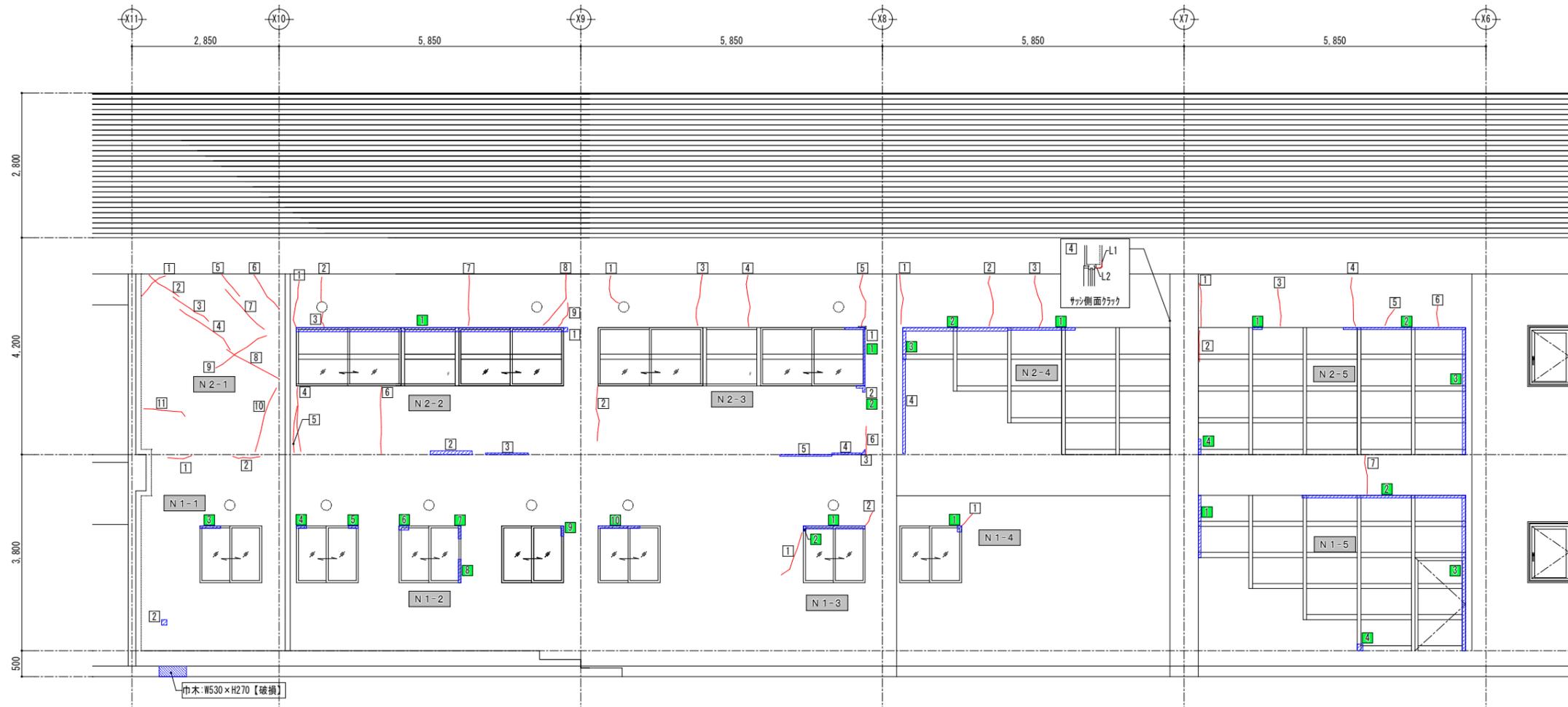
南側校舎棟立面図 (S面) S=1:200



校舎棟立面図 (W面) S=1:200



北側校舎棟立面図 (S面) S=1:200



N1-1 クラック・破損リスト		
クラック	長さ [mm]	浮き・破損範囲
1	L 330	W 100 × H 100
2	L 400	
計	730	計

N1-3 クラック・破損リスト		
クラック	長さ [mm]	浮き・破損範囲
1	L 710	
2	L 200	
計	910	計

N1-4 クラック・破損リスト		
クラック	長さ [mm]	浮き・破損範囲
1	L 170	
計	170	計

N2-1 クラック・破損リスト		
クラック	長さ [mm]	浮き・破損範囲
1	L 330	W 100 × H 100
2	L 400	
計	730	計

N1-1 モルタル破損部		
記号	長さ [mm]	面積 [m2]
1	530	
2	560	
3	700	
4	1,510	
5	400	
6	700	
7	790	
8	850	
9	1,100	
10	1,400	
11	950	
計	9,490	計

N2-2 クラック・破損リスト		
クラック	長さ [mm]	浮き・破損範囲
1	850	サッシ横 W 80 × H 80
2	450	W 810 × H 70
3	300	W 830 × H 30
4	1,110	
5	550	
6	1,260	
7	990	
8	1,080	
9	400	
計	6,990	計

N2-3 クラック・破損リスト		
クラック	長さ [mm]	浮き・破損範囲
1	610	サッシ上部 W 130 × H 50
2	900	サッシ下部 W 50 × H 80
3	960	80 × 100 × 1/2
4	1,000	W 570 × H 30
5	980	W 1010 × H 30
6	550	
計	5,000	計

N2-4 クラック・破損リスト		
クラック	長さ [mm]	浮き・破損範囲
1	930	
2	960	
3	950	
4	L1 120	
	L2 100	
計	3,060	計

N2-5 クラック・破損リスト		
クラック	長さ [mm]	浮き・破損範囲
1	900	
2	290	
3	700	
4	900	
5	300	
6	300	
7	500	
計	3,890	計

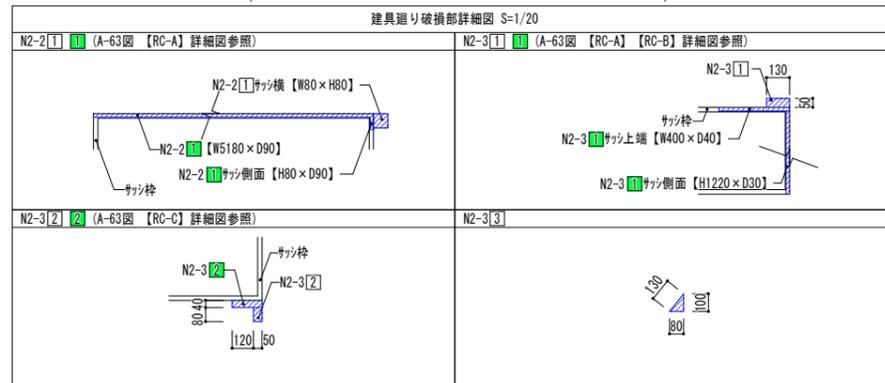
N2-5 クラック・破損リスト		
クラック	長さ [mm]	浮き・破損範囲
1	930	
2	960	
3	950	
4	L1 120	
	L2 100	
計	3,060	計

N2-5 クラック・破損リスト		
クラック	長さ [mm]	浮き・破損範囲
1	900	
2	290	
3	700	
4	900	
5	300	
6	300	
7	500	
計	3,890	計

N2-5 クラック・破損リスト		
クラック	長さ [mm]	浮き・破損範囲
1	900	
2	290	
3	700	
4	900	
5	300	
6	300	
7	500	
計	3,890	計

N2-5 クラック・破損リスト		
クラック	長さ [mm]	浮き・破損範囲
1	900	
2	290	
3	700	
4	900	
5	300	
6	300	
7	500	
計	3,890	計

N2-5 クラック・破損リスト		
クラック	長さ [mm]	浮き・破損範囲
1	900	
2	290	
3	700	
4	900	
5	300	
6	300	
7	500	
計	3,890	計



- 凡例
- ① クラックを示す。
 - ② 浮き・破損箇所を示す。
 - ③ 破損箇所を示す。
 - ④ 建具廻り破損部を示す。
- 復旧方法
- ① クラック 2mm以上
I⁺ 杉樹脂注入の上、複層塗材E仕上
 - ② 破損箇所
浮き・破損部撤去後、I⁺ 杉樹脂を充填の上、複層塗材E仕上
 - ③ 破損箇所
既存破損部を撤去しI⁺杉樹脂を新設とする。
 - ④ 建具廻り破損部
破損部撤去、I⁺杉樹脂を重ね塗り充填。(A-63図参照)
※複層塗材E仕上はクラックより両幅100mmとする。
- ◎N2-3-2サッシのみ、Uカット材充填の上、複層塗材E

N1-1 サッシ廻り:破損部		
記号	長さ [mm]	面積 [m2]
1	400	0.0200
2	400	0.0200
計		0.02

N1-2 サッシ廻り:破損部		
記号	長さ [mm]	面積 [m2]
1	200	0.0100
2	190	0.0095
3	190	0.0152
4	250	0.0125
5	450	0.0225
6	200	0.0100
計		0.08

N1-3 サッシ廻り:破損部		
記号	長さ [mm]	面積 [m2]
1	1220	0.0610
2	100	0.0050
3	810	0.0405
計		0.11

N1-4 サッシ廻り:破損部		
記号	長さ [mm]	面積 [m2]
1	120	0.0096
2	130	0.0143
計		0.01

N1-5 サッシ廻り:破損部		
記号	長さ [mm]	面積 [m2]
1	1270	0.0635
2	3170	0.1268
3	3060	0.1224
4	130	0.0143
計		0.33

N2-2 サッシ廻り:破損部		
記号	長さ [mm]	面積 [m2]
1	5180	0.2072
2	80	0.0072
計		0.21

N2-3 サッシ廻り:破損部		
記号	長さ [mm]	面積 [m2]
1	400	0.016
2	1220	0.0366
3	170	0.0068
計		0.06

N2-4 サッシ廻り:破損部		
記号	長さ [mm]	面積 [m2]
1	680	0.0408
2		0.04
計		0.04

N2-5 サッシ廻り:破損部		
記号	長さ [mm]	面積 [m2]
1	190	0.0076
2	2370	0.0948
3	2500	0.15
4	300	0.018
計		0.27

N2-5 サッシ廻り:破損部		
記号	長さ [mm]	面積 [m2]
1	190	0.0076
2	2370	0.0948
3	2500	0.15
4	300	0.018
計		0.27

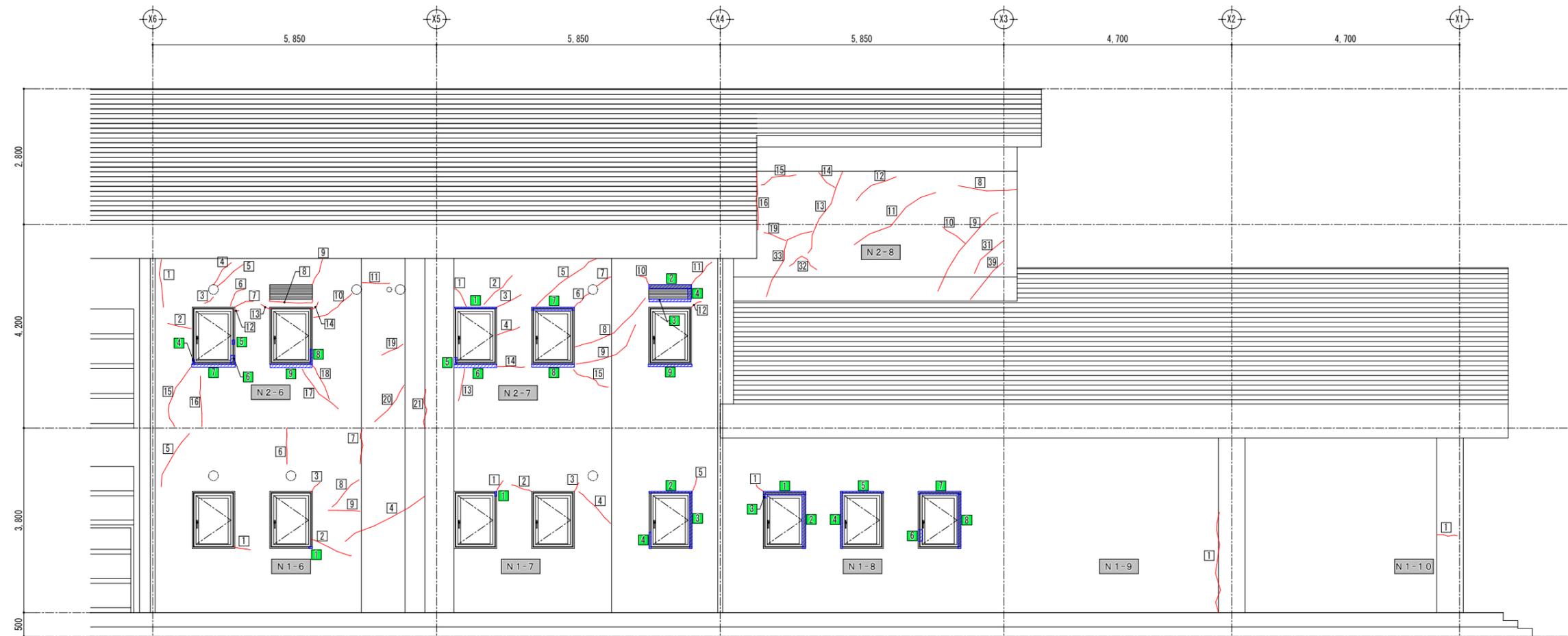
N2-5 サッシ廻り:破損部		
記号	長さ [mm]	面積 [m2]
1	190	0.0076
2	2370	0.0948
3	2500	0.15
4	300	0.018
計		0.27

N2-5 サッシ廻り:破損部		
記号	長さ [mm]	面積 [m2]
1	190	0.0076
2	2370	0.0948
3	2500	0.15
4	300	0.018
計		0.27

N2-5 サッシ廻り:破損部		
記号	長さ [mm]	面積 [m2]
1	190	0.0076
2	2370	0.0948
3	2500	0.15
4	300	0.018
計		0.27

N2-5 サッシ廻り:破損部		
記号	長さ [mm]	面積 [m2]
1	190	0.0076
2	2370	0.0948
3	2500	0.15
4	300	0.018
計		0.27

令和3年2月13日
福島県沖地震による向洋中学校校舎等災害復旧工事 設計図



N1-6 クラック・破損リスト			
クラック	長さ[mm]	記号	浮き・破損範囲
1	320		
2	1,070		
3	100		
4	1,400		
5	630		
6	530		
7	480		
8	700		
9	800		
計	6,030	計	0.00

N1-7 クラック・破損リスト			
クラック	長さ[mm]	記号	浮き・破損範囲
1	100		
2	470		
3	100		
4	940		
5	170		
計	1,780	計	0.00

N1-8 クラック・破損リスト			
クラック	長さ[mm]	記号	浮き・破損範囲
1	130		
計	130	計	0.00

N1-9 クラック・破損リスト			
クラック	長さ[mm]	記号	浮き・破損範囲
1	1,360		
計	1,360	計	0.00

N1-10 クラック・破損リスト			
クラック	長さ[mm]	記号	浮き・破損範囲
1	260		
計	260	計	0.00

N2-6 クラック・破損リスト			
クラック	長さ[mm]	記号	浮き・破損範囲
1	810		
2	500		
3	200		
4	500		
5	560		
6	660		
7	590		
8	970		
9	440		
10	920		
11	640		
12	200		
13	160		
14	200		
15	1,310		
16	1,250		
17	1,150		
18	700		
19	400		
20	960		
21	640		
計	13,760	計	0.00

N2-7 クラック・破損リスト			
クラック	長さ[mm]	記号	浮き・破損範囲
1	550		
2	660		
3	500		
4	500		
5	1,630		
6	410		
7	400		
8	1,860		
9	1,750		
10	220		
11	580		
12	210		
13	700		
14	700		
15	660		
計	11,330	計	0.00

N2-8 クラック・破損リスト			
クラック	長さ[mm]	記号	浮き・破損範囲
8	1,120		
9	2,430		
10	500		
11	1,550		
12	730		
13	2,000		
14	570		
15	1,230		
16	1,500		
19	700		
31	600		
32	500		
33	1,400		
39	840		
計	15,670	計	0.00

クラック	長さ[mm]	浮き・破損範囲	面積[m2]
総合計	50,320	総合計	0.00

N1-6 サッシ廻り:破損部		
記号	長さ[mm]	面積[m2]
1	サッシ側面 H 40 × D 70	0.0028
計		0.003

N1-7 サッシ廻り:破損部		
記号	長さ[mm]	面積[m2]
1	サッシ側面 H 100 × D 40	0.0040
2	サッシ上端 W 820 × D 40	0.0328
3	サッシ側面 H 1200 × D 40	0.0480
4	サッシ側面 H 340 × D 40	0.0136
計		0.10

N1-8 サッシ廻り:破損部		
記号	長さ[mm]	面積[m2]
1	サッシ上端 W 800 × D 80	0.0640
2	サッシ上端 W 1170 × D 40	0.0468
3	サッシ側面 H 70 × D 80	0.0056
4	サッシ側面 H 1190 × D 40	0.0476
5	サッシ上端 W 820 × D 50	0.0410
6	サッシ側面 H 240 × D 90	0.0216
7	サッシ上端 W 810 × D 60	0.0486
8	サッシ側面 H 1180 × D 60	0.0708
計		0.35

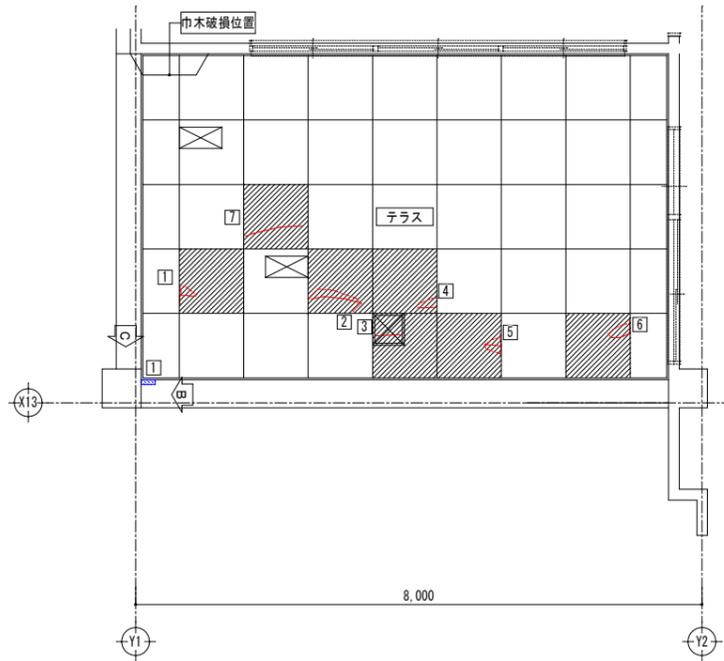
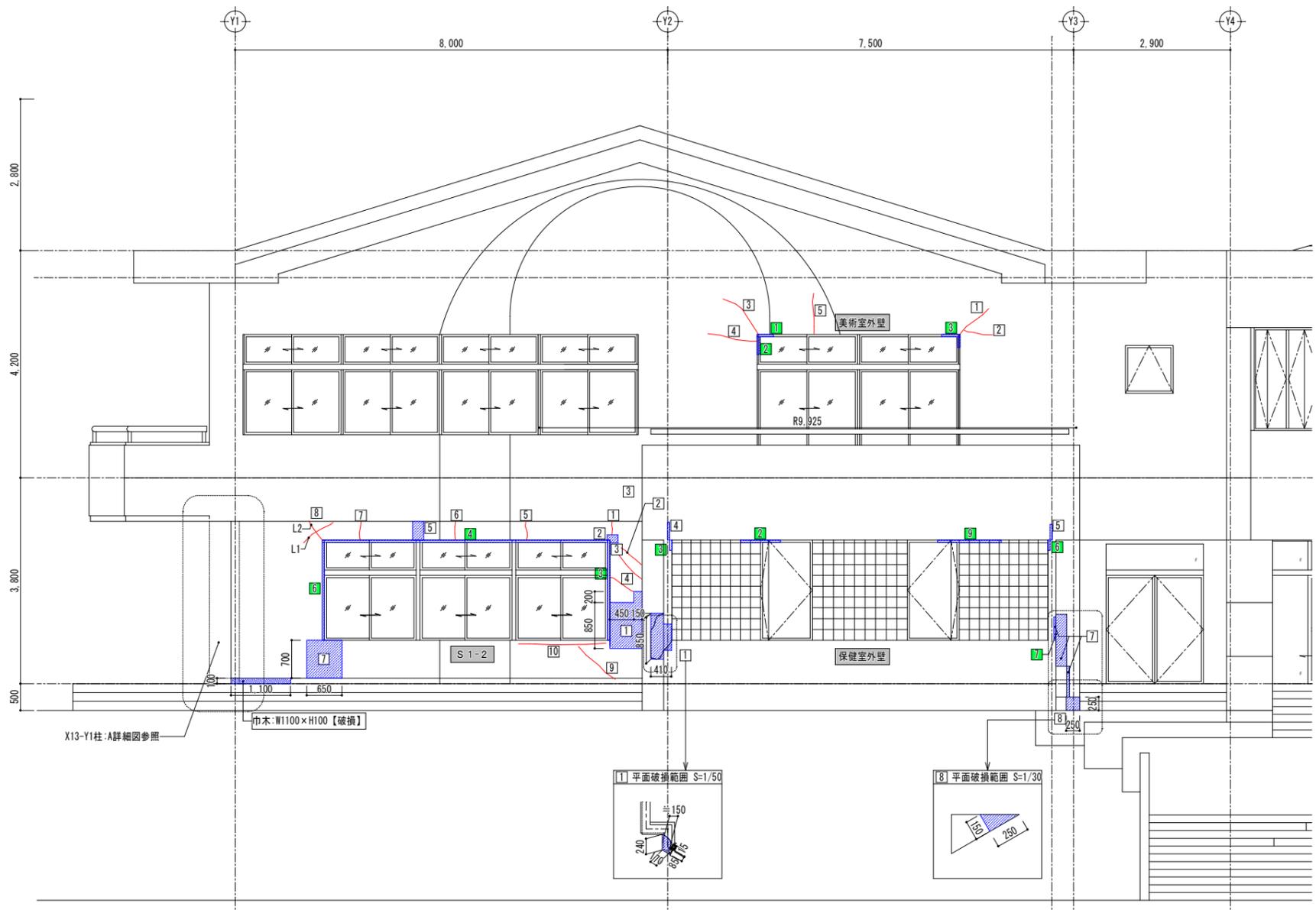
N2-6 サッシ廻り:破損部		
記号	長さ[mm]	面積[m2]
4	サッシ側面 H 100 × D 50	0.0050
5	サッシ側面 H 90 × D 50	0.0045
6	サッシ側面 H 180 × D 50	0.0090
7	サッシ下端 W 900 × H 60	0.0540
8	サッシ側面 H 310 × D 50	0.0155
9	サッシ下端 W 860 × H 80	0.0688
計		0.16

N2-7 サッシ廻り:破損部		
記号	長さ[mm]	面積[m2]
1	サッシ上端 W 820 × D 40	0.0328
2	サッシ上端 W 800 × D 40	0.0320
3	サッシ下端 W 860 × H 50	0.0430
4	サッシ側面 H 350 × D 40	0.0140
5	サッシ側面 H 140 × D 40	0.0056
6	サッシ下端 W 880 × H 70	0.0616
7	サッシ上端 W 830 × D 40	0.0332
8	サッシ下端 W 870 × H 60	0.0522
9	サッシ下端 W 900 × H 50	0.0450
計		0.32
総合計		0.93

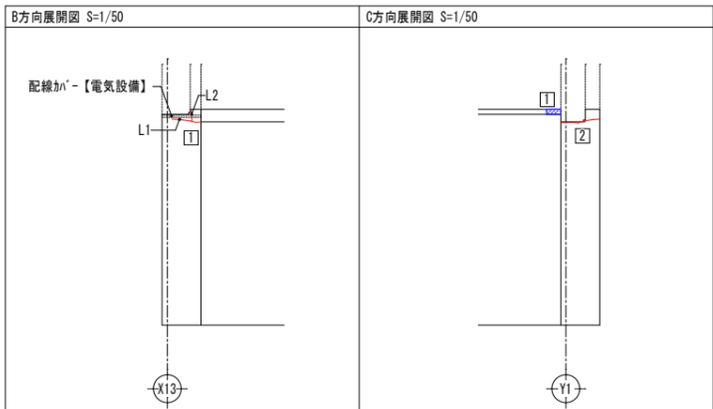
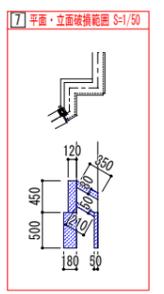
凡例

- ① クラックを示す。
- ② 浮き・破損箇所を示す。
- ③ 建具廻り:破損部を示す。

復旧方法	
①	クラック0.2mm以上 Eポリウレタン樹脂注入の上、複層塗材E仕上
②	破損箇所 浮き・破損部撤去後、Eポリウレタン樹脂を充填の上、複層塗材E仕上
③	建具廻り:破損部 破損箇所撤去、Eポリウレタン樹脂を充填の上、複層塗材E仕上(A-63図参照) ※複層塗材E仕上はクラックより両幅100mmとする。



- 天井伏図 S=1/50
- 凡例
- LGS下地【既存のまま】
 - 付加板t5 目透かし貼 EP塗装【新設】【7枚】
 - 鉄板蓋ぎ【既存のまま】
 - 天井点検口φ-450【既存のまま】
 - 実線は亀裂、点線はズレの範囲を示す。



クラック	長さ [mm]	記号	長さ [mm]	寸法参照	面積 [m2]
1	L 200	1			0.5400
2	L 550	2	W 200 × H 150		0.0300
3	L 750	5	W 200 × H 300		0.0600
4	L 550	7	W 650 × H 700		0.4550
5	L 300				
6	L 300				
7	L 300				
8	L1 500				0.0250
	L2 300				0.2075
9	L 800				0.0625
10	L 1,700				0.01875
計	6,250	計			1.09

クラック	長さ [mm]	記号	長さ [mm]	面積 [m2]
1		1		
4		4	W 40 × H 330	0.0132
5		5	W 40 × H 290	0.0116
7		7	サッシ(上) W 120 × H 450	0.0540
			サッシ(下) W 180 × D 500	0.0900
			脇(上) W 350 × D 80	0.0280
			脇(下) W 210 × D 50	0.0105
			際 W 50 × D 500	0.0250
8		8	W 250 × H 250	0.0625
			W 250 × H 150 × 1/2	0.01875
計	0	計		0.31

記号	長さ [mm]	面積 [m2]
1	外巾木 W 1100 × H 100	0.1100
計		0.11

クラック	長さ [mm]	記号	長さ [mm]	面積 [m2]
1	L 680			
2	L 550			
3	L 730			
4	L 730			
5	L 610			
計	3,300	計		0.00

クラック	長さ [mm]	記号	長さ [mm]	面積 [m2]
計	10,740	計		1.40

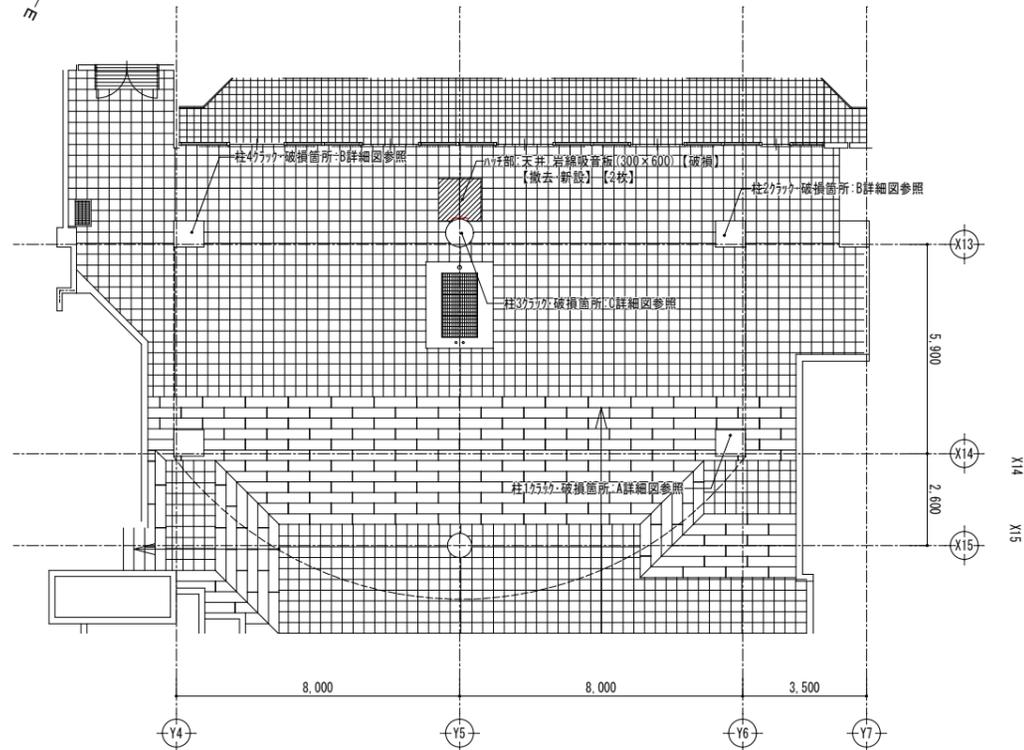
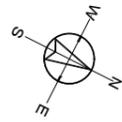
- 1 欠損部補修
- ①脆弱部はつり除去、鉄筋発錆部を除去。
 - ②既存鉄筋錆止め塗装及び補修用プライマー塗布。
 - ③型枠設置。
 - ④無収縮モルタル注入。
- 無収縮モルタルは、Fm = 30 N/mm2以上とする。

記号	長さ [mm]	面積 [m2]
3	サッシ側面 H 1950 × D 70	0.1365
4	サッシ上端 W 5270 × D 40	0.2108
6	サッシ側面 H 1950 × D 40	0.0780
計		0.43

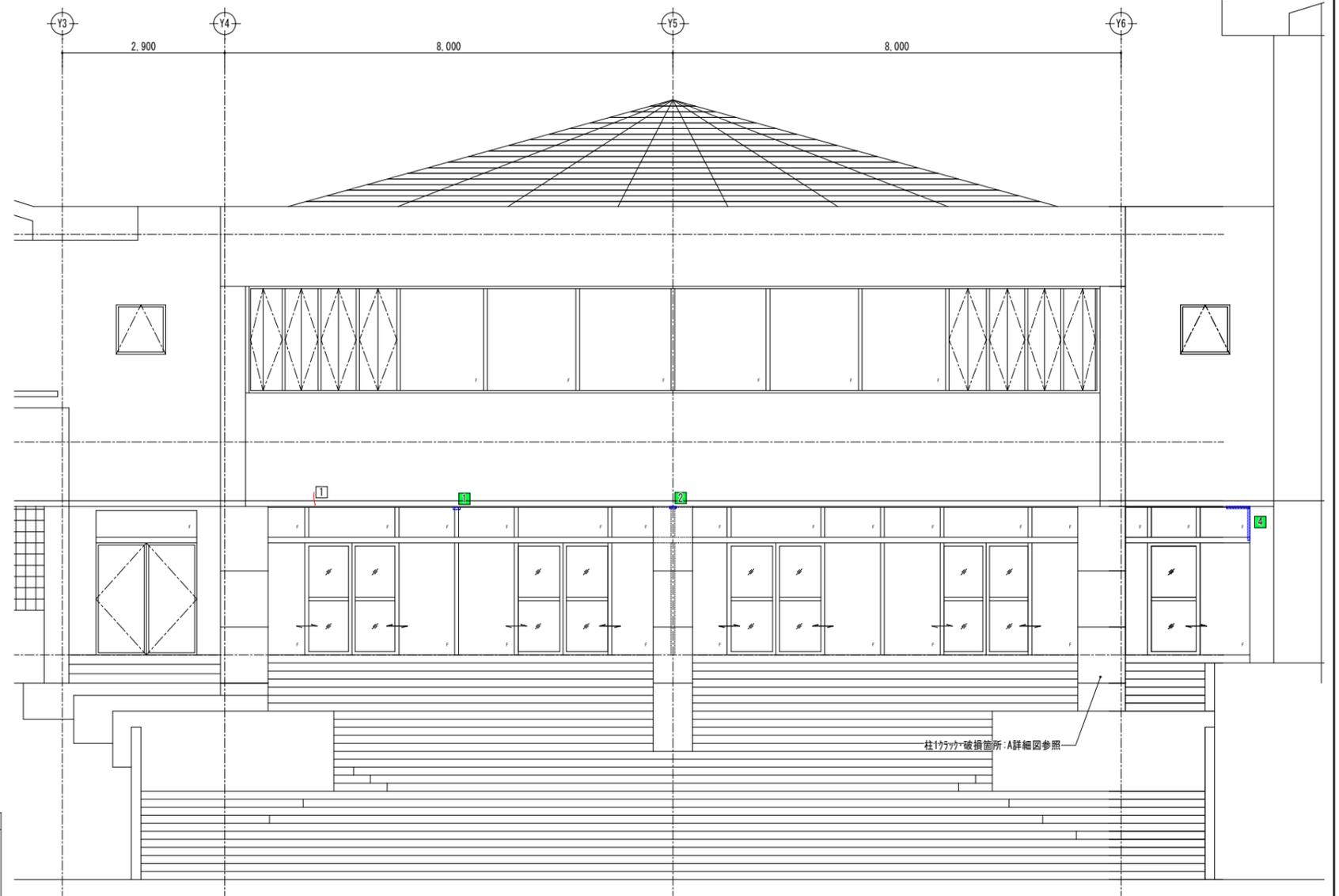
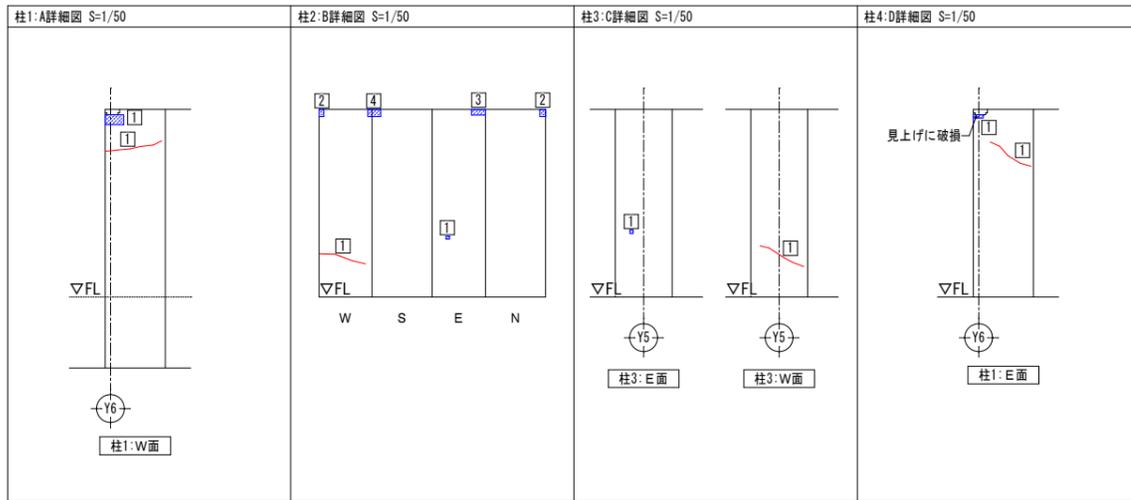
記号	長さ [mm]	面積 [m2]
2	サッシ上端 W 740 × D 60	0.0444
3	サッシ側面 H 190 × D 80	0.0152
5	サッシ側面 H 190 × D 50	0.0095
6	サッシ側面 H 430 × D 100	0.0430
9	サッシ上端 W 1180 × D 40	0.0472
計		0.16

記号	長さ [mm]	面積 [m2]
10	サッシ上端 W 300 × D 80	0.0240
2	サッシ側面 H 330 × D 80	0.0264
3	サッシ上端 W 340 × D 80	0.0272
6	サッシ側面 H 200 × D 80	0.0160
計		0.09
総合計		0.68

- 凡例
- 1 クラックを示す。
 - 1 浮き・破損箇所を示す。
 - モルタル破損箇所を示す。
 - 建具廻り:破損部を示す。
- 復旧方法
- ①クラック0.2mm以上
 - ②モルタル注入の上、複層塗材E仕上
 - ③破損箇所
 - 浮き・破損部撤去後、モルタル注入の上、複層塗材E仕上
 - ④モルタル破損箇所
 - 既存モルタル破損箇所を撤去しモルタル新設とする。
 - ⑤建具廻り破損部
 - 破損箇所撤去、モルタル注入の上、複層塗材E仕上。(A-63図参照)
 - ※複層塗材E仕上はクラックより両幅100mmとする。



アプローチ階段柱:平面キアラシ S=1/100



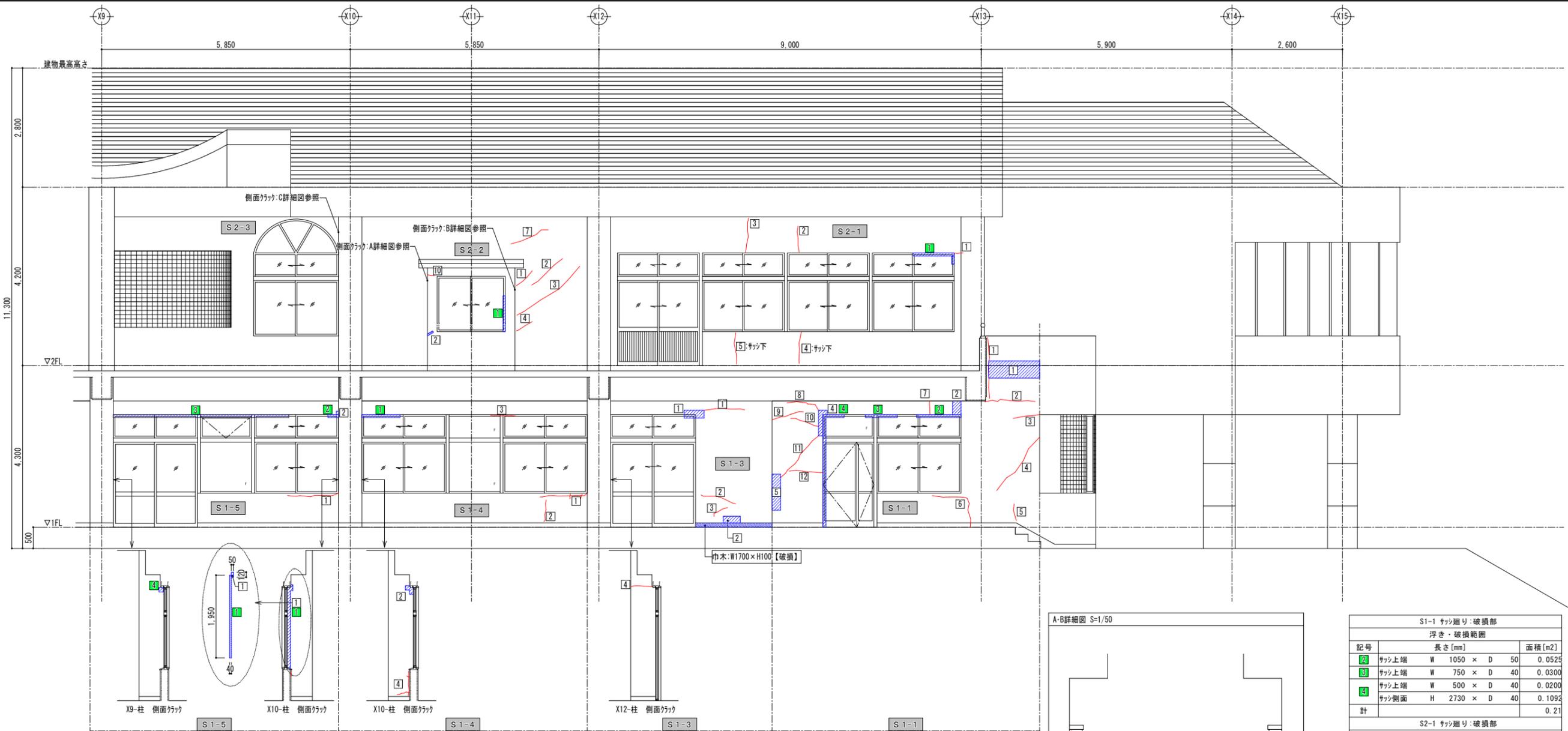
柱1 クラック・破損リスト			柱2 クラック・破損リスト			柱3 クラック・破損リスト			柱4 クラック・破損リスト		
記号	長さ [mm]	面積 [m ²]	記号	長さ [mm]	面積 [m ²]	記号	長さ [mm]	面積 [m ²]	記号	長さ [mm]	面積 [m ²]
1	700	0.0364	1	660	0.0020	1	660	0.0030	2	550	0.0060
計	700	0.04	計	660	0.06	計	660	0.003	計	550	0.006

昇降口 サツ廻り:破損部		
記号	長さ [mm]	面積 [m ²]
1	W 260 × H 140	0.0364
2	W 120 × D 50	0.0060
3	W 120 × H 140	0.0280
4	W 420 × D 90	0.0378
計		0.101

昇降口 サツ廻り:破損部		
記号	長さ [mm]	面積 [m ²]
1	W 260 × H 140	0.0364
2	W 120 × D 50	0.0060
3	W 120 × H 140	0.0280
4	W 420 × D 90	0.0378
計		0.101

- 凡例
- ① クラックを示す。
 - ② 浮き・破損箇所を示す。
 - ③ 建具廻り:破損部を示す。

復旧方法	
①	クラック0.2mm以上 E* 杉樹脂注入の上、複層塗材E仕上
②	破損箇所 浮き・破損部撤去後、E* 杉樹脂を充填の上、複層塗材E仕上
③	建具廻り破損部 破損箇所撤去、E* 杉樹脂を充填の上、E仕上り充填。(A-63図参照)
④	※複層塗材E仕上はクラックより両幅100mmとする。



S1-5 クラック・破損リスト			
クラック	長さ [mm]	記号	浮き・破損範囲
[1]	L 770	[1]	サッシ上部 W 50 × H 120
		[2]	サッシ上部 W 50 × D 80
計	770		面積 [m2] 0.01

S2-3 クラック・破損リスト			
クラック	長さ [mm]	記号	浮き・破損範囲
[1]	L 1,500		
計	1,500		面積 [m2] 0.01

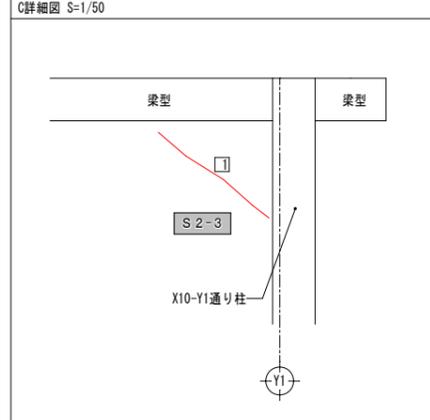
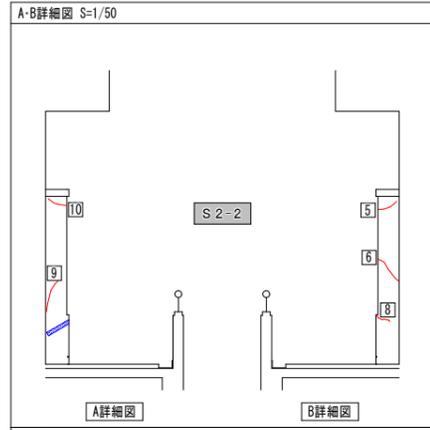
S1-4 クラック・破損リスト			
クラック	長さ [mm]	記号	浮き・破損範囲
[1]	L1 800	[2]	W 100 × H 50
	L2 130		
	L3 130		
[2]	L 450		
[3]	Lサッシ上端 210		
	L1 700		
	L2 400		
	L3 120		
計	2,940		面積 [m2] 0.008

S1-3 クラック・破損リスト			
クラック	長さ [mm]	記号	浮き・破損範囲
[1]	L 800	[1]	W 470 × H 180
	L 700	[2]	W 400 × H 160
	L 450		
	L 450		
計	2,400		面積 [m2] 0.15

S1-3 モルタル破損部		
破損範囲	長さ [mm]	面積 [m2]
外巾木	W 1700 × H 100	0.1700
計		0.1700

S1-1 クラック・破損リスト			
クラック	長さ [mm]	記号	浮き・破損範囲
[1]	L 1,500	[1]	W 1200 × H 400
	L 1,300	[2]	W 200 × H 300
	L 700		サッシ上部 W 200 × H 100
	L 1,600	[4]	サッシ横 W 100 × H 500
	L 200	[5]	W 200 × H 850
	L 850		
	L 300		
	L 800		
	L 750		
	L 450		
	L 1,200		
	L 800		
計	10,450		面積 [m2] 0.78

S2-1 クラック・破損リスト			
クラック	長さ [mm]	記号	浮き・破損範囲
[1]	L 180		
	L 550		
	L 710		
	L 700		
	L 700		
計	2,840		面積 [m2] 0.26



S1-1 サッシ廻り:破損部			
記号	長さ [mm]	面積 [m2]	浮き・破損範囲
[2]	サッシ上端 W 1050 × D 50	0.0525	
[3]	サッシ上端 W 750 × D 40	0.0300	
[4]	サッシ上端 W 500 × D 40	0.0200	
	サッシ側面 H 2730 × D 40	0.1092	
計		0.21	

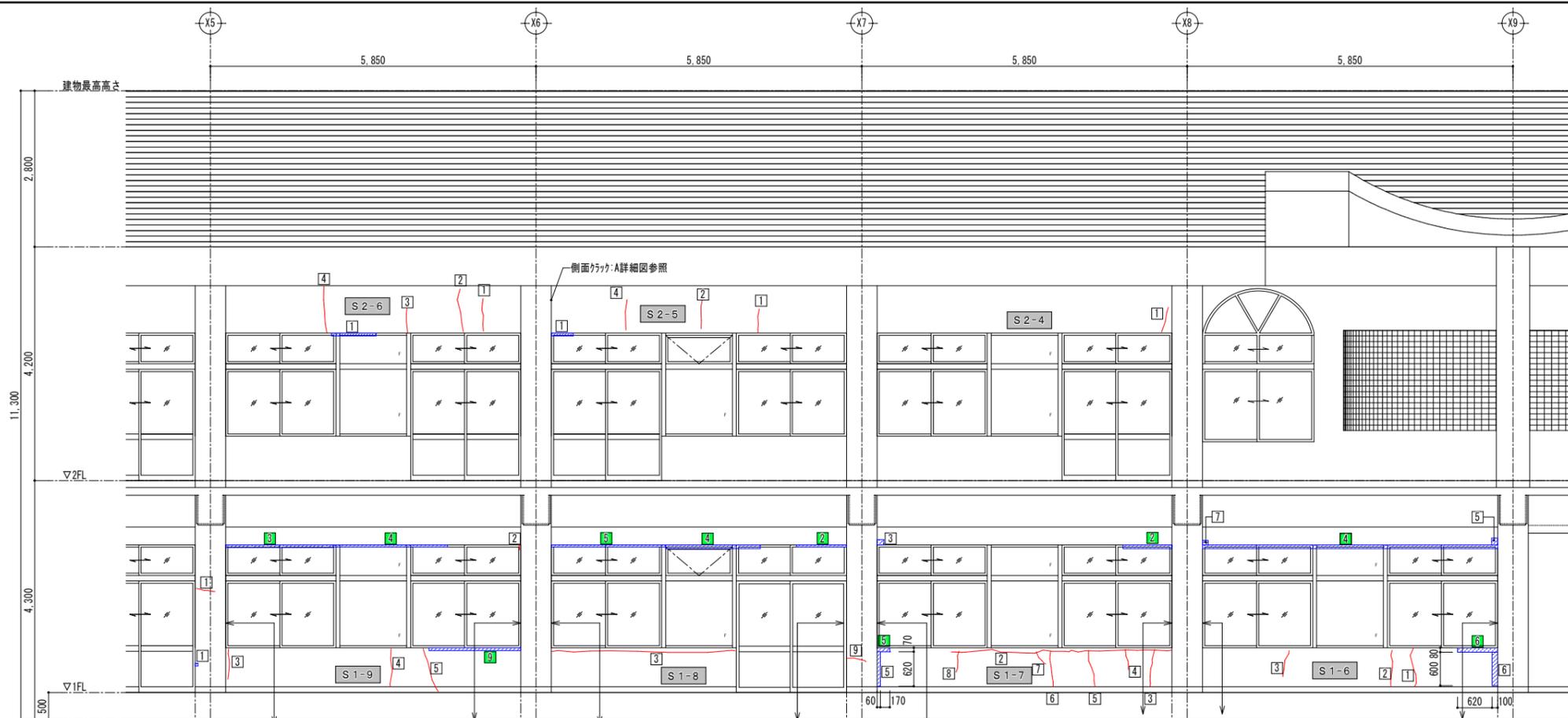
S2-1 サッシ廻り:破損部			
記号	長さ [mm]	面積 [m2]	浮き・破損範囲
[1]	サッシ上端 W 960 × D 70	0.0672	
	サッシ側面 H 190 × D 60	0.0114	
計		0.08	

S1-4 サッシ廻り:破損部			
記号	長さ [mm]	面積 [m2]	浮き・破損範囲
[1]	サッシ上端 W 900 × D 80	0.0720	
計		0.07	

S2-2 サッシ廻り:破損部			
記号	長さ [mm]	面積 [m2]	浮き・破損範囲
[1]	サッシ側面 H 840 × D 50	0.0420	
計		0.04	

S1-5 サッシ廻り:破損部			
記号	長さ [mm]	面積 [m2]	浮き・破損範囲
[1]	サッシ側面 H 1950 × D 40	0.0780	
[2]	サッシ上端 W 250 × D 40	0.0100	
[3]	サッシ上端 W 4130 × D 40	0.1652	
[4]	サッシ側面 H 100 × D 100	0.0100	
計		0.26	
総合計		0.66	

- 凡例
- [1] クラックを示す。
 - [2] 浮き・破損箇所を示す。
 - [3] モルタル破損箇所を示す。
 - [4] 建具廻り破損箇所を示す。
- | 復旧方法 | |
|------|--------------------------------|
| ① | クラック0.2mm以上 |
| ② | モルタル樹脂注入の上、複数層塗材E仕上 |
| ③ | 破損箇所 |
| | 浮き・破損部撤去後、モルタル樹脂を充填の上、複数層塗材E仕上 |
| ④ | モルタル破損箇所 |
| | 既存モルタル破損箇所を撤去しモルタル新設とする。 |
| ⑤ | 建具廻り破損部 |
| | 破損箇所撤去、モルタル樹脂を充填の上、複数層塗材E仕上。 |
| | (A-63図参照) |
| | ※複数層塗材E仕上はクラックより両端100mmとする。 |



窓枠	長さ [mm]	浮き・破損範囲	面積 [m2]
1	L 300	W 50 × H 50	0.0025
2	L 180	W 90 × H 170	0.0153
3	L 380	寸法参照	0.0240
4	L 700	W 50 × H 50	0.0025
5	L 800	W 50 × H 700	0.0350
6	L 230		
計	2,590	計	0.08

窓枠	長さ [mm]	浮き・破損範囲	面積 [m2]
1	L 410		
2	L 700		
3	L 310		
4	L 780		
計	2,200	計	0.00

窓枠	長さ [mm]	浮き・破損範囲	面積 [m2]
総合計	20,770	総合計	0.38

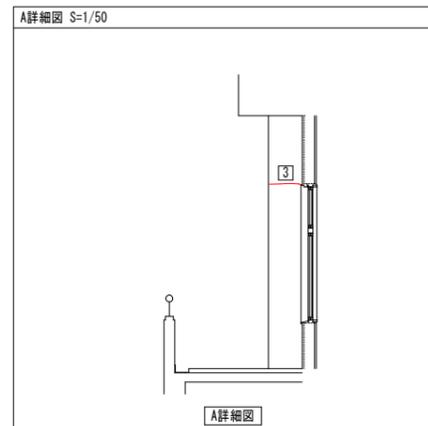
窓枠	長さ [mm]	浮き・破損範囲	面積 [m2]
1	L 490	W 150 × H 400	0.0670
2	L 490	W 100 × D 70	0.0070
3	L 3,160		
計	4,140	計	0.07

窓枠	長さ [mm]	浮き・破損範囲	面積 [m2]
1	L 400		
2	L 500		
3	L 420		
4	L 730		
計	2,050	計	0.00

窓枠	長さ [mm]	浮き・破損範囲	面積 [m2]
1	L 370	W 120 × H 90	0.0108
2	L 3,740	W 100 × H 180	0.0180
3	L 690	W 60 × H 620	0.0372
4	L 410		
5	L 690		
6	L 650		
7	L 230		
8	L 380		
9	L 260		
計	7,420	計	0.07

窓枠	長さ [mm]	浮き・破損範囲	面積 [m2]
1	L 510		
計	510	計	0.00

窓枠	長さ [mm]	浮き・破損範囲	面積 [m2]
1	L 690	W 100 × H 120	0.0120
2	L 690	W 80 × H 700	0.0560
3	L 480	W 110 × H 120	0.0132
4	L 480	W 100 × H 600	0.0600
5	L 480	W 100 × H 80	0.0080
6	L 480	W 60 × H 150	0.0090
計	1,860	計	0.16



記号	長さ [mm]	面積 [m2]
1	窓枠側面 H 160 × D 170	0.0272
2	窓枠側面 H 770 × D 50	0.0385
3	窓枠上端 W 5206 × D 40	0.2082
4	窓枠下端 W 720 × H 80	0.0576
5	窓枠側面 H 1950 × D 70	0.1365
計		0.47

記号	長さ [mm]	面積 [m2]
1	窓枠側面 H 200 × D 100	0.0200
2	窓枠上端 W 880 × D 70	0.0616
3	窓枠側面 H 1950 × D 70	0.1365
4	窓枠下端 W 230 × H 70	0.0161
計		0.23

記号	長さ [mm]	面積 [m2]
1	窓枠上端 W 900 × D 70	0.0630
2	窓枠側面 H 770 × D 70	0.0539
3	窓枠上端 W 1700 × D 40	0.0680
4	窓枠上端 W 2050 × D 40	0.0820
5	窓枠側面 H 580 × D 70	0.0406
計		0.31

記号	長さ [mm]	面積 [m2]
1	窓枠側面 H 1950 × D 70	0.1365
2	窓枠上端 W 1930 × D 50	0.0965
3	窓枠上端 W 2050 × D 40	0.0820
4	窓枠側面 H 150 × D 100	0.0150
5	窓枠下端 W 1650 × H 50	0.0825
計		0.41

記号	長さ [mm]	面積 [m2]
1	窓枠上端 W 390 × D 50	0.0195
計		0.02

記号	長さ [mm]	面積 [m2]
1	窓枠上端 W 800 × D 50	0.0400
計		0.04
総合計		1.48

凡例

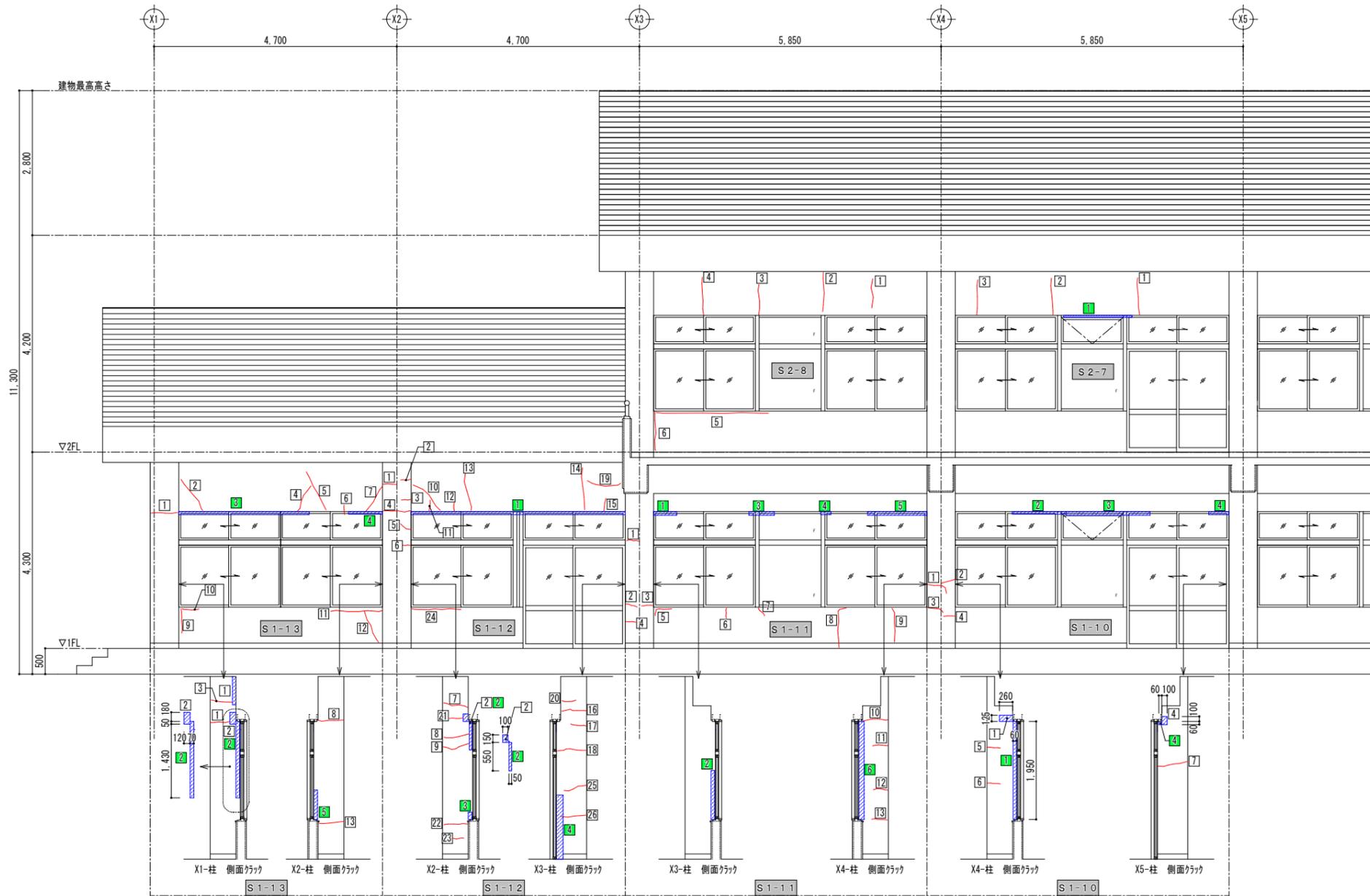
1 窓枠を示す。

2 浮き・破損箇所を示す。

3 建具廻り: 破損部を示す。

復旧方法

- ①窓枠0.2mm以上
- ②Eポスター樹脂注入の上、複層塗材E仕上
- ③破損箇所
- ④浮き・破損部撤去後、Eポスター樹脂を充填の上、複層塗材E仕上
- ⑤建具廻り破損部
- ⑥破損箇所撤去、Eポスター樹脂を充填の上、E仕上(参照)
- ※複層塗材E仕上は窓枠より両端100mmとする。



クラック		浮き・破損範囲		面積[m2]
記号	長さ[mm]	記号	長さ[mm]	
1	L 900	1	W 70 × H 550	0.0390
2	L 500	2	W 120 × H 230	0.0276
3	L 330			
4	L 500			
5	L 780			
6	L 170			
7	L 400			
8	L 350			
9	L 450			
10	L 350			
11	L 930			
12	L 730			
13	L 380			
計	6,770	計		0.07

クラック	浮き・破損範囲	面積[m2]
総合計	28,980(総合計)	0.16

クラック		浮き・破損範囲		面積[m2]
記号	長さ[mm]	記号	長さ[mm]	
1	L 300	2	W 100 × H 150	0.0150
2	L 200			
3	L 190			
4	L 600			
5	L 200			
6	L 110			
7	L 380			
8	L 480			
9	L 400			
10	L 660			
11	L 210			
12	L 120			
13	L 500			
14	L 640			
15	L 160			
16	L 380			
17	L 300			
18	L 470			
19	L 550			
20	L 300			
21	L 280			
22	L 380			
23	L 110			
24	L 770			
25	L 360			
26	L 400			
計	9,450	計		0.02

クラック	浮き・破損範囲	面積[m2]
総合計	9,450(総合計)	0.02

クラック		浮き・破損範囲		面積[m2]
記号	長さ[mm]	記号	長さ[mm]	
1	L 250			
2	L 250			
3	L 270			
4	L 260			
5	L 200			
6	L 160			
7	L 130			
8	L 800			
9	L 700			
10	L 410			
11	L 240			
12	L 240			
13	L 240			
計	4,150	計		0.00

クラック		浮き・破損範囲		面積[m2]
記号	長さ[mm]	記号	長さ[mm]	
1	L 400			
2	L 700			
3	L 530			
4	L 610			
5	L 2,000			
6	L 700			
計	4,940	計		0.00

クラック		浮き・破損範囲		面積[m2]
記号	長さ[mm]	記号	長さ[mm]	
1	L 330	1	W 260 × H 200	0.0520
2	L 320	4	W 100 × H 160	0.0160
3	L 280			
4	L 240			
5	L 240			
6	L 240			
7	L 460			
計	1,870	計		0.07

クラック		浮き・破損範囲		面積[m2]
記号	長さ[mm]	記号	長さ[mm]	
1	L 600			
2	L 600			
3	L 600			
計	1,800	計		0.00

浮き・破損範囲		
記号	長さ[mm]	面積[m2]
1	サッシ側面 H 1950 × D 60	0.1170
2	サッシ上端 W 1050 × D 50	0.0525
3	サッシ上端 W 1620 × D 60	0.0972
4	サッシ上端 W 380 × D 50	0.0190
5	サッシ側面 H 60 × D 60	0.0036
計		0.29

浮き・破損範囲		
記号	長さ[mm]	面積[m2]
1	サッシ上端 W 450 × D 40	0.0180
2	サッシ側面 H 950 × D 80	0.0760
3	サッシ上端 W 490 × D 60	0.0294
4	サッシ上端 W 200 × D 60	0.0120
5	サッシ上端 W 1150 × D 70	0.0805
6	サッシ側面 H 1940 × D 100	0.1940
計		0.41

浮き・破損範囲		
記号	長さ[mm]	面積[m2]
1	サッシ上端 W 4050 × D 50	0.2025
2	サッシ側面 H 550 × D 50	0.0275
3	サッシ側面 H 140 × D 70	0.0098
4	サッシ側面 H 1240 × D 110	0.1364
計		0.38

浮き・破損範囲		
記号	長さ[mm]	面積[m2]
1	サッシ側面 H 1480 × D 70	0.1036
2	サッシ上端 W 2530 × D 60	0.1518
3	サッシ上端 W 660 × D 50	0.0330
4	サッシ側面 H 570 × D 80	0.0456
計		0.33

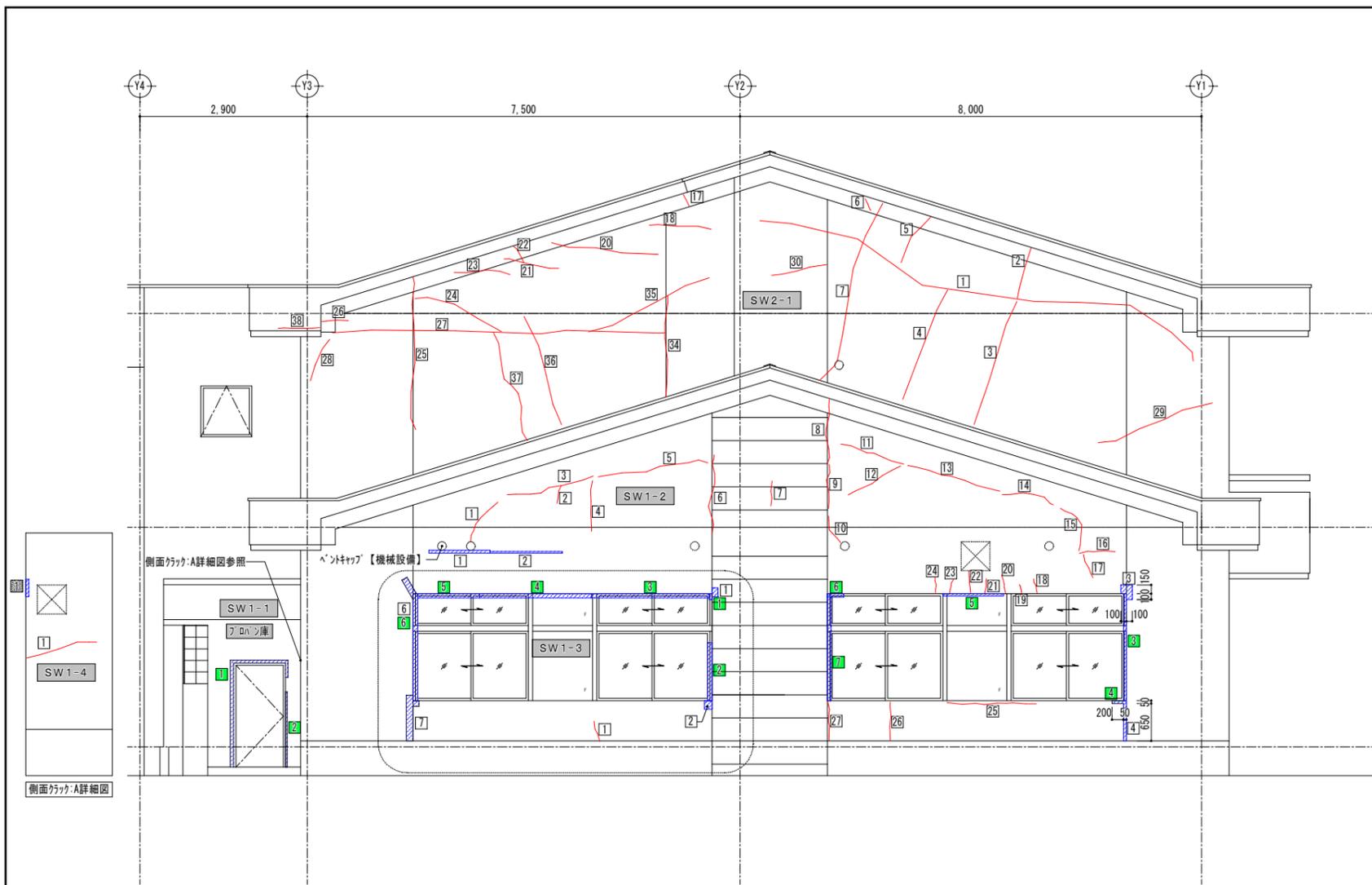
浮き・破損範囲		
記号	長さ[mm]	面積[m2]
1	サッシ側面 H 1320 × D 50	0.0660
計		0.07
総合計		1.48

凡例

- ① クラックを示す。
- ② 浮き・破損箇所を示す。
- ③ 建具廻り・破損部を示す。

復旧方法

- ①クラック0.2mm以上
Eポキシ樹脂注入の上、複層塗材E仕上
 - ②破損箇所
浮き・破損部撤去後、Eポキシ樹脂モルタルを充填の上、複層塗材E仕上
 - ③建具廻り破損部
破損箇所撤去、Eポキシ樹脂モルタル重ね塗り充填。(A-63図参照)
- ※複層塗材E仕上はクラックより両幅100mmとする。



SW1-3 窓枠・破損リスト			
窓枠	長さ [mm]	浮き・破損範囲	面積 [m ²]
記号	長さ [mm]	記号	長さ [mm]
1	L 270	1	サッシ上部 W 100 × H 150
		2	W 130 × H 150
		6	サッシ上部 W 100 × H 300
		7	寸法は詳細図参照
計	270	計	0.17

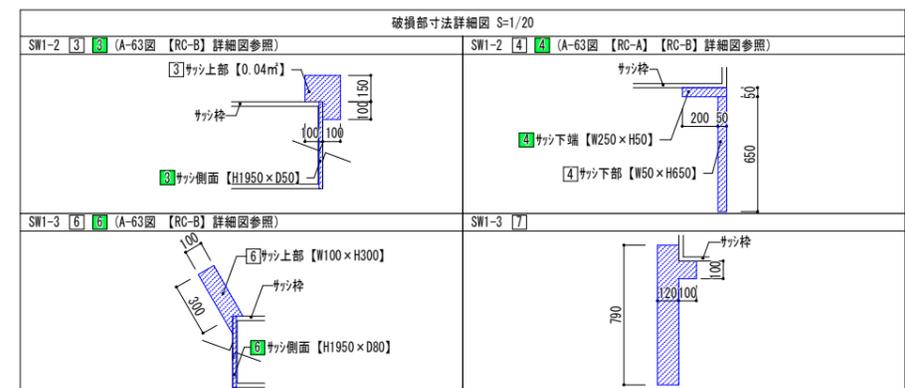
SW1-2 窓枠・破損リスト			
窓枠	長さ [mm]	浮き・破損範囲	面積 [m ²]
記号	長さ [mm]	記号	長さ [mm]
1	L 810	1	W 1060 × H 50
2	L 480	2	W 1250 × H 30
3	L 1,170	3	サッシ上部 寸法は詳細図参照
4	L 1,080	4	W 50 × H 650
5	L 1,700		
6	L 1,300		
7	L 400		
8	L 1,120		
9	L 1,010		
10	L 570		
11	L 800		
12	L 810		
13	L 1,870		
14	L 800		
15	L 1,360		
16	L 820		
17	L 600		
18	L 250		
19	L 60		
20	L 360		
21	L 300		
22	L 430		
23	L 220		
24	L 240		
25	L 2,020		
26	L 700		
27	L 730		
計	22,010	計	0.16

SW2-1 窓枠・破損リスト			
窓枠	長さ [mm]	浮き・破損範囲	面積 [m ²]
記号	長さ [mm]	記号	長さ [mm]
1	L 7,600		
2	L 910		
3	L 1,900		
4	L 1,820		
5	L 910		
6	L 230		
7	L 2,730		
8	L 270		
9	L 820		
10	L 1,600		
11	L 840		
12	L 200		
13	L 740		
14	L 1,600		
15	L 3,000		
16	L 560		
17	L 6,220		
18	L 1,150		
19	L 1,900		
20	L 910		
21	L 1,450		
22	L 2,000		
23	L 1,740		
24	L 1,700		
25	L 600		
計	43,400	計	0.00

SW1-3 サッシ廻り:破損部		
記号	長さ [mm]	面積 [m ²]
1	サッシ側面 H 100 × D 40	0.0040
2	サッシ側面 H 1000 × D 90	0.0900
3	サッシ上端 W 2040 × D 70	0.1428
4	サッシ上端 W 2000 × D 70	0.1400
5	サッシ上端 W 1150 × D 70	0.0805
6	サッシ側面 H 1950 × D 80	0.1560
計		0.61

SW1-2 サッシ廻り:破損部		
記号	長さ [mm]	面積 [m ²]
3	サッシ側面 H 1950 × D 50	0.0975
4	サッシ下端 W 250 × H 50	0.0125
5	サッシ上端 W 1050 × D 40	0.0420
6	サッシ上端 W 280 × D 60	0.0168
7	サッシ側面 H 1950 × D 60	0.1170
計		0.29

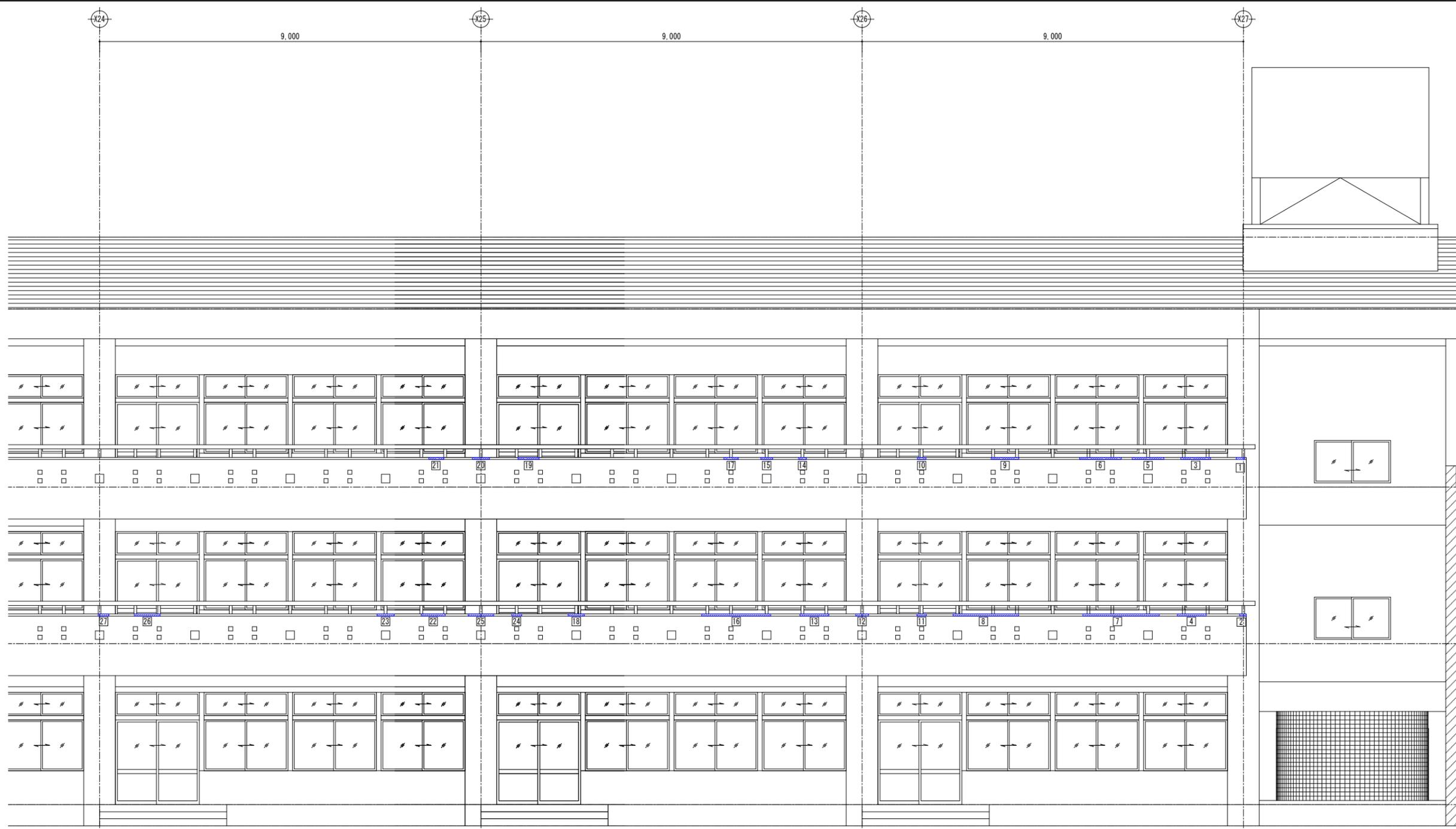
SW1-1 (アパハン庫外壁) サッシ廻り:破損部		
記号	長さ [mm]	面積 [m ²]
1	サッシ側面 H 1730 × W 60	0.1038
2	サッシ上端 W 1050 × H 50	0.0525
3	サッシ側面 H 200 × W 50	0.0100
4	サッシ側面 H 1300 × W 50	0.0650
計		0.23



- 凡例
- ① 窓枠: 2mm以上
 - ② 破損箇所
 - ③ 破損箇所撤去、E* 樹脂注入の上、復層塗材E仕上
 - ④ 建具廻り破損部
 - ⑤ 破損箇所撤去、E* 樹脂注入の上、復層塗材E仕上 (A-63図参照)
 - ※ 復層塗材E仕上は窓枠より両幅100mmとする。

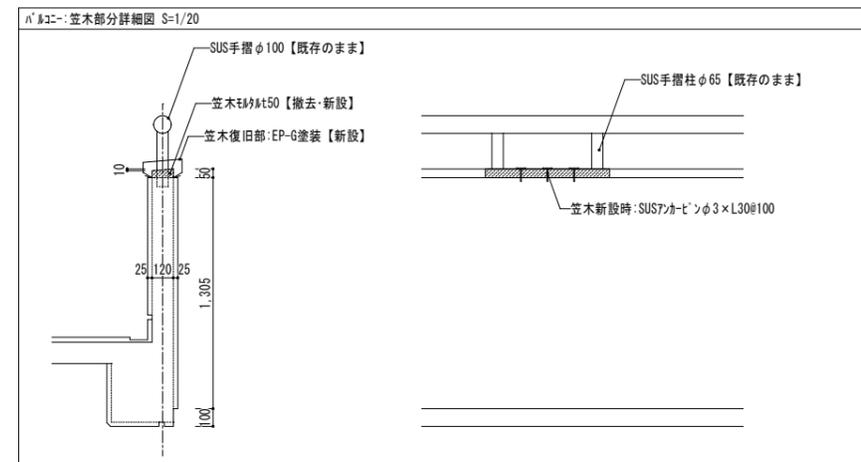
令和3年2月13日
福島県沖地震による向洋中学校校舎等災害復旧工事 設計図

図面名	南校舎棟 西面外壁調査図(2)	図面種別	A
縮尺	S=1:50 (A3版 50%縮小)	図面番号	20



笠木材撤去新設範囲				
記号	W×D×H[m]			面積[m3]
1	W 200 × D 120 × H 50			0.00120
2	W 160 × D 120 × H 50			0.00096
3	W 700 × D 120 × H 50			0.00420
4	W 680 × D 120 × H 50			0.00408
5	W 740 × D 120 × H 50			0.00444
6	W 980 × D 120 × H 50			0.00588
7	W 1800 × D 120 × H 50			0.01080
8	W 1540 × D 120 × H 50			0.00924
9	W 650 × D 120 × H 50			0.00390
10	W 200 × D 120 × H 50			0.00120
11	W 220 × D 120 × H 50			0.00132
12	W 300 × D 120 × H 50			0.00180
13	W 680 × D 120 × H 50			0.00408

14	W 180 × D 120 × H 50			0.00108
15	W 280 × D 120 × H 50			0.00168
16	W 1630 × D 120 × H 50			0.00978
17	W 340 × D 120 × H 50			0.00204
18	W 380 × D 120 × H 50			0.00228
19	W 500 × D 120 × H 50			0.00300
20	W 400 × D 120 × H 50			0.00240
21	W 350 × D 120 × H 50			0.00210
22	W 560 × D 120 × H 50			0.00336
23	W 400 × D 120 × H 50			0.00240
24	W 230 × D 120 × H 50			0.00138
25	W 600 × D 120 × H 50			0.00360
26	W 610 × D 120 × H 50			0.00366
27	W 250 × D 120 × H 50			0.00150
計				0.09



凡例

浮き・破損箇所を示す。

復旧方法

①笠木材
指定範囲を撤去・新設とする
笠木新設時、スルスアカビンを使用する。

②階-1
破損箇所を球状樹脂材充填の上、複層塗材E

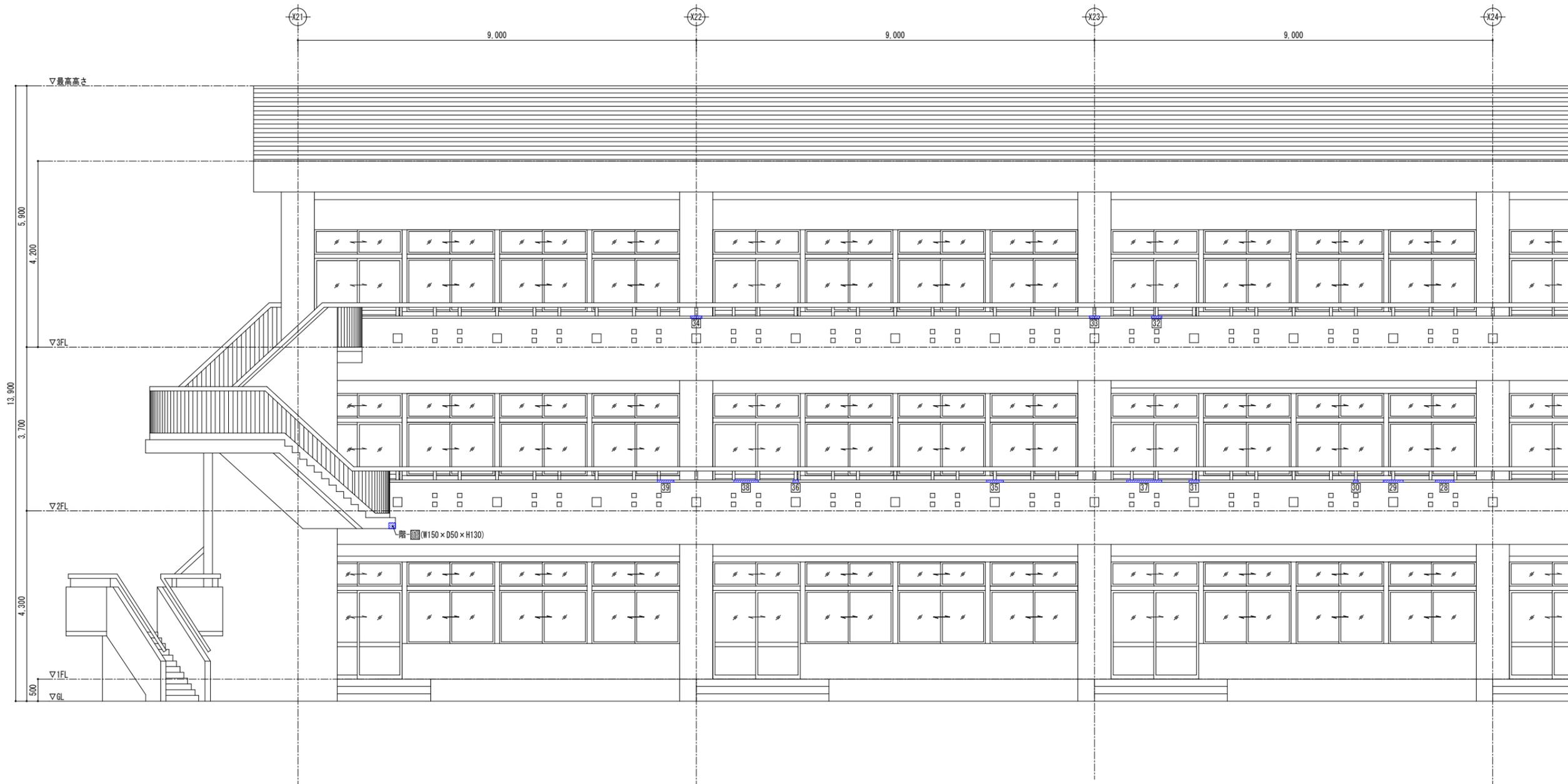
令和3年2月13日
福島県沖地震による向洋中学校校舎等災害復旧工事 設計図

図面名 北校舎棟
北校舎棟バルコニー調査図(1)

縮尺 S=1:20.50(A3版 50%縮小)

図面種別 A

図面番号 21



笠木取外し 撤去新設範囲				
記号	W	D × H [m]	面積 [m ²]	
28	420 × D	120 × H	50	0.00252
29	450 × D	120 × H	50	0.0027
30	100 × D	120 × H	50	0.0006
31	230 × D	120 × H	50	0.00138
32	230 × D	120 × H	50	0.00138
33	230 × D	120 × H	50	0.00138
34	260 × D	120 × H	50	0.00156
35	380 × D	120 × H	50	0.00228
36	120 × D	120 × H	50	0.00072
37	790 × D	120 × H	50	0.00474
38	550 × D	120 × H	50	0.0033
39	370 × D	120 × H	50	0.00222
計				0.02

凡例

☐ 浮き・破損箇所を示す。

復旧方法

①笠木取外し
指定範囲を撤去・新設とする
笠木新設時、スルスルコーティングを使用とする。

②階-1

破損箇所を1球杉樹脂珪藻土充填の上、複層塗材E

浮き・損壊リスト					
棟名	南校舎棟				
階数	1階				
室名	アプローチ階段	室番号	1-44. 1-46		
仕上	コンクリートカラー平板 300×300×60				
浮き・損壊範囲					
記号	枚数[枚]	長さ[mm]	面積[m ²]	合計[m ²]	
[1]	5	W 380 × H 205	= 0.0790	0.301100	
		W 720 × H 620	= 0.22320		
[5]	8	W 510 × H 590	= 0.30090	0.562800	
		W 420 × H 485	= 0.20370		
		W 120 × H 485	= 0.05820		
計	13	計		0.863900	

ひび割れ・浮き・ずれリスト					
棟名	南校舎棟				
階数	1階				
室名	アプローチ階段	室番号	1-44. 1-46		
仕上	コンクリート平板階段ブロック W1200×D300×H150				
ひび割れブロック					
記号	長さ[mm]	合計[mm]	記号	長さ[mm]	合計[mm]
[6]	-1 L 300	2,210	[6]	L 1,220	12,250
[6]	-2 L 300		[6]	L 2,150	
[6]	-3 L 300		[6]	L 1,220	
[6]	-4 L 300		[6]	L 725	
[6]	-5 L 300		[6]	L 1,765	
[6]	-6 L 110		[6]	L 725	
[6]	-7 L 600		[6]	L 1,220	
			[6]	L 2,065	
			[6]	L 1,160	
[7]	-1 L 450	930	[8]	L 1,400	2,900
[7]	-2 L 480		[8]	L 1,500	
			[9]	L 600	
			[9]	L 650	
			[9]	L 950	
			[9]	L 595	
			[9]	L 1,500	
			[9]	L 1,195	
[10]	-1 L 300	300			
[11]	-1 L 110				
[11]	-2 L 50				
[12]	-1 L 150	1,050	[12]	L 3,885	5,490
[12]	-2 L 600		[12]	L 4,190	
[12]	-3 L 300		[12]	L 3,285	
			[12]	L 3,290	
			[12]	L 1,800	
			[12]	L 1,800	
			[12]	L 1,800	
			[12]	L 1,800	
			[12]	L 1,800	
			[12]	L 1,530	
			[12]	L 3,200	
			[12]	L 3,500	
			[12]	L 3,800	
			[12]	L 2,730	
			[12]	L 4,400	
			[14]	L 3,640	
			[14]	L 2,430	
			[14]	L 1,220	
			[15]	L 1,220	
			[15]	L 1,220	
計		4,650	計		73,180

復旧方法					
①コンクリートカラー平板					
浮き・損壊箇所を取外し、再取付(据付モルタル共)					
②コンクリート平板階段ブロック(81箇所)					
ひび割れブロックを取外し、再取付(据付モルタル共)					
浮き・ずれブロックを取外し、再取付(据付モルタル共)					
③コンクリート平板ひび割れ部					
ゴムアスファルト系シール					

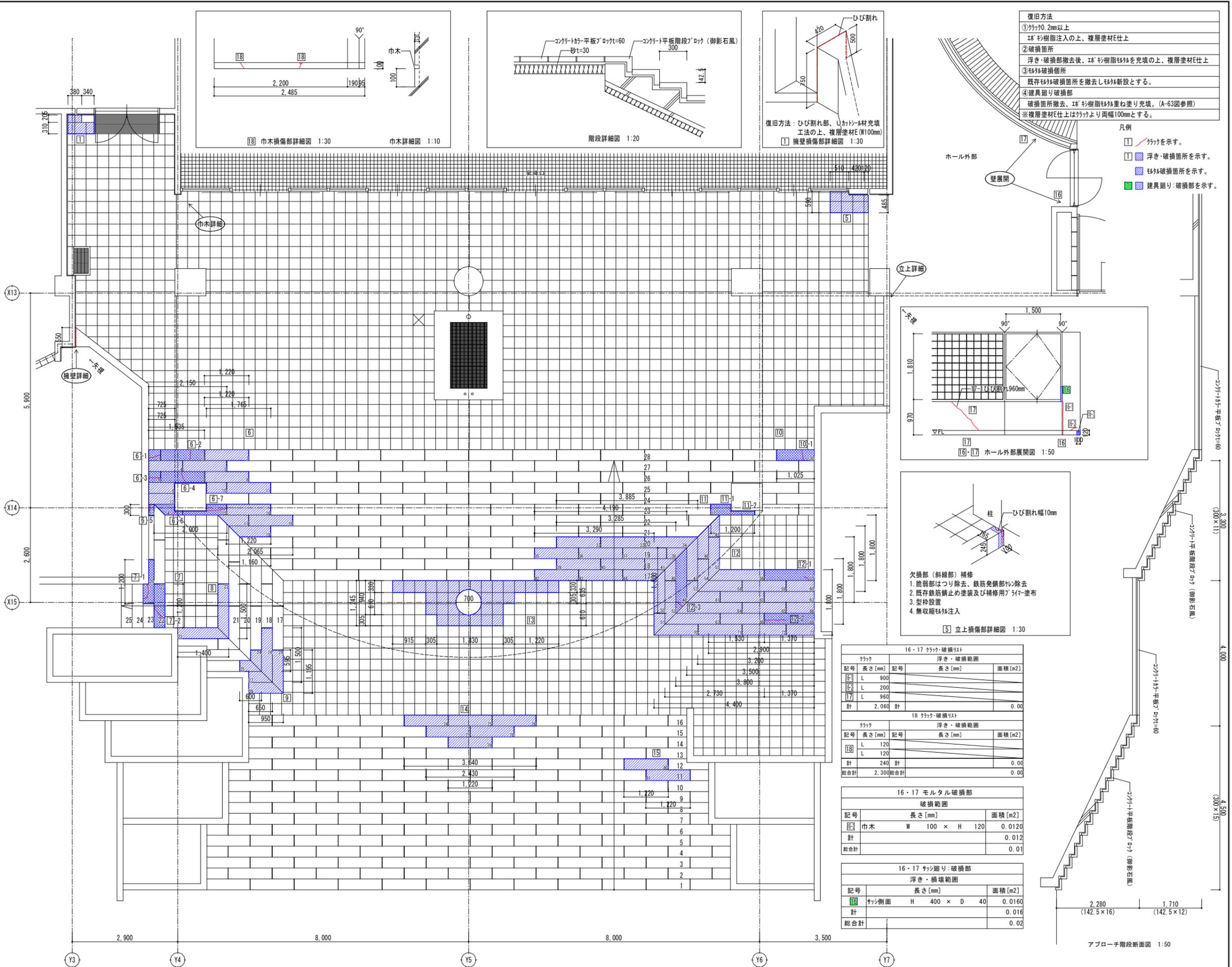
16・17 クラック・破損リスト					
クラック	記号	長さ[mm]	面積[m ²]		
[16]	L 900				
[17]	L 200				
[17]	L 960				
計	2,060	計		0.00	

18 クラック・破損リスト					
クラック	記号	長さ[mm]	面積[m ²]		
[18]	L 120				
[18]	L 120				
計	240	計		0.00	
総合計	2,300	総合計		0.00	

16・17 モルタル破損部		
記号	長さ[mm]	面積[m ²]
[13]	巾木 W 100 × H 120	0.0120
計		0.012
総合計		0.01

16・17 サツ廻り:破損部		
記号	長さ[mm]	面積[m ²]
[10]	サツ側面 H 400 × D 40	0.0160
計		0.016
総合計		0.02

- 凡例
- [1]-1/ひび割れを示す。
 - ひび割れブロックを示す。
 - [1] 浮き・ずれ箇所を示す。



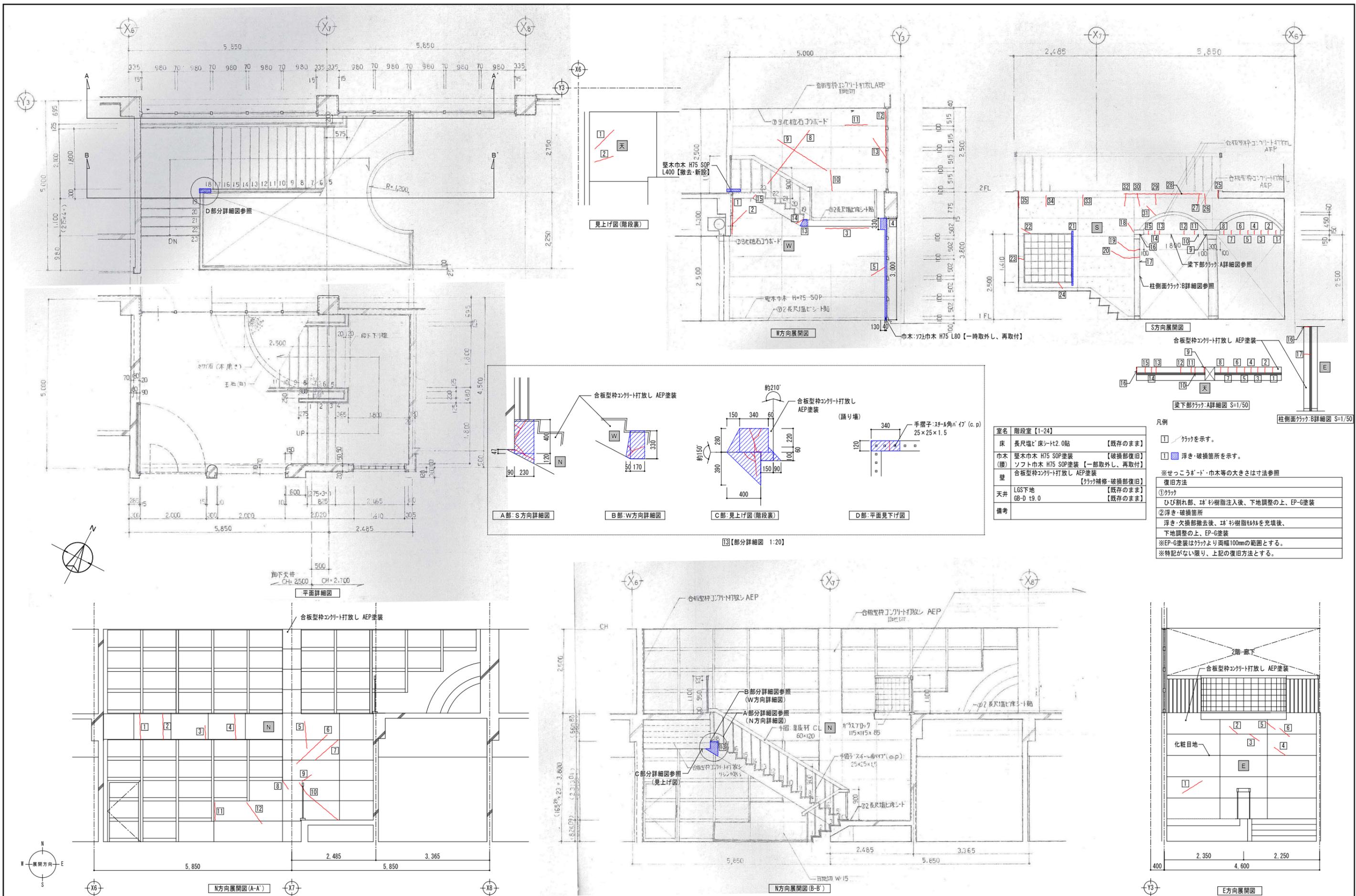
- 修復方法
- ①クラック0.2mm以上
Eポキシ樹脂注入の上、複層塗材E仕上
 - ②破損箇所
浮き・破損部撤去後、Eポキシ樹脂を充填の上、複層塗材E仕上
 - ③ひび割れ箇所
既存ひび割れ箇所を撤去し、Eポキシ樹脂を充填の上、複層塗材E仕上とする。
 - ④建具廻り破損部
破損箇所撤去、Eポキシ樹脂を充填の上、複層塗材E仕上とする。(A-63図参照)
※複層塗材E仕上はクラックより幅100mmとする。

- 凡例
- [1]-1/ひび割れを示す。
 - [1] 浮き・破損箇所を示す。
 - ひび割れ箇所を示す。
 - [1] 建具廻り・破損部を示す。

16・17 クラック・破損部			
クラック	記号	長さ[mm]	面積[m ²]
[16]	L 900		
[17]	L 200		
[17]	L 960		
計	2,060	計	0.00

16・17 モルタル破損部		
記号	長さ[mm]	面積[m ²]
[13]	巾木 W 100 × H 120	0.0120
計		0.012
総合計		0.01

16・17 サツ廻り:破損部		
記号	長さ[mm]	面積[m ²]
[10]	サツ側面 H 400 × D 40	0.0160
計		0.016
総合計		0.02



室名	階段室【1-24】
床	長尺塩ビ床シート2.0貼 【既存のまま】
巾木(腰)	堅木巾木 H75 SOP塗装 【破損部復旧】
壁	ソフト巾木 H75 SOP塗装 【一部取外し、再取付】
天井	合板型枠コンクリート打放し AEP塗装 【クワック補修・破損部復旧】
天井	LGS下地 【既存のまま】
備考	GB-D t9.0 【既存のまま】

凡例

①クワックを示す。

②浮き・破損箇所を示す。

※せっこうボード・巾木等の大きさは寸法参照

復旧方法
①クワック
ひび割れ部、珪矽樹脂注入後、下地調整の上、EP-G塗装
②浮き・破損箇所
浮き・欠損部撤去後、珪矽樹脂を充填後、下地調整の上、EP-G塗装
※EP-G塗装はクワックより両側100mmの範囲とする。
※特記がない限り、上記の復旧方法とする。

令和3年2月13日
福島県沖地震による向洋中学校校舎等災害復旧工事 設計図

図面名	南校舎棟 階段室復旧図(1)【1-24】	図面種類	A
縮尺	S=1:50(A3版 50%縮小)	図面番号	24

階段室 クラック・損壊リスト				壁面方位 S(南面)			壁面方位 N(北面)		
棟名	南棟			クラック			クラック		
階数	1階			記号	長さ[mm]	面積[m2]	記号	長さ[mm]	面積[m2]
室名	階段室			記号	長さ[mm]	面積[m2]	記号	長さ[mm]	面積[m2]
壁面方位	E(東面)			記号	長さ[mm]	面積[m2]	記号	長さ[mm]	面積[m2]
			室番号	1-24	1	L 220			
					2	L 210			
					3	L 220			
					4	L 230			
					5	L 220			
					6	L 220			
					7	L 210			
					8	L 220			
					9	L 180			
					10	L 60			
					11	L 220			
					12	L 220			
					13	L 260			
					14	L 270			
					15	L 330			
					16	L 200			
					17	L 730			
					18	L 120			
					19	L 300			
					20	L 200			
					21	W 40 × H 1,610 = 0.0644			
					22	L 250			
					23	L 150			
					24	L 150			
					25	L 230			
					26	L 550			
					27	L 800			
					28	L 2,280			
					29	L 660			
					30	L 420			
					31	L 440			
					32	L 570			
					33	L 370			
					34	L 450			
					35	L 720			
					小計	12,880			0.06
					1	L 950			
					2	L 350			
					3	L 680			
					4	L 800			
					5	L 250			
					6	L 400			
					小計	3,430			0
					1	L 1,070			
					2	L 600			
					3	L 1,900			
					4	W130 × H330 × W40 × H3000 = 0.1629			
					5	L 400			
					6	欠番			
					7	欠番			
					8	L 1,000			
					9	L 850			
					10	L 670			
					11	L 800			
					12	L 2,500			
					13	L 250			
					14(階段)	L 260			
					15(階段)	L 100			
					小計	10,400			0.16
					1	L 740			
					2	L 740			
					3	L 600			
					4	L 740			
					5	L 800			
					6	L 1,200			
					7	L 920			
					8	L 300			
					9	L 300			
					10	L 1,300			
					11	L 500			
					12	L 600			
					13(階段)	A部: 230 × 400 + 230 × 120 ÷ 2 + 90 × 47 ÷ 2 = 0.107915			
						B部: 170 × 330 + 50 × 330 ÷ 2 = 0.06435			
						C部: 400 × 390 ÷ 2 + 150 × 280 ÷ 2 + 340 × 280 + 60 × 60 ÷ 2 + 150 × 100 + 90 × 100 ÷ 2 = 0.2155			
						D部: 340 × 120 = 0.0408			
					小計	8,740			0.43
					壁面方位 天(階段見上げ方向)				
					クラック				
					記号	長さ[mm]	記号	長さ[mm]	面積[m2]
					1(階段)	L 460			
					2(階段)	L 600			
					小計	1,060			0
					合計	36,510			0.66

令和3年2月13日
福島県沖地震による向洋中学校校舎等災害復旧工事 設計図

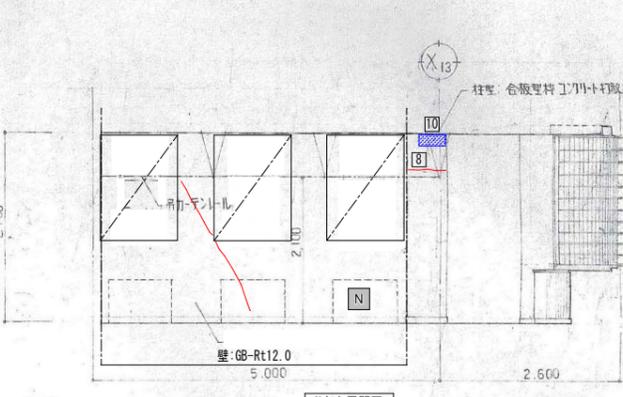
図面名 南校舎棟
階段室復旧図(2)【1-24】
縮尺 S=1:50(A3版 50%縮小)

図面種別 A
図面番号 25

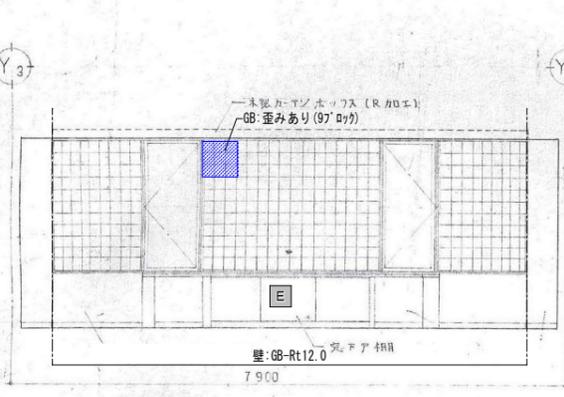
仕様	仕様	仕様	仕様
床	70-リソリウムフロア15.0直貼(特殊貼)PU3	床	70-リソリウムフロア15.0直貼(特殊貼)PU3
天井	LGS下地 GB-Rt19.0下地 岩綿吸音板t=12.0貼【既存のまま】	天井	LGS下地 GB-Rt19.0下地 岩綿吸音板t=12.0貼【既存のまま】
壁	合板型枠コンクリート打放し AEP塗装 【クラック補修・破損部復旧】 E・S面:ゾノイトGB-Rt12.0(GL工法) AEP塗装 【破損部復旧】	壁	合板型枠コンクリート打放し AEP塗装 【クラック補修・破損部復旧】 E・S面:ゾノイトGB-Rt12.0(GL工法) AEP塗装 【破損部復旧】
柱	合板型枠コンクリート打放し 【既存のまま】	柱	合板型枠コンクリート打放し 【既存のまま】
扉	70-リソリウムフロア15.0直貼(特殊貼)PU3	扉	70-リソリウムフロア15.0直貼(特殊貼)PU3
建具	70-リソリウムフロア15.0直貼(特殊貼)PU3	建具	70-リソリウムフロア15.0直貼(特殊貼)PU3

建具表

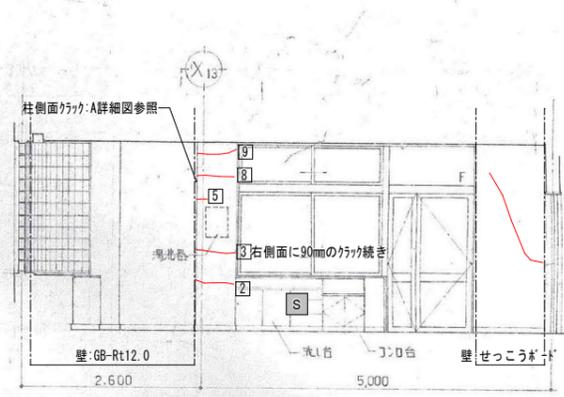
室名	保健室【1-1】
床	70-リソリウムフロア15.0直貼(特殊貼)PU3【既存のまま】
巾木(壁)	堅木巾木 H75 SOP塗装【既存のまま】
壁	合板型枠コンクリート打放し AEP塗装 【クラック補修・破損部復旧】 E・S面:ゾノイトGB-Rt12.0(GL工法) AEP塗装 【破損部復旧】
天井	LGS下地 GB-Rt19.0下地 岩綿吸音板t=12.0貼【既存のまま】
備考	70-リソリウムフロア15.0直貼(特殊貼)PU3 建具:枠共【撤去・新設】 ガラスフロア目地補修



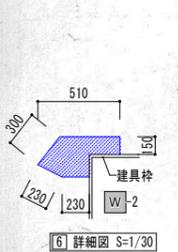
N方向展開図



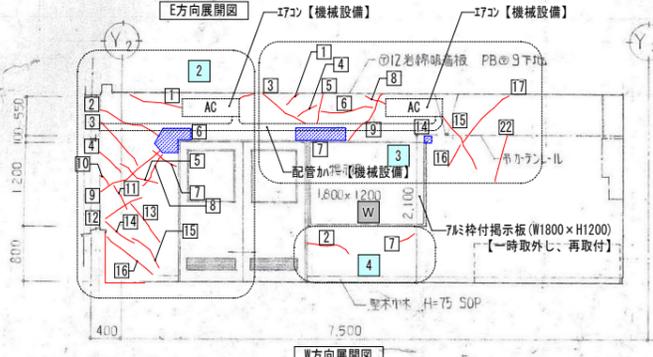
E方向展開図



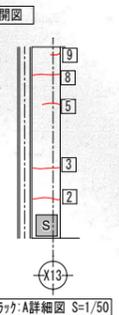
S方向展開図



W-2 詳細図 S=1/30



W方向展開図



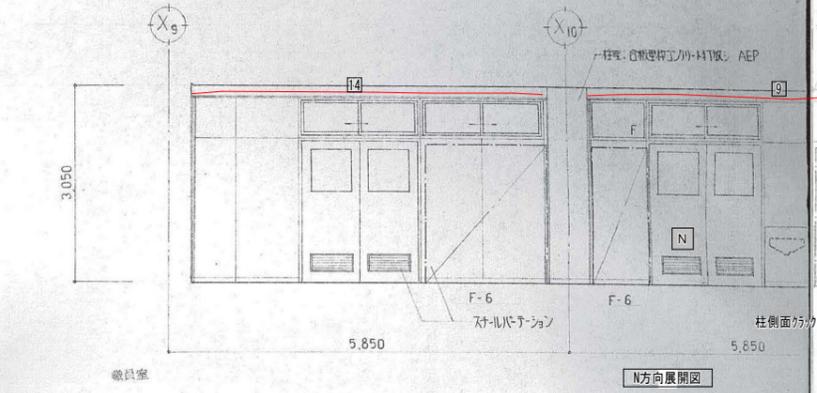
S方向展開図 S=1/50

クラック・破損リスト				
棟名 南校舎棟				
階数 1階				
室名 保健室 室番号 1-1				
壁面方位 N (北面)				
クラック		浮き・破損範囲		
記号	長さ(mm)	記号	長さ(mm)	面積[m2]
1		1		
2		2		
3		3		
4		4		
5		5		
6		6		
7		7		
8	L 590	8		
9		9		
10		10	W 370 x H 160	0.0592
計	590	計		0.06
壁面方位 S (南面)				
1		1		
2	L 990	2		
3	L 1,030	3		
4		4		
5	L 260	5		
6		6		
7		7		
8	L 960	8		
9	L 720	9		
計	3,960	計		
壁面方位 W-2 (西面)				
1	L 830	1		
2	L 880	2		
3	L 780	3		
4	L 380	4		
5	L 680	5		
6		6		
7	L 400	7		
8	L 400	8		
9	L 930	9		
10	L 100	10		
11	L 300	11		
12	L 550	12		
13	L 710	13		
14	L 360	14		
15	L 640	15		
16	L 1,030	16		
計	8,970	計		0.15

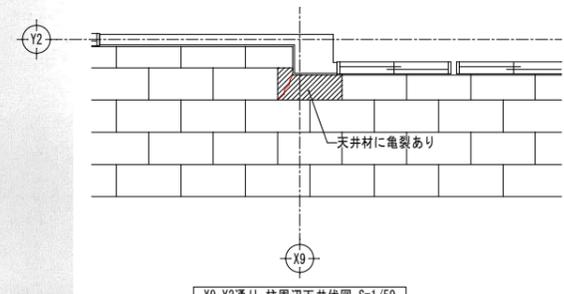
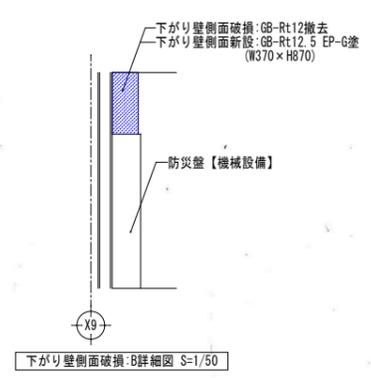
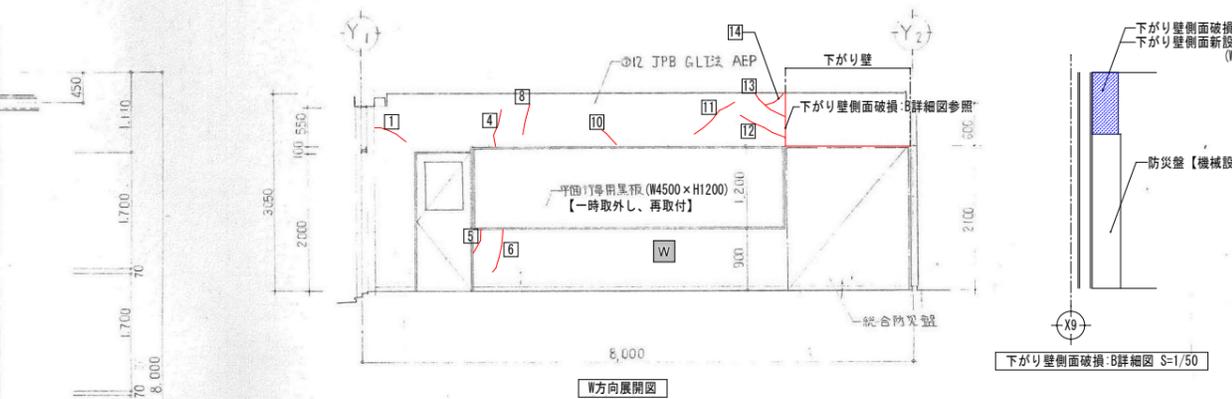
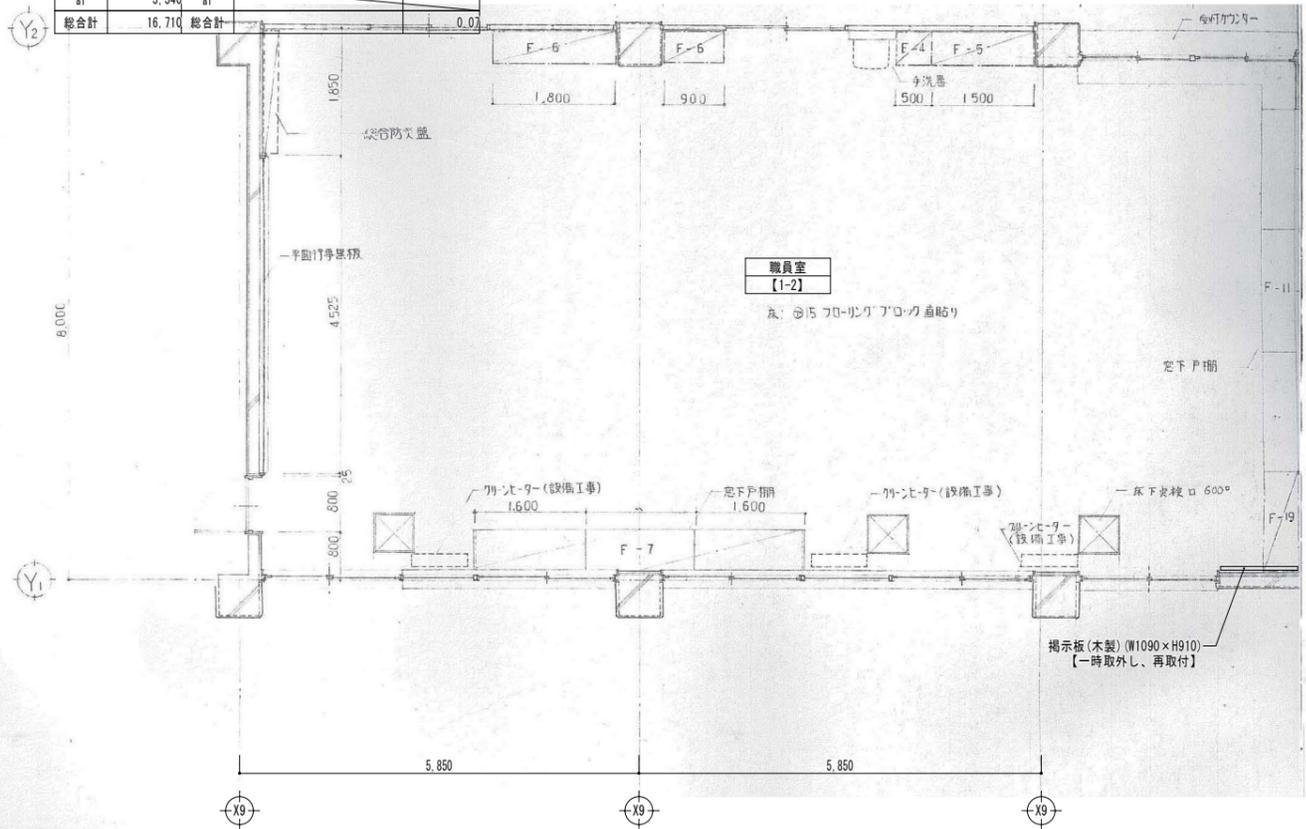
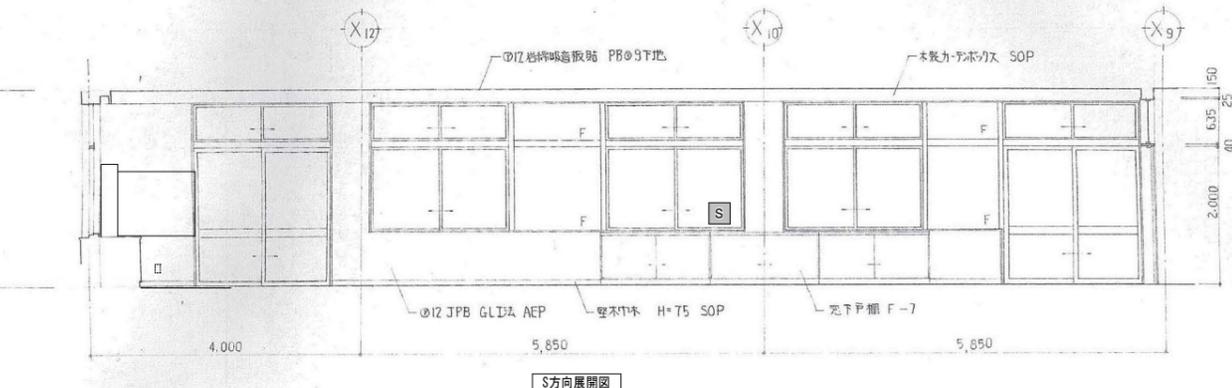
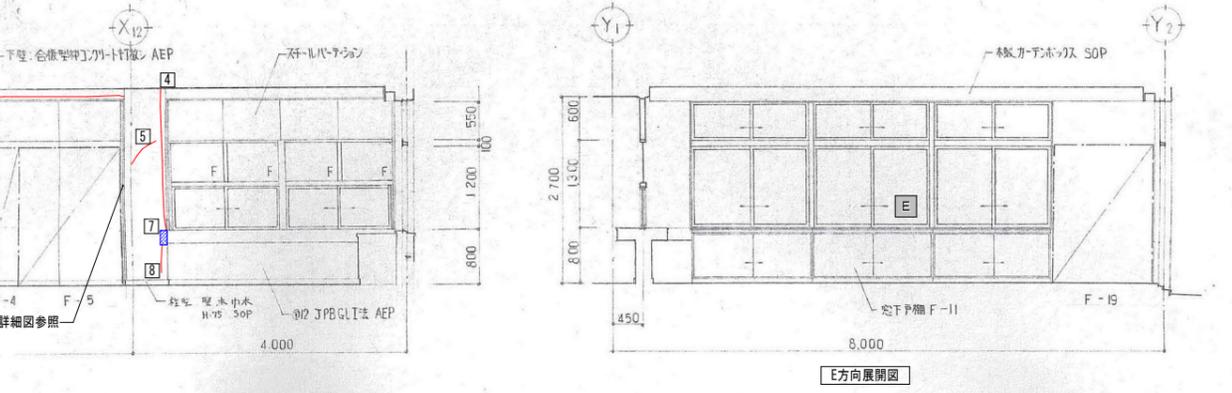
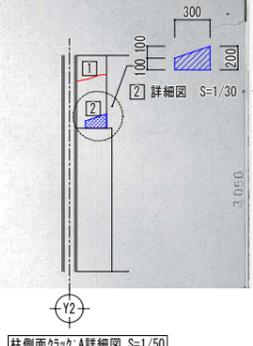
壁面方位 W-3 (西面)				
1	L 150	1		
2		2		
3	L 910	3		
4	L 310	4		
5	L 400	5		
6	L 710	6		
7		7	W 700 x H 180	0.126
8	L 300	8		
9	L 810	9		
10		10		
11		11		
12		12		
13		13		
14		14	W 100 x H 100	0.01
15	L 1,030	15		
16	L 500	16		
17	L 1,500	17		
18		18		
19		19		
20		20		
21		21		
22	L 700	22		
計	7,320	計		0.14
壁面方位 W-4 (西面)				
1		1		
2	L 660	2		
3		3		
4		4		
5		5		
6		6		
7	L 190	7		
計	850	計		
総合計	21,690	総合計		0.35

凡例
 ① クラックを示す。
 ② 浮き・破損箇所を示す。
 ※せっこうボード・巾木等の大きさは寸法参照
 復旧方法
 ①クラック
 ひび割れ部、珪矽樹脂注入後、下地調整の上、EP-G塗装
 ②浮き・破損箇所
 浮き・破損部撤去後、珪矽樹脂を充填後、
 下地調整の上、EP-G塗装
 ※EP-G塗装はクラックより両幅100mmの範囲とする。
 ※特記がない限り、上記の復旧方法とする。

クラック・破損リスト			
棟名	南校舎棟		
階数	1階		
室名	職員室	室番号	1-2
壁面方位 N (北面)			
クラック	長さ [mm]	記号	浮き・破損範囲
記号	長さ [mm]	記号	長さ [mm]
面積 [m2]	寸法は詳細図参照		
1	L 410	1	
2	L 2,050	2	
3	L 410	3	
4	L 420	4	
5	L 5,250	5	
6	L 4,830	6	
7	L 13,370	7	W 100 x H 200 = 0.02
8	L 450	8	
9	L 380	9	
10	L 110	10	
11	L 240	11	
12	L 490	12	
13	L 140	13	
14	L 600	14	
15	L 440	15	
16	L 300	16	
17	L 190	17	
18	L 3,340	18	
19	L 16,710	19	
20	L 0.00	20	



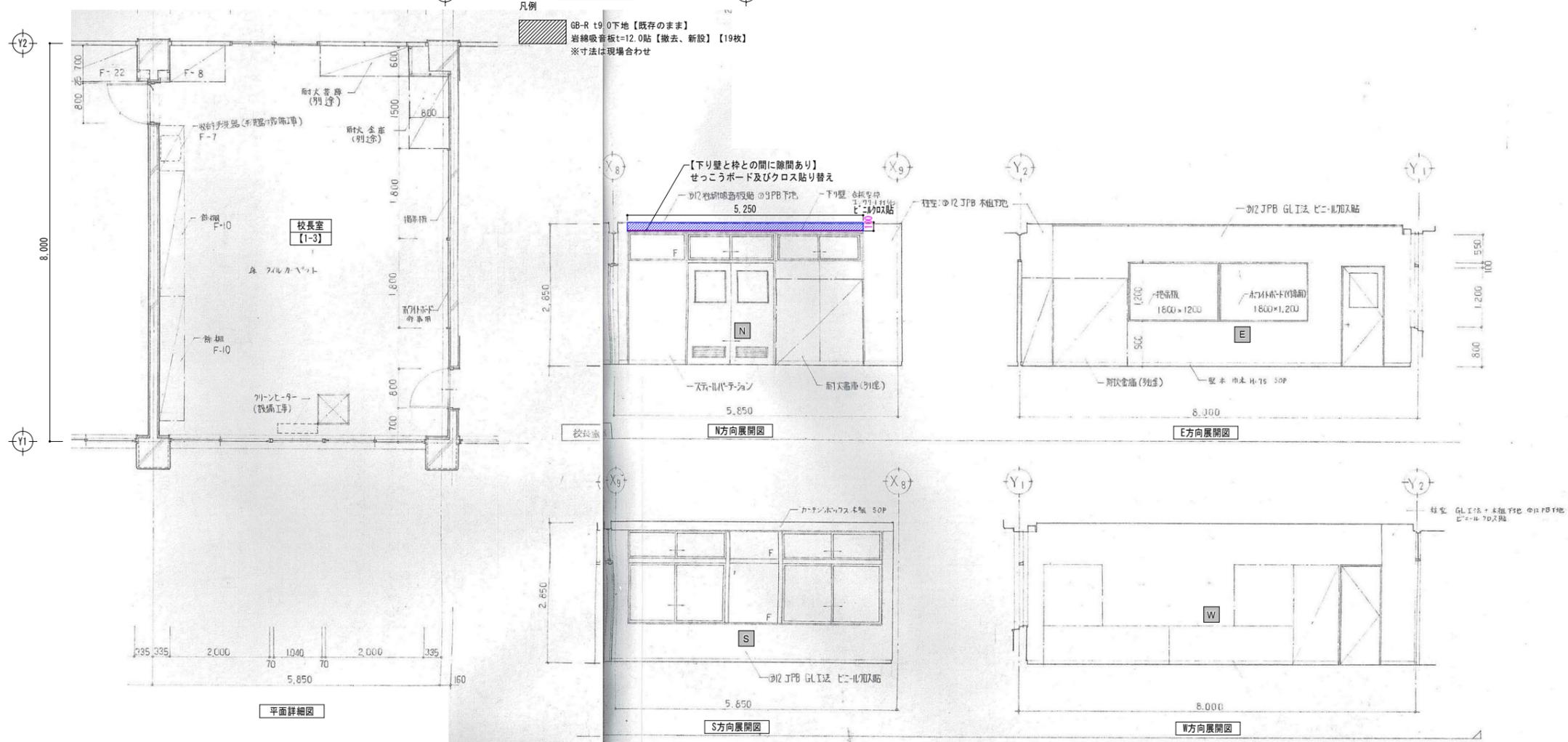
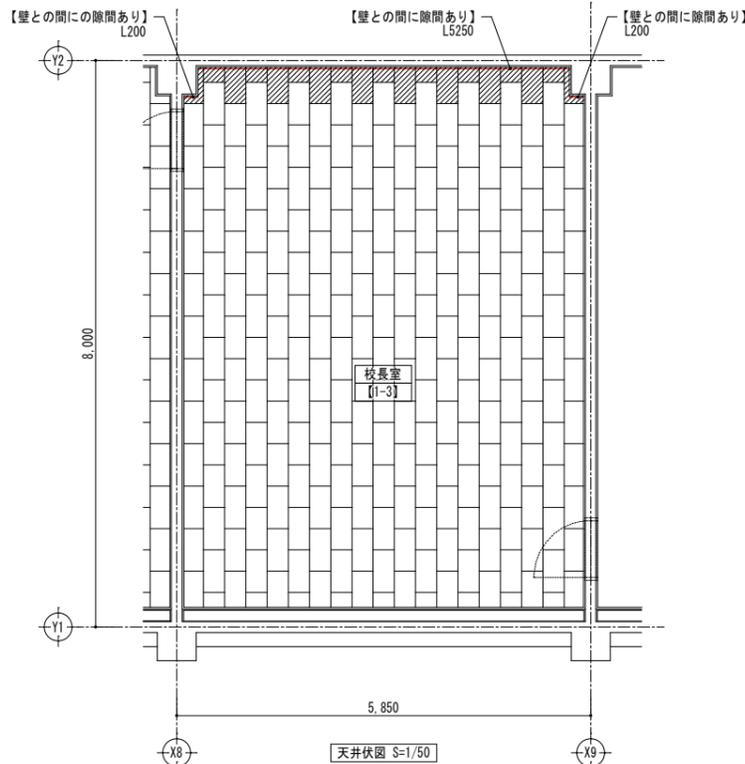
室名	職員室 [1-2]
床	70-リソレックスフロア15.0直貼(特殊貼)PU3 【既存のまま】
巾木(腰)	堅木巾木 H75 SOP塗装 【既存のまま】
壁	合板型枠コンクリート打放し AEP塗装 【クラック補修・破損部復旧】 E-S面:ショットGB-Rt12.0(GL工法) AEP塗装 【破損部復旧】
天井	LGS下地 【既存のまま】 GB-Rt9.0下地 岩綿吸音板t=12.0貼 【破損部復旧】
備考	行事用黒板 【一時取外し、再取付】



凡例	
	LGS下地 【既存のまま】
	GB-Rt9.0下地 岩綿吸音板t=12.0貼 【撤去・新設】

凡例	
	クラックを示す。
	浮き・破損箇所を示す。
※せっこうボード・巾木等の大きさは寸法参照	
復旧方法	
①クラック	ひび割れ部、I [※] 杉樹脂注入後、下地調整の上、EP-G塗装
②浮き・破損箇所	浮き・破損部撤去後、I [※] 杉樹脂を充填後、下地調整の上、EP-G塗装
※EP-G塗装はクラックより両幅100mmの範囲とする。	
※特記がない限り、上記の復旧方法とする。	





室名	校長室【1-3】
床	タイルベタ t:8.0貼 (タイル下地) 【既存のまま】
巾木(腰)	堅木巾木 H75 SOP塗装 【既存のまま】
壁	石膏ボード t:12.0(GL工法) ビニルクロス貼 (柱型共) 【破損部復旧】
天井	GB-R t:9.0下地 【既存のまま】 岩綿吸音板 t:12.0貼 【破損部復旧】
備考	

- 凡例
- ① 斜線が示す。
 - ② 浮き・破損箇所を示す。
- ※せつこうボード・巾木等の大きさは寸法参照
- | 復旧方法 | |
|-----------|-----------------------------------|
| ① 斜線 | ひび割れ部、土・砂樹脂注入後、下地調整の上、EP-G塗装 |
| ② 浮き・破損箇所 | 浮き・破損部撤去後、土・砂樹脂を充填後、下地調整の上、EP-G塗装 |
- ※EP-G塗装は斜線より両幅100mmの範囲とする。
※特記がない限り、上記の復旧方法とする。

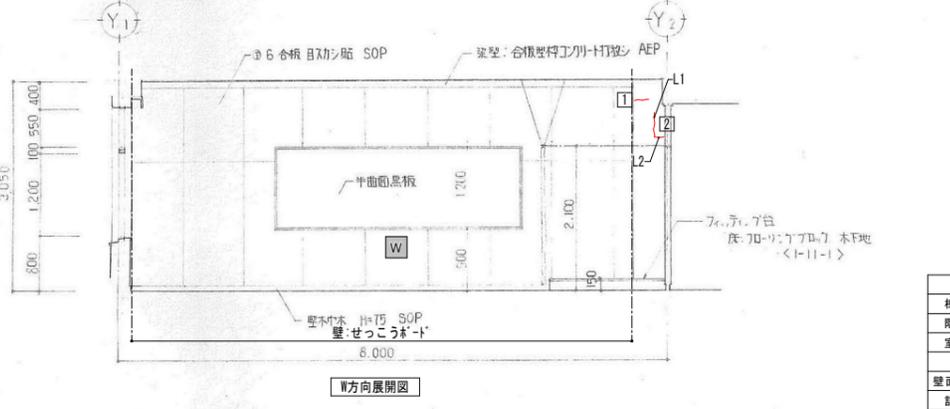
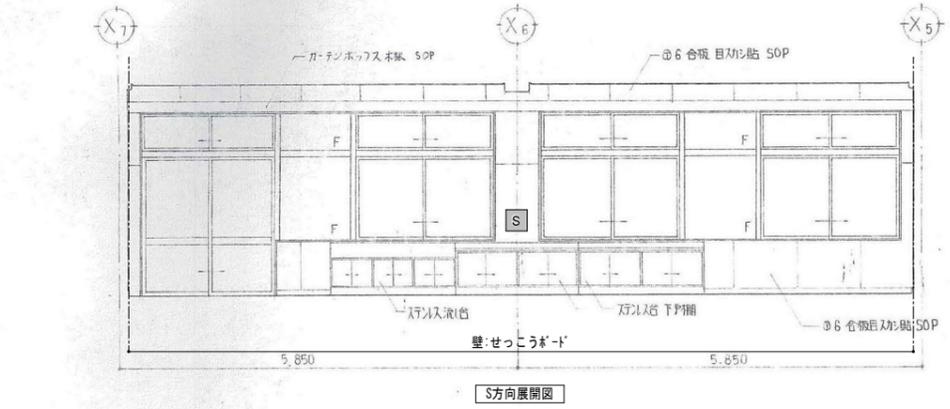
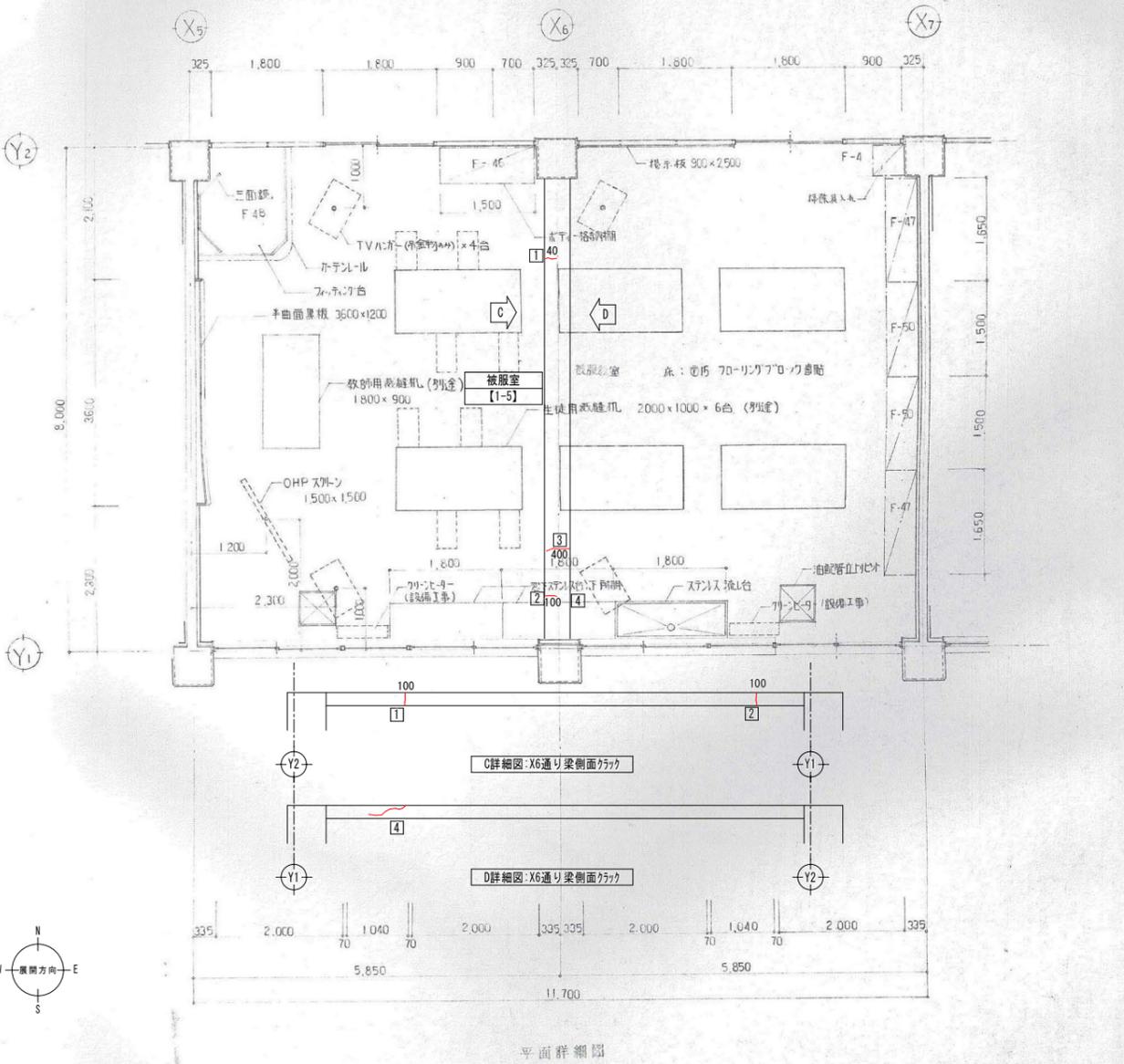
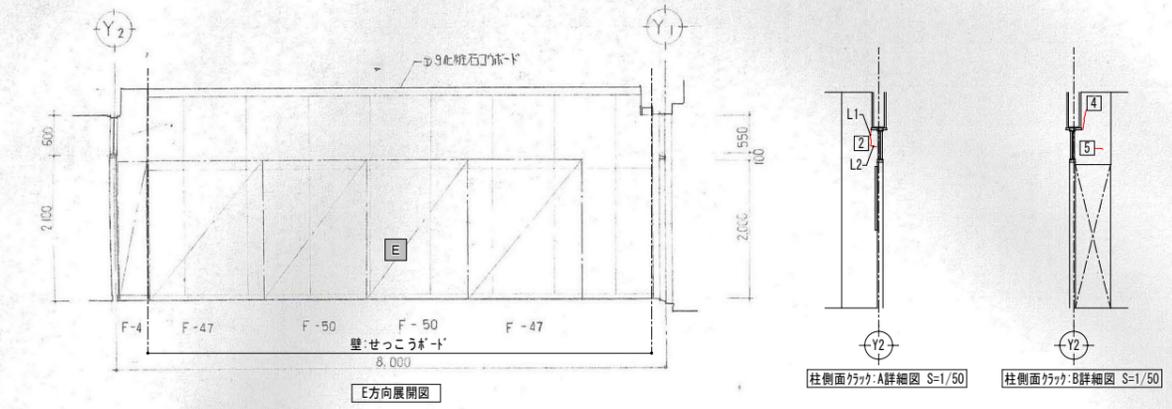
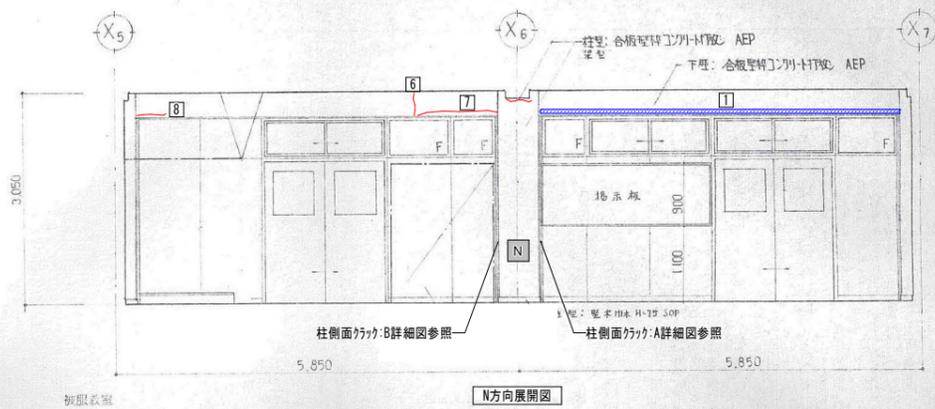


令和3年2月13日
福島県沖地震による向洋中学校校舎等災害復旧工事 設計図

図面名 南校舎棟 校長室復旧図【1-3】
縮尺 S=1:50 (A3版 50%縮小)

図面種別	A
図面番号	28

室名	被服室【1-5】
床	70-リングアロート15.0直貼(特殊貼)PU3 【既存のまま】
巾木(腰)	堅木巾木 H75 SOP塗装 【既存のまま】
壁	柱・梁型-N面:合板型枠コンクリート打放し AEP塗装 【クラック補修・破損部復旧】 合板t6.0目透かし貼 SOP塗装 【既存のまま】
天井	LGS下地 GB-Rt9.0 【既存のまま】
備考	

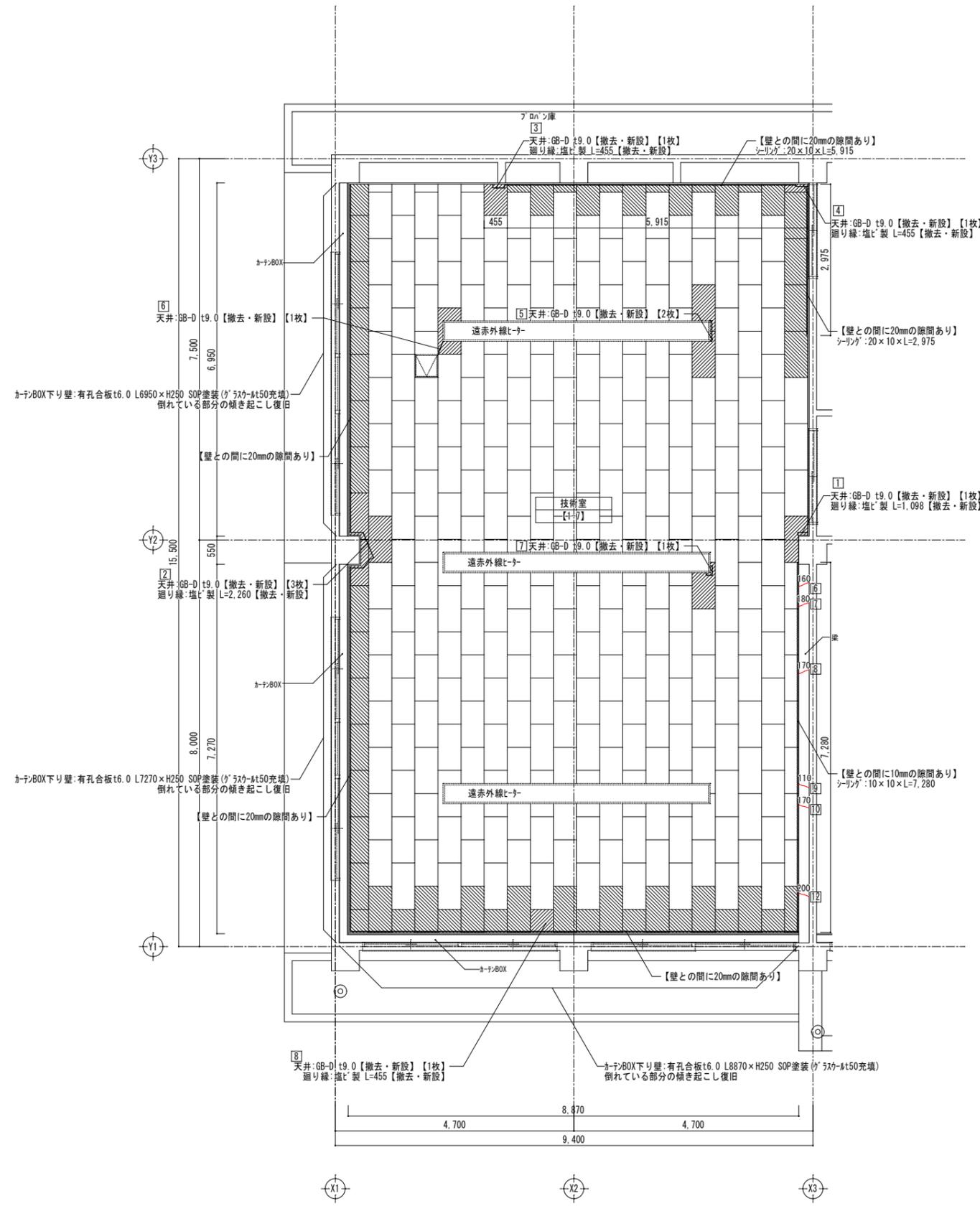


- 凡例
- ① クラックを示す。
 - ② 浮き・破損箇所を示す。
- ※せっこうボード・巾木等の大きさは寸法参照

復旧方法	
① クラック	ひび割れ部、I*杉樹脂注入後、下地調整の上、EP-G塗装
② 浮き・破損箇所	浮き・破損部撤去後、I*杉樹脂を充填後、下地調整の上、EP-G塗装
※EP-G塗装はクラックより両幅100mmの範囲とする。	
※特記がない限り、上記の復旧方法とする。	

クラック・破損リスト				
棟名	南校舎棟			
階数	1階			
室名	被服教室 室番号1-5			
クラック	浮き・破損範囲			
壁面方位	記号	長さ(mm)	記号	面積[m2]
壁面方位 N (北面)	①	L1 200	②	5.250 × H 60 = 0.315
	L2 120			
	③	L 400	④	
	L 220			
	⑤	L 40	⑥	
	L 500			
	⑦	L 1,020	⑧	
	L 230			
計	2,730	計	0.32	
壁面方位 W (西面)				
①	L 120	②	計	580
	L1 350			
	L2 110			
計	580	計	0.32	
壁面方位 梁型 (X6位置)				
①	L 140	②	計	940
	L 200			
	L 400			
	L 200			
計	940	計	0.32	
総合計	4,250	総合計	0.32	

令和3年2月13日
福島県沖地震による向洋中学校校舎等災害復旧工事 設計図



- 凡例
- LGS下地【既存のまま】
 - GB-Dt9.0【一時取外し、再取付】【46枚】
 - LGS下地【既存のまま】
 - GB-Dt9【撤去・新設】【11枚】
 - 見切・塩ビ製【撤去・新設】

天井伏図 S=1/50

